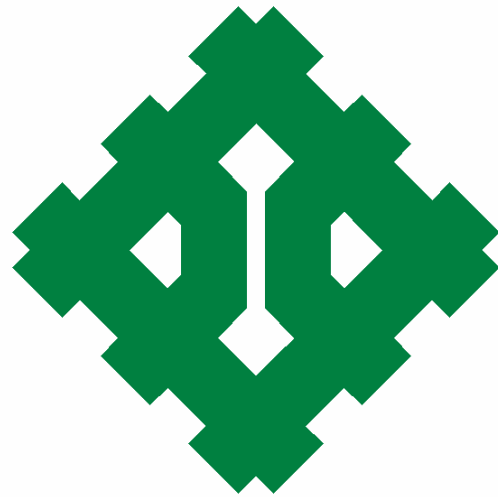


平成22年

消防年報



福井市消防局

## 不死鳥のねがい（福井市市民憲章）



わたくしたちは 不死鳥福井の市民であることに誇りと責任を感じ 郷土の繁栄と幸福をきずくため 力をあわせ 不屈の気概をもって このねがいをつらぬきましょう。

実践目標（平成21年1月～平成23年3月）

- |                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1 すすんで 親切をつくし<br>愛情ゆたかなまちを つくりましょう    | あいさつは まず私から 声かけよう   |
| 2 すすんで 健康にこころがけ<br>明朗で活気あるまちを つくりましょう | 家族そろって 早ね早おき朝ごはん    |
| 3 すすんで くふうをこらし<br>清潔で美しいまちを つくりましょう   | マイはし マイカゴ マイバッグ     |
| 4 すすんで きまりを守り<br>安全で住みよいまちを つくりましょう   | 鍵かけ と 一戸に一灯防犯灯      |
| 5 すすんで 教育を重んじ<br>清新な文化のまちを つくりましょう    | 見てふれて 知ろうふくいの 文化と歴史 |

（昭和39年6月28日制定）

# は し が き

この年報は、福井市消防局の消防現勢及び平成21年中における消防諸般の実績を収録し、今後の消防行政に資するため編集したものです。

なお、調整基準日は各図表等に記入してありますが、火災、救急・救助及び情報管制に関するものは暦年で、その他のものは会計年度で集計してあります。

平成22年6月

福井市消防局

# 消 防 年 報 目 次

福井市消防局管内消防機関分布図.....	1
福井市消防局管内地勢及び面積・人口・世帯数概要.....	2
福井消防のあゆみ.....	4
福井の大火等.....	15
福井市消防訓 福井消防の歌.....	17

## (総務編)

福井市消防局組織機構図.....	19
消防庁舎の現況.....	20
平成22年度消防局マネジメント方針.....	21

### 予算

1. 一般会計予算と消防費予算.....	22
2. 人口と予算の推移.....	22
3. 予算の歳入及び歳出内訳(平成21年度当初).....	23
4. 平成22年度(当初)予算の概要.....	23

### 人事・教養

1. 消防職員の現況.....	24
2. 職員階級別年齢状況.....	25
3. 職員の勤続年数状況.....	25
4. 福利厚生.....	26
5. 平成21年度消防職員教養等実施状況.....	26
6. 公務災害等発生状況.....	27
7. 消防音楽隊.....	27
8. 消防団の組織.....	29

## (予防編)

1. 防火対象物の状況.....	35
2. 防火対象物の査察状況.....	36
3. 高層建築物等の実態.....	37
4. 地階を有する建築物実態.....	38
5. 建築物同意事務処理状況.....	39
6. 防火対象物別消防用設備等着工・設置届出状況.....	40
7. 消防用設備等設置状況.....	41
8. 消防用設備等の点検報告状況.....	42
9. 防火対象物定期点検報告等の実施状況調査表.....	43

10. 消防法・火災予防条例に基づく届出状況	44
11. 広聴活動	45
12. 防火管理者を定めなければならない防火対象物数及び防火管理者、 消防計画、避難訓練届出状況	46
13. 自衛消防組織設置防火対象物数及び防災管理者、消防計画、自衛消防組織設置、 共同防災管理協議事項、避難訓練届出状況	47
14. 住民指導実施状況	48
15. 危険物施設の現況	49
16. 危険物倍数別・類別の状況	50
17. 危険物施設事務処理の状況	51
18. 火薬類、液化石油ガス関係事務処理状況	52

## (警防編)

1. 火災防ぎょ活動状況	55
2. 火災以外の活動状況	56
3. 消防水利の現状	57
4. 消防用車両配備表	58

## (情報管制編)

消防情報管制システム	61
1. 平成21年の災害等通報受信概要	64
2. 通報受信状況	65
3. 災害テレホンサービス(25-9999)利用状況	69
4. 口頭指導(プロトコール)実施状況	70

## (火災統計)

平成21年中における火災概要	72
1. 火災発生状況(前年との比較)	73
2. 過去3年間の火災比較	74
3. 火災原因別件数(昨年との比較)	75
4. 初期消火状況(建物火災)	76
5. 主な火災原因の背景	76
6. 時間帯別火災発生状況	77
7. 特異な火災 ・ 建物火災のうち焼損床面積が200㎡以上の火災 ・ " 損害額が500万円以上の火災	78
8. 死者を生じた火災	78
9. 月別火災発生状況	79
10. 曜日別火災発生状況	81
11. 用途別火災発生状況(建物火災)	83

12. 火災の推移(過去5年間の実数による比較)	85
13. 火災の推移(過去10年間の指数による比較)	86

### (救急統計)

1. 救急隊別救急業務状況	88
2. 救急概要(前年との比較)	89
3. 救急件数及び搬送人員の推移	90
4. 現場到着所要時間別出場件数	91
5. 時間別出場件数	91
6. 医療機関別搬送人員	92
7. 傷病程度別搬送人員	92
8. 収容所要時間別搬送人員	93
9. 事故別搬送人員	93
10. 救急隊員が行った応急処置の状況	94
11. 管外医療機関搬送状況	94
12. 転送人員状況	95
13. 北陸自動車道救急出場状況	95
14. 発生場所別搬送人員	96
15. 医師の現場出場状況	96
16. 年齢・性別搬送人員	96
17. 救急隊別出場件数	97

### (救助統計)

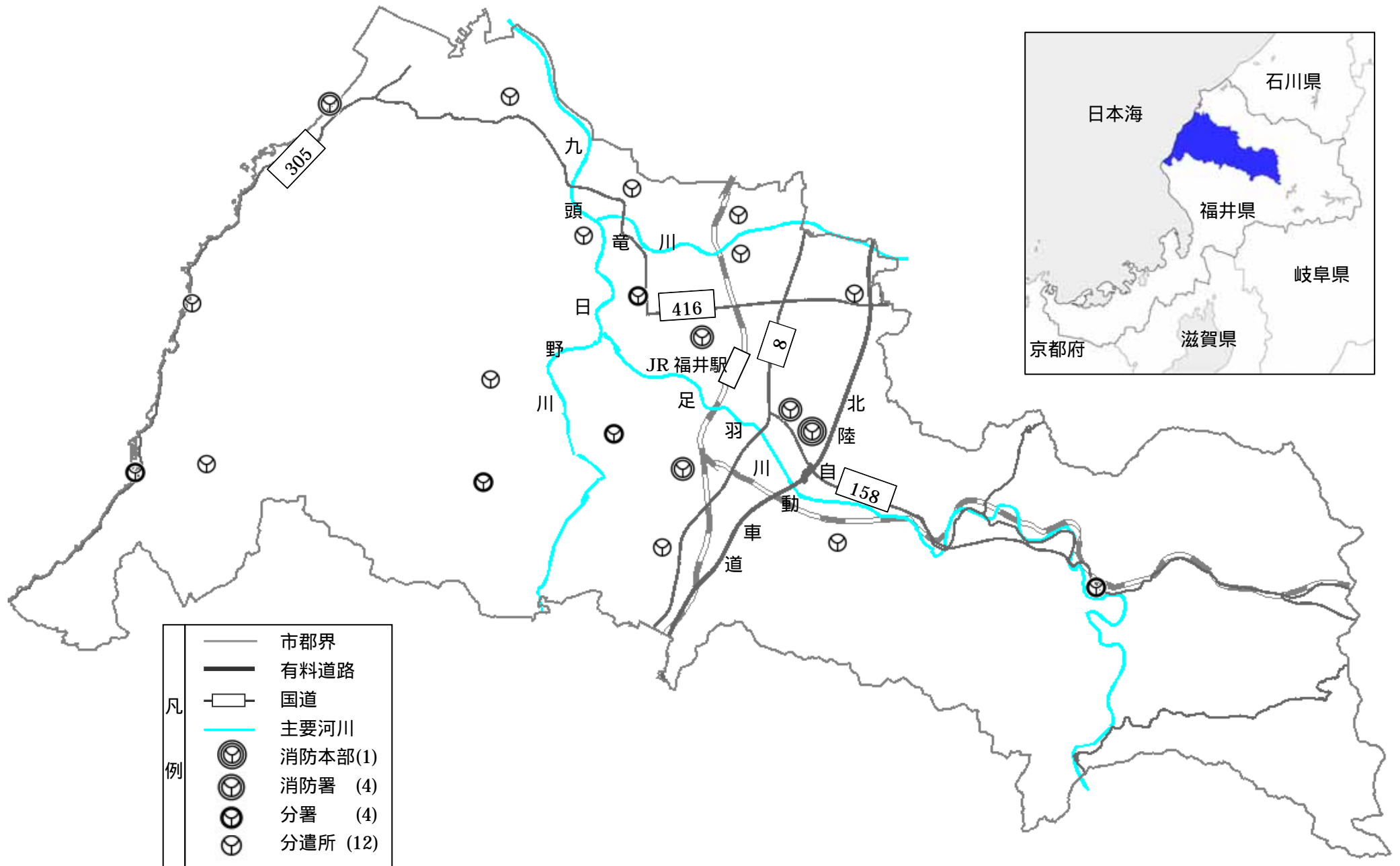
1. 救助活動状況	99
2. 救助出場件数及び救助人員状況(前年との比較)	100
3. 過去5年間の救助出場件数及び救助人員の推移	100
4. 事故種別活動件数(前年との比較)	101

### (防火委員会)

防火委貢会の組織	103
----------	-----

# 福井市消防局管内消防機関分布図

(平成22年4月1日現在)



# 福井市消防局管内地勢及び 面積、人口、世帯数概要

(平成 22 年 4 月 1 日現在住民登録数)

**総面積 536.17km<sup>2</sup> 総人口 269,194 人 総世帯 95,762 世帯**

福井市は、九頭竜、足羽、日野の三大河川の扇状地である福井平野の南東部に位置しています。福井平野は、今から 3000 年ほど前の縄文時代後期から晩期にかけて、河川活動によって形成されたといわれる沖積平野で、弥生時代中ごろには、ほとんど現在のような形状となり、農耕も可能な平野になっていたと言われています。



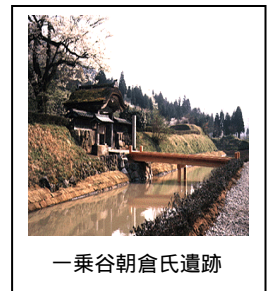
継体天皇像

また、1500 年ほど前、この地にゆかりの深い男大迹皇子(おおとのおうじ)、後の継体(けいたい)天皇の治山治水事業によって、一面の沼沢地が肥沃な平野に生まれ変わったとも伝えられています。

約 1200 年前の奈良時代には、この広大な平野が、穀倉地として注目され、東大寺荘園、道守荘(ちもりのしょう)や糞置庄(くそおきのしょう)などが開かれています。

その後、文化の発達に伴って北陸の要衝として栄え、中世には、市街地の南にある一乗谷に居を構えた朝倉氏が五代にわたり、越前国守護としてこの地を治め、小京都と呼ばれるほどの栄華を極めたと言われています。

一乗谷朝倉氏の居城は、天正元年に焼失したままの姿を今日まで残し、日本中世史上きわめて貴重な遺跡として昭和 46 年 7 月、国の特別史跡に指定され、また平成 3 年にはその庭園が国の特別名勝に指定されました。



一乗谷朝倉氏遺跡

現在の市の中心部は、室町時代のころには北ノ庄と呼ばれ、街づくりの始まりは柴田勝家の北ノ庄城築城が始まりといわれています。

徳川家康の天下平定後は、その二男である結城秀康が 68 万石の城主として慶長 5 年(1600)に任ぜられました。

福井の地名については、北ノ庄から福居となり、3 代藩主忠昌のとき、福井と改められました。



「福井」の地名の基となった「福ノ井」

幕末の藩主は、名君の誉れ高い松平慶永(春嶽)で、その時代には、橋本左内、由利公正、橋曙寛、笠原白翁ら多くの人材が輩出し、活躍しています。また、慶永は産業振興事業として織物を取り入れ、これが織物王国福井の礎となりました。

明治 22 年には市制が施行され、福井市となりました。当時の人口は、約 4 万人、面積は、4.43 平方キロメートルでしたが、その後、鉄道の開通や織物産業等の興隆によって、福井県における中心都市となりました。



しかし、昭和20年7月の空襲や昭和23年の福井大震災では壊滅的な打撃を受け、さらに水害、風害と災害に見舞われました。また、昭和56年1月の56豪雪では積雪が196cmに達し、JRをはじめとする市内の交通機関は全てがマヒし、市民生活に大きな被害を与えました。

更に記憶に新しいところでは、平成16年7月18日未明から降り続けた豪雨により、美山地区や一乗地区においてはJR越美北線の鉄橋が流失する等大きな被害を受け、増水した足羽川は更に水かさが増し、13時34分遂に木田橋上流の左岸が決壊。市内各地区に甚大な被害を与えました。

後に「7・18福井豪雨」と名付けられたこの豪雨災害に対応していた福井市（消防機関）では、市町村消防相互応援協定により、10時45分に県内各消防本部に応援出場を求めるとともに、福井県を通じて消防庁長官に緊急消防援助隊の出場を要請。近隣の府県から176隊、610名の消防隊と10機の消防ヘリや防災ヘリが駆けつけ、652名（うち262名はヘリによる救出）の市民を救助することができました。

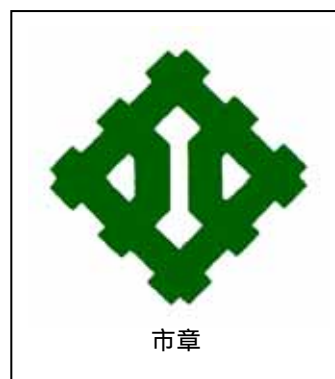
このように福井市では、これまでの幾多の激甚災害に見舞われながらも、市民の不屈の精神と郷土愛によって不死鳥のようによみがえり、今日の『不死鳥のまち福井』を築き上げて参りました。

平成12年には特例市に移行し、そして平成18年2月1日には、消防組合を構成していた隣接の美山町、越廼村、清水町の3町村と合併し、新生「福井市」が誕生し、「福井市消防局」として新たなスタートをきりました。

これからも北陸の雄都として、市民の「安心」と「安全」を守り、災害に強いまちを目指し、更に発展を続けて参ります。



足羽河原の桜並木



市章

市の紋章は、福井城内にあった「福ノ井」の井げたに福井の旧称「北ノ庄」の北を組み合わせ、古きを生かし、新しい時代への発展と繁栄を図案化したものです。

(大正14年9月28日制定)

## 福 井 消 防 の あ ゆ み

明治初年頃の福井市消防は「火消」又は「火方」という町民による義務消防にゆだねられていたが、明治18年10月福井県令をもって従来の「火消」「火方」は「防火組」と改められ、組織は頭取、小頭、組員に分けられ、犠牲と仁侠をもって活躍していた。

明治27. 4	勅令第15号「消防組規則」により「福井消防組」が組織される。1組8部、組員は頭取1名、小頭16名、消防手320名、合計337名												
明治31. 9	市原製蒸気ポンプ1台を購入、初めて動力ポンプを採用する。												
大正 7. 7	福井警察署屋上(佐佳枝下町)に望楼を設置、常備消防手1名を任命する。												
大正 9. 2	常備消防手3名を増員して4名とし、甲・乙部2名配置により交代勤務とする。												
大正12. 4	常備消防手2名を増員して6名とし、フォード号自動車ポンプ1台を購入配備する。												
大正13. 8	市上水道完成により同年11月防火栓用具26組を備えつける。												
昭和 3. 4	破壊部1部を増設し9部とし、蒸気ポンプ部3部、手引きガソリンポンプ部2部、自動車ポンプ部3部、破壊部1部、総員239名となる。												
昭和10. 6	各部共消防手20名とし、総員177名に減員する。												
昭和12. 8	常備消防手総員14名となる。												
昭和13. 5	福井市御屋形町16番地(福井警察署北隣)に消防庁舎を新築し佐佳枝下町より移転する。												
昭和13年現有機械力													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 16.6%;">自動車ポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">蒸気ポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">手引ガソリンポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">腕用ポンプ</th> <th style="width: 16.6%;">水管車</th> <th style="width: 16.6%;">オートバイ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>		自動車ポンプ	蒸気ポンプ	手引ガソリンポンプ	腕用ポンプ	水管車	オートバイ	7	3	5	2	12	1
自動車ポンプ	蒸気ポンプ	手引ガソリンポンプ	腕用ポンプ	水管車	オートバイ								
7	3	5	2	12	1								
昭和14. 4	勅令第20号警防団令によって福井消防組及び防護団を福井警防団に改編12ヶ分団1,090名とする。												
昭和18.	常備消防手2名を増員し、18名となる。												
昭和20. 7	第2次世界大戦中の空襲により市街地の86.8%を焼失、消防庁舎全焼、消防自動車6台焼失、保有自動車2台となる。												
昭和22. 9	消防団令により福井警防団を福井市消防団に改組し、5ヶ分団定員800名とする。												
昭和22.12	消防組織法が公布されて警察の管理から完全に独立した市町村の自治体消防制度が確立される。												
昭和23. 5	消防組織法の施行により、従来の常備消防の人員と施設を引き継いで福井市消防本部を設置、同6月25日には福井市消防本部設置条例を制定、消防署消防訓練所を併置する。その陣容は本署1、消防職員23名、消防団員250名、消防ポンプ自動車6台、その他の車両6台である。												

昭和23. 6	福井地方大地震 市内の家屋の大部分が倒壊、各所に発生した火災は、中央部において大火となる。消防施設の被害、倉庫 1 棟倒壊、仮眠室傾斜大破、車庫床面亀裂沈下、消防吏員 1 名及び家族多数負傷する。
昭和23. 7	豪雨により各河川増水し、九頭竜川堤防が決壊、市内西北部一帯に浸水、流出家屋 4 戸、浸水家屋5,820戸の被害が発生する。
昭和23. 9	福井市消防団を改組し、11ヶ分団250名の定数とする。
昭和23.12	車庫屋上の事務室、附属建物の再築及び修理完成する。
昭和25. 4	職員の定数 消防吏員63名、その他の職員 6 名計69名となる。
昭和25. 9	ジェーン台風襲来、甚大なる被害をこうむる。 家屋全壊 186戸 死者 3名 半壊 531戸 重傷者 24名
昭和26. 3	勝見分遣所を開所する。
昭和26. 7	橋南分遣所を開所する。
昭和27. 4	大学前分遣所を開所する。
昭和27. 4	福井復興大博覧会が開催され、消防特別警備にあたる。
昭和27. 8	本署に火災報知10回線受信機 1 基を設備、火災報知機 2 ヶ所を設備する。
昭和29.11	福井市消防音楽隊を編成発足する。(隊長以下18名)
昭和29.12	地元町内民の協力自費負担等により、火災報知器総数10ヶ所となる。消防用無線電話を 2 基装備する。
昭和30. 4	志比口分遣所を開所する。
昭和31. 1	社分遣所を開所する。
昭和32. 5	消防団員の定数「351名」を「400名」に改める。
昭和32.10	下記市町村と消防相互応援協定を締結する。 武生市、鯖江市、清水町、春江町、藤岡村
昭和33. 3	福井市条例第 9 号により職員定数を消防吏員101名、その他の職員 7 名に改める。
昭和33. 4	麻生津分遣所を開所する。
昭和33. 5	河合分遣所を開所する。
昭和33.10	梯子自動車(16m) 1 台、高層ビル火災に対処するため購入する。
昭和33.11	大安寺分遣所を開所する。
昭和34. 1	化学車 1 台を初めて購入する。
昭和34.10	湊分遣所を開所する。
昭和34.12	国見分遣所を開所する。
昭和35.11	西安居分遣所を開所する。

昭和37. 4	東藤島分遣所を開所する。
昭和37.10	救急車 1 台購入、救急業務を開始する。
昭和38. 1	豪雪に見舞われ(100年来の記録)消防自動車運行不能となる。
昭和40. 8	新庁舎完成にともない本部、署を松本 4 丁目 9 - 3 6 に移転、旧本部、署の後に中央分署を開所する。
昭和41. 1	殿下分遣所を開所する。
昭和41. 7	福井県下39市町村による福井県下広域消防相互応援体勢が確立、協定を締結する。
昭和41. 9	屈折梯子車 1 台購入配備する。(最大地上高15m)
昭和42. 5	鶯分遣所を開所する。
昭和42. 7	森田分遣所を開所する。
昭和42. 8	消防職員の定数「150名」に改正する。
昭和43. 9	第23回国民体育大会夏季大会特別消防警備を行う。
昭和43.10	“ 秋季 ”
昭和43.10	全国身体障害者スポーツ大会、特別消防警備を行う。
昭和44. 6	中藤島分遣所を開所する。
昭和45. 1	栗分遣所を開所する。
昭和45. 2	32mはしご付消防自動車を購入配備する。
昭和45. 4	消防職員の定数「158名」に改正する。
昭和45. 7	ふくいまつり前夜祭とタイアップして、福井消防音楽隊15周年記念夢のドリルショーを市体育館で開催する。
昭和46. 9	足羽分遣所を開所する。
昭和46.11	広域消防体制確立のため、これまでの福井市消防本部、署を発展的に解消し、福井地区消防組合を設置する。
昭和46.11	越廼分遣所を開所する。
昭和46.11	美山町及び清水町の役場へ吏員各 1 名を派遣、消防事務を開始する。
昭和46.11	消防職員の定数「210名」に改める。
昭和46.11	消防団員の定数「900名」に改める。ただし昭和48年10月31日までは「907名」とする。
昭和46.11	日本損害保険協会より重化学車の寄贈を受け配備する。
昭和47. 4	清水分遣所を開所する。
昭和47. 4	美山分遣所を開所する。
昭和47. 4	南消防署を開署する。これに伴い、従来の消防署を中消防署と名称を改める。
昭和47.11	南条郡今庄町地係の国鉄北陸トンネル内で15両編成の急行「きたぐに」の食堂車から出火、食堂車を全焼し、死者30人、負傷者714人を出す大惨事となり、福井地区消防本部から直ちに消火・救助・救急の 3 隊を応援出場させる。

昭和47.12	福井地区消防組合紋章を制定する。
昭和47.12	国鉄北陸トンネル列車火災における消防活動の功績により消防庁長官表彰を受ける。
昭和48.3	福井地区中消防署中央出張所を廃止する。
昭和48.4	消防職員の定数「220名」に改める。
昭和48.11	福井、美山、清水各消防団を発展的に解消し、福井地区消防団に統合する。
昭和49.10	鷹巣分遣所を開所する。
昭和49.10	消防職員の定数「234名」に改める。
昭和49.10	本部警防課内に救助隊「隊長以下10名」を編成する。
昭和49.10	鶯分遣所に救急車1台を配備する。
昭和50.9	高速自動車国道北陸自動車道(福井～丸岡インターチェンジ)開通に伴い、消防相互応援協定書に基づき、救急業務を開始する。
昭和50.10	東藤島、中藤島、河合各分遣所の駐在勤務を解除する。
昭和50.12	西安居、麻生津各分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造に改築する。
昭和51.1	栗、国見、殿下各分遣所の駐在勤務を解除する。
昭和51.2	救助工作車1台を購入配備する。
昭和51.3	日本消防協会長から優良消防団として、福井地区消防団が表彰旗を授与される。
昭和51.4	消防職員の定数「241名」に改める。
昭和51.10	美山、足羽、清水、鶯各分遣所へ所長を配置する。
昭和51.11	高速自動車国道北陸自動車道(福井～武生インターチェンジ)開通に伴い、消防相互応援協定書に基づき、救急業務を開始する。
昭和52.4	消防団員の定数「913名」に改める。
昭和52.4	消防職員の定数「247名」に改める。
昭和52.10	森田分遣所へ所長を配置する。
昭和53.4	消防職員の定数「257名」に改める。
昭和53.7	福井地区消防組合消防団員貸与品規則の一部を改正し、全団員に作業服を支給し、灰色略帽を廃止する。
昭和53.10	中藤島、麻生津両分遣所の勤務者2名を4名に増員し、消防士長を配置する。
昭和53.10	越廼分遣所の勤務者6名を7名に増員する。
昭和53.12	社分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造に改築する。
昭和54.1	福井地区消防本部訓練場(鉄筋コンクリート造2階建400平方メートル)を建設し開場する。
昭和54.4	消防職員の定数「266名」に改める。
昭和54.4	社分遣所の勤務者2名を3名に増員し、消防士長を配置する。
昭和54.10	社分遣所の勤務者3名を4名に増員する。

昭和54.10	西安居、鷹巣、大学前、河合各分遣所の勤務者2名を4名に増員し、消防士長を配置する。
昭和54.10	(財)日本防火協会及び(財)日本宝くじ協会から、防火広報車(拡声装置、録音再生装置、映写装置及びスクリーン式積載)の寄贈を受ける。
昭和54.10	(財)日本消防協会及び(財)日本船舶振興会から、防災自動車(非常ろ水器、防災テント、可搬式投光器一式積載)の寄贈を受ける。
昭和54.12	大学前分遣所の庁舎老朽化に伴い、福井市大宮3丁目30-22へ移転するとともに鉄筋コンクリート造2階建てを新築し、名称を大宮分遣所に改め、4名を1名増員し5名配置とする。
昭和54.12	福井市国見岳に管内の無線不感地帯を解消するため、消防専用超短波無線電話無人中継所を建設する。
昭和54.12	橋南分遣所の庁舎老朽化に伴い、木造2階建に改築する。 (開所式昭和55年1月6日挙行)
昭和55.3	福井地区消防本部を隣接旧福井社会保険事務所に移転する。
昭和55.4	消防職員の定数「285名」に改める。
昭和55.8	消防団業務の多様化に伴い、副団長を1名増員し、4名とする。
昭和55.10	(財)日本宝くじ協会から、福井地区消防音楽隊用バス1台(42名乗り)及び楽器一式(約50点)の贈呈を受ける。
昭和55.12	志比口分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。 (開所式昭和55年12月13日挙行)
昭和56.1	豪雪に見舞われ、消防自動車運行不能となる。
昭和56.4	消防職員の定数「292名」に改める。
昭和56.4	福井市東部地区の警防体制強化のため、東消防署を設置し、勝見分遣所を発展的に解消する。(開署式昭和56年4月10日)
昭和56.4	消防団員の定数「914名」に改める。
昭和56.4	消防団業務の多様化に伴い、副団長を1名増員し5名とする。
昭和56.10	東藤島分遣所勤務者2名を4名に増員する。
昭和56.10	日本損害保険協会から16m級屈折梯子付消防ポンプ自動車の贈呈を受ける。
昭和56.12	殿下分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。 (開所式昭和56年12月1日挙行)
昭和56.12	湊分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。 (開所式昭和56年12月20日挙行)
昭和57.2	(財)日本消防協会より福井地区消防団に対し、特別表彰「まとい」が授与される。
昭和57.4	消防職員の定数「298名」に改める。

昭和57.10	国見、殿下分遣所の勤務者2名を4名に、清水分遣所8名を9名に増員する。
昭和57.12	南消防署に訓練塔付(救助)講堂(鉄骨2階建)を増築する。
昭和58.4	消防職員の定数「314名」に改める。
昭和58.4	消防業務の多様化と警防指揮体制の強化を図るため一部機構改革を行う。 本部救助隊を発展的に解消し、各署に救助隊を編成。 本部警防課を廃し、警防管理課、司令課を設ける。
昭和58.9	人事、事務、組織及び財務の見直し改善を図るため「福井地区消防組合行政制度改善委員会」を設置。
昭和59.11	福井県共済農業協同組合連合会からBS-2型救急車(1台)の寄贈を受ける。
昭和59.12	東藤島分遣所及び鶉分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄筋コンクリート造2階建に改築する。
昭和60.4	消防職員の定数「323名」に改める。
昭和60.4	行政制度改善に伴う組織の見直しを行い、消防本部の「警防管理課」と「司令課」を統合し、「司令課」とする。
昭和61.3	27m級大型高所放水車1台、福井石油備蓄基地火災等災害に対処するため購入する。
昭和61.4	福井市西部地域一帯の警防体制強化及び福井石油備蓄基地の防災拠点として臨海消防署を設置し、棗及び鷹巣の両分遣所を発展的に解消する。(開署式昭和61年4月10日)
昭和61.4	消防団業務の多様化に伴い、副団長を1名増員し6名とする。
昭和61.8	福井石油備蓄基地火災等災害対処のため、大型化学消防ポンプ自動車、泡原液搬送車を購入し、臨海消防署へ配置する。
昭和61.9	石油備蓄基地タンク群のオイルイン完了。
昭和63.3	福井県市町村消防相互応援協定書が調印され、昭和63年4月1日から施行となる。
昭和63.4	消防職員の定数「331名」に改める。
昭和63.10	中消防署に「特別救助隊」を、南消防署に「普通救助隊」を、各1隊配置する。
平成元.4	消防職員の定数「339名」に改める。
平成元.10	東消防署に「特別救助隊」を1隊配置する。
平成元.12	消防団活性化対策の一環として、福井地区消防団に女性団員を6名任用する。
平成2.4	(仮称)福井市防災センター及び福井地区消防本部合同庁舎建設に係る消防情報管制システム導入に伴い「システム開発室」を設置する。
平成2.4	臨海消防署に「普通救助隊」を1隊配置する。
平成2.10	「新庁舎開設準備室」を設置する。
平成2.10	中藤島分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄骨造2階建に改築する。
平成3.4	「システム開発室」を「情報管制課」に名称変更する。
平成3.4	司令課の通信司令室を情報管制課に移設したのに伴い、同課を「警防課」に改める。

平成 3. 4	本部予防課内に「研究検査室」を設置する。
平成 3. 4	警防課内に「救急救助担当司令」を配置する。
平成 3. 4	消防職員の定数「343名」に改める。
平成 3. 6	消防本部庁舎の老朽化に伴い、福井市和田中町清水川 2 番地へ移転するとともに、福井市防災センターとの合同庁舎「総合防災センター」として鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建を新築し、落成式を挙げる。
平成 3. 6	(財)日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車 1 台の寄贈を受け、中消防署へ配備する。
平成 3.11	組合設立20周年記念式典を挙げる。
平成 4. 3	50m級梯子車を導入し、中消防署へ配備する。
平成 4. 3	東消防署訓練塔及び車庫(鉄筋コンクリート造 2 階建947平方メートル)を新築する。
平成 4. 4	救急業務の高度化に伴い、消防本部救急救助教育訓練センターを設置し、同センター所長を配置する。
平成 4. 5	県内の消防機関で第 1 号の「救急救命士」が誕生する。
平成 4.11	河合分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄骨造 2 階建に改築する。
平成 5. 3	(財)日本損害保険協会から高規格救急自動車 1 台の寄贈を受け、中消防署へ配備する。
平成 5. 4	消防職員の定数「353名」に改める。
平成 5.11	中消防署に「特別救急隊」を配置する。
平成 6. 3	(財)救急振興財団から救急普及啓発広報車 1 台の寄贈を受ける。
平成 6. 4	消防職員の定数「363名」に改める。
平成 6.11	市内 4 分遣所(湊、大宮、橋南、志比口)を分団本部に移行する。
平成 6.11	消防本部内に「消防署所適正配置対策室」を設置する。
平成 6.11	地域住民の防災知識等の向上を図るため、本部に防災安全統括指導官(予防課長事務取扱)、各消防署に防災安全指導官(署予防課長事務取扱)を配置する。
平成 7. 3	足羽分遣所の庁舎老朽化に伴い、鉄骨造 2 階建に移転新築する。
平成 7.10	消防署所適正配置対策室を職員課の課内室とする。
平成 7.10	消防団の組織改正により、地区団長制度を新設する。
平成 8. 2	災害対応特殊救急自動車(4WD高規格救急自動車)を導入し、南消防署に配備する。
平成 8. 3	高度救助資機材を中消防署及び東消防署の特別救助隊に配備する。
平成 8. 3	コミュニティ防災資機材を管内の自主防災会(10ヶ所)に配備する。
平成 8. 3	(財)日本宝くじ協会から助成を受け、福井地区消防音楽隊用バス 1 台(51名乗り)を購入する。
平成 8. 4	消防職員の定数「365名」に改める。
平成 8. 4	「火薬類取締法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の



	事務の一部が構成市町村長より再移譲され、業務を開始する。
平成 8.10	福井県防災航空隊へ隊長及び隊員の 2 名を派遣する。
平成 8.10	消防職員委員会を設置する。
平成 9. 1	ロシアタンカー「ナホトカ号」が沈没し、流出した大量の重油が越前海岸に漂着する。
平成 9. 3	災害対策支援車を導入し、消防本部に配備する。
平成 9. 3	コミュニティ防災資機材を管内の自主防災会(10ヶ所)に配備する。
平成 9. 4	消防職員の定数「367名」に改める。
平成 9. 4	女子消防吏員 2 名を採用する。
平成10. 1	福井地区消防訓を定める。
平成10. 3	福井消防の歌を定める。
平成10. 4	消防行政改革に伴い、組織機構を次のとおり見直しする。 (1)消防本部の情報管制課を「情報管制室」に改め、警防課の課内室とする。 (2)消防本部の職員課課内室にあった消防署所適正配置対策室を、職員課に吸収統合する。 (3)消防署の消防第 1 課及び消防第 2 課を統合し、「警備課」に改める。 (4)消防署の予防課を「予防指導課」に改める。 (5)消防署所適正配置基本計画に基づき、美山、越廼及び清水の各分遣所を「分署」に格上げする。
平成10. 4	消防行政改革に伴い、職制を次のとおり見直しする。 (1)消防本部・署の主幹制、課長補佐制及び副主幹制等を廃止する。 (2)消防本部の総務課に「調整参事」、警防課に「副課長」及び「室長」並びに本部各課に「主任」を配置する。
平成10. 4	女子消防吏員 2 名を採用し、4 名とする。
平成10. 5	福井地区消防支援ボランティア制度を発足する。
平成10. 6	自治体消防50周年及び福井震災50周年を記念して「第 3 回全国消防音楽隊マーチングフェスティバル」を開催する。
平成10. 7	携帯電話からの119番通報接続を開始する。
平成10.10	消防署所適正配置計画に基づき「西分署」を開署する。
平成10.10	コミュニティ防災資機材を自主防災会(43ヶ所)に配備完了する。
平成10.10	緊急消防援助隊近畿・中部ブロック合同訓練を開催する。
平成11. 8	全消会東近畿支部消防研究会で「ワンタッチ式自在吸引器」が最優秀賞を受賞する。
平成11.11	第 1 回「県民の消防上」表彰式が福井テレビにおいて行なわれ、福井地区消防音楽隊が栄えある表彰を受ける。
平成12. 3	消防史誌「福井消防50周年の歩み」を発刊する。

平成12.11	「第2回県民の消防士」の表彰式で県下1,200名の消防職員の中から消防本部警防課員が栄えある表彰を受ける。																									
平成12.12	年間の救急出場件数が、昭和37年に救急業務を開始して以来、初めて5,000件を突破する。																									
平成13.4	消防本部の警防課内にあった救急救助室を「救急救助課」とする。																									
平成13.10	消防署の警備課を警備第一課、警備第二課とし、各課に課長及び警備司令を配する。																									
平成13.10	組合設立30周年記念式典を挙げる。																									
平成14.4	交代制職員の勤務体制を2部制から3部制に改め、警備第一課、警備第二課、警備第三課とする。消防本部警防課を警防管理課に改称し、警防課内室の情報管制室を救急救助課内に移し、同課内に指揮隊及び新消防情報管制システム準備室を設置する。																									
平成15.4	消防情報管制システムを更新する。																									
平成15.4	麻生津分遣所を今市町地係に移転新築する。																									
平成15.4	消防本部の職員課内にあった「市町村合併推進準備室」を単独室とする。																									
平成15.12	美山分署を美山町朝谷島地係に移転新築する。																									
平成16.4	消防組織体制の充実強化を図るため、組織機構及び職制を次のとおりとする。 (1)消防本部の警防管理課と救急救助課を統廃合し「救急救助課」とする。 (2)消防本部救急救助課内室であった情報管制室を「管制課」とする。 (3)消防本部職員課に副課長、各署に専任の庶務課長を配置する。 (4)西分署に管理職の分署長を配置する。																									
平成16.4	福井地区消防音楽隊創立50周年を記念し、福井市営体育館において"華麗なファイヤーマーチングの世界"を開催する。																									
平成16.7	「7.18福井豪雨」が発生、13時34分足羽川堤防決壊。福井市、美山町で甚大な被害をこうむる。 10時42分：福井県市町村消防相互応援協定により県内各消防本部に応援要請 10時45分：福井県を通じて緊急消防援助隊の出場要請																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>出場隊数</th> <th>出場人員</th> <th>救助人員</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内隊</td> <td>8隊</td> <td>105名</td> <td>24名</td> <td>県下8消防本部</td> </tr> <tr> <td>緊援隊</td> <td>176隊</td> <td>610名</td> <td>189名</td> <td>2府7県緊急消防援助隊</td> </tr> <tr> <td>航空隊 防ヘリ含む (機)</td> <td>10隊</td> <td>89名</td> <td>262名</td> <td>福井、石川、滋賀、島根、鳥取、長野、 京都市、大阪市、神戸市、川崎市</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>194隊</td> <td>804名</td> <td>652名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	出場隊数	出場人員	救助人員		県内隊	8隊	105名	24名	県下8消防本部	緊援隊	176隊	610名	189名	2府7県緊急消防援助隊	航空隊 防ヘリ含む (機)	10隊	89名	262名	福井、石川、滋賀、島根、鳥取、長野、 京都市、大阪市、神戸市、川崎市	合計	194隊	804名	652名	
区分	出場隊数	出場人員	救助人員																							
県内隊	8隊	105名	24名	県下8消防本部																						
緊援隊	176隊	610名	189名	2府7県緊急消防援助隊																						
航空隊 防ヘリ含む (機)	10隊	89名	262名	福井、石川、滋賀、島根、鳥取、長野、 京都市、大阪市、神戸市、川崎市																						
合計	194隊	804名	652名																							
平成16.10	福井市の防災監として管理職1名を派遣する。																									
平成17.1	林省吾消防庁長官が「7.18福井豪雨」に対する職員激励に来訪する。																									

平成17. 3	消防署所適正配置計画に基づき社分遣所を若杉3丁目地係に移転新築し、分署に格上げする。
平成17. 4	消防本部に市町村合併に伴い総務・合併担当として理事職を配置する。
平成17. 4	消防団の組織を7地区制から4地区制に改め、分団名称を第1分団から第43分団に改める。
平成17. 4	消防本部総務課及び管制課に副課長を配置する。
平成17.10.20	清水婦人防火クラブが第17回全国女性消防操法大会に出場する。
平成18. 1.26	越廼分署を越廼村蒲生1-89-1に移転新築する。
平成18. 1.27	清水分署を、清水町小羽の旧分署庁舎横に移転新築する。
平成18. 1.31	消防組合解散式を防災センター多目的ホールにおいて行う。
平成18. 2. 1	市町村合併に伴い、これまでの消防組合を解散し、福井市消防局となる。 (1)消防局の定員「367名」とする。 (2)消防組合時の消防本部に設置していた総務課、職員課、市町村合併推進準備室、予防課、救急救助課及び管制課の5課1室を、消防総務課、予防課、救急救助課及び管制課の4課とする。 (3)消防署の課制を廃止し、あわせて課長を主任に改める。 (4)福井市防災監として、管理職(部長級)1名を出向させるとともに、自主防災組織結成率向上のため、新たに総務部(防災センター)に職員6名を出向させる。
平成18. 4. 1	消防署に、警備事務を統括し、自主防災組織の事務を掌理するため、防災指導官(消防司令長)を配置する。
平成18. 6	「みんなで防災を考える21日間」を実施し、ポスター、のぼり旗を作成し、防火意識の高揚を図る。
平成18. 7	7月豪雨により、中野1丁目、志津ヶ丘2丁目等でがけ崩れが発生、中野1丁目では生埋めとなった2名が死亡する。
平成18.10	14年ぶりに新防火衣が配備される。
平成18.11	女性消防吏員の消防自動車機関員が誕生する。
平成19. 1	福井市改善王選手権2006において改善王グランプリ及び準グランプリを受賞する。
平成19. 1	東消防署耐震補強工事が完了。
平成19. 3	3月25日発生の「能登半島地震」に緊急消防援助隊として、指揮隊、後方支援隊、救助隊及び救急隊が出場する。
平成19. 4	消防組織の充実強化を図るため、組織機構及び職制を次のとおりとする。 (1)中、東署長に消防監を配置する。 (2)消防局予防課に副課長を配置する。 (3)防災センターの施設管理を消防局が行い、技術吏員を消防総務課に配置する。

	(4)自主防災組織結成率が高くなったため、防災センターへの派遣職員3名の派遣を解く。
平成19. 4	団塊の世代の大量退職に伴う消防団員の大量退職を回避するため、消防団員の定年を各々5歳ずつ延長し、副分団長以上を70歳、部長以下を65歳とする。
平成19. 4	消防団総合戦略検討委員会を設置し、消防団の分団区域の見直し等の検討を開始する。
平成19. 5	中消防署救急隊に女性救急救命士が誕生する。
平成19. 7	消防団員の活動服を更新する。
平成20. 3	自治体消防発足65周年記念式典において、(財)日本消防協会から福井市消防団に対し「表彰旗」が、また中谷輝雄消防団長に対し「特別功労賞」が授与される。
平成20. 4	中谷輝雄消防団長が勇退し、藤田貞武中地区団長が新消防団長に就任する。
平成20. 4	総務省消防庁へ職員1名を研修派遣する。
平成20. 4	再任用職員を救急救助課に配置する。
平成20. 7	多様化・複雑化する大規模災害や特殊な災害に対して、迅速かつ効果的に対応するため、東消防署に高度救助隊を設置する。
平成20.10	住宅火災による死者の軽減を図るため、福井市において「住宅防火対策推進シンポジウム」(総務省消防庁主催)を開催する。
平成21. 3	世界的な新型インフルエンザの発症に伴い、福井市消防局新型インフルエンザ業務継続計画を制定し、非常時に備えた体制の整備を図る。
平成21. 3	消防職員についても、団塊の世代に伴う大量退職がはじまる。
平成21. 4	地域防災力の向上を目指し、消防団の分団管轄区域や名称を小学校区と同じに変更し、53ヶ分団(本部分団も含む)定数1,011名の新体制とする。(実員900名)
平成21. 4	交替制勤務の再任用職員を管制課に配置する。
平成21. 5	住宅用火災警報機の設置促進のため、「住警器設置推進本部」を設置。設置率を向上させるため管内全戸の実態把握など全消防機関を挙げて対応する。
平成21. 6	一乗谷朝倉氏遺跡をメイン会場に開催された全国植樹祭に天皇皇后両陛下がご臨席。消防特別警戒を実施する。
平成21.10	平成21年度近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊訓練を福井市で開催する。
平成22. 2	消防団の分団管轄区域等の変更に伴い消防団員を70名増員したことから消防庁長官の「消防団等地域活動表彰」を受賞する。(実員965名)
平成22. 4	消防局職員の定数を「356名」に改める。
平成22. 4	位置情報通信システムを強化した消防情報管制システムに更新する。
平成22. 4	消防庁長官からの要請により海外の被災地に派遣される国際消防救助隊員を、東消防署の高度救助隊員の中から6名を登録する。
平成22. 4	美山分署に高規格救急車を配置したことから、救急救命士3名を配置する。

# 福 井 の 大 火 等

明歴(3年)の大火	1月市内堀平太夫組町から出火、詳細不明。
寛文(9年)の大火	4月15日勝見村永雲寺前から出火、福井城をはじめ59町にわたり3,579戸を焼失する。以後天守閣が見られなくなる。
文政(元年)の大火	7月11日木田横町から出火、橋南地区を全焼し、対岸八幡町に飛火し、1,425戸を焼失する。
嘉永(6年)の大火	6月12日京町から出火、本町、浜町を焼失し、対岸木田から今坂に類焼、971戸を焼失する。
嘉永(7年)の大火	6月13日塩町から出火し、福井城内、外2,242戸を焼失する。
明治(33年)の大火	4月19日木田地方から出火、橋南、明里、三ツ橋地方、22町2村に延焼し、家屋1,891戸、神社学校等262棟を焼失、死者7名、負傷者281名を生じる。
明治(35年)の大火	3月30日佐佳枝中町から出火、主要部31町焼失し、隣接の西藤島村、河合村、東安居村に延焼。3,182戸、神社土蔵等644棟を焼失、死者8名、重傷者36名を生じる。
大正(7年)の大火	5月16日佐佳枝上町から出火、柴田神社、福井地方裁判所等450戸を焼失する。
大正(8年)の大火	5月7日宝永下町から出火、589戸を焼失、死傷者10数名を生じる。
大正(12年)火災 (鮎川大火)	3月31日鮎川東北部から出火、全戸(300戸)を焼失する。
昭和(20年)の空襲	7月19日午後10時15分、空襲により市街地の86.8%を焼失、死者約1,600人を生じる。
昭和(23年) (福井地震)	6月28日午後4時14分(夏時間午後5時14分)、マグニチュード7.3の烈震により、市内建物はほとんど全壊、市内29ヶ所から火災が発生し、2,069戸を焼失、全半壊21,075戸(旧足羽町を含む)、死者1,062名の被害を生じる。
昭和(29年) (大名町大火)	8月4日午前3時50分頃、大名町四ツ辻商店街から出火し、15棟を全焼する。震災後6年間で最大の火災となった。
昭和(32年) (学校火災)	2月6日午後2時40分頃、東明里町湊小学校教室から出火、校舎1棟、渡り廊下を全焼、講堂の一部を部分焼する。
昭和(43年) (駅前大火)	5月18日中央1丁目キャバレー「ささ」から出火、付近商店街等22棟を全半焼、2,465㎡を焼失する。
昭和(43年～46年) (連続放火)	昭和43年10月から昭和46年4月まで、福井市内のほか武生市や春江町、宮崎村など2市7町1村において計64件の「時限発火装置による連続放火」(3・8放火)が発生し、官民が一体となって長期にわたる警戒体制を敷いた。
昭和(46年) (学校火災)	7月15日20時33分、城東3成和中学校体育館から出火し、体育館1棟と渡り廊下を全焼する。
昭和(49年) (駅前大火)	3月30日中央1丁目精肉ビルから出火、付近商店街等13棟を全半焼、1,205㎡を焼失する。
昭和(51年) (ガス局火災)	1月16日福井駅東側に位置する福井市企業局ガス部構内でタンクローリーが、給油作業ミスにより炎上、ナフサ貯蔵タンク2基の誘爆危険もあり、化学車を含む消防

	<p>車両 16 台、消防職・団員 239 名を出場させ防ぎょ活動を展開した結果、タンクローリー 1 台、ナフサ 8,900 のみの焼損で食い止めた。</p>
<p>昭和(53 年) (林野火災)</p>	<p>美山町野波の通称「平岩」の山麓から出火し、標高 500m の山頂まで幅約 1 km に渡って燃え広がり、民有林約 50 ヘクタールを焼失する。</p>
<p>平成(5 年) (密集地火災)</p>	<p>豊島 1 丁目の住宅から出火し、近隣の住宅や旅館等全焼 2 棟、部分焼 9 棟を焼損する。</p>
<p>平成(11 年) (密集地火災)</p>	<p>豊島 2 丁目の倉庫から出火し、近隣の住宅等全焼 7 棟、半焼 1 棟、部分焼 3 棟を焼損する。</p>
<p>平成(15 年) (密集地火災)</p>	<p>中央 1 丁目新栄商店街の中央に位置する商店から出火し、近隣の商店等全焼 7 棟、半焼 1 棟、部分焼 2 棟、ボヤ 3 棟を焼損する。</p>
<p>平成(20 年) (密集地火災)</p>	<p>勝見 3 丁目の一般建物から出火し、全焼 4 棟、部分焼 3 棟を焼損する。</p>

# 福井市消防訓

## 総説

消防は、住民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、社会公共の安寧秩序の保持と福祉の増進に寄与すること甚大なものがあり、職員は、消防人として奉仕の精神の下、義侠と献身の美德を体する高い誇りと責任を持つ。

## 1. 団 結

我々は、消防使命の達成に友愛をもって団結し、あらゆる消防事象に勇気と忍耐をもって迅速的確に対処する。

## 1. 規 律

我々は、規律を重んじ、指揮命令に従い、誠実、かつ、公正に職務を遂行する。

## 1. 修 養

我々は、消防に関する卓越した知識、技術を修め、訓練に励み、美しい徳性を養い、住民の信頼に応える。

# 福井消防の歌

われら！ 消防福井

作詞 北斗 さやか  
作曲 睦 筆 文

<p>ここに伸びゆく 消防 福井</p> <p>築く未来に 夢も咲く</p> <p>明日にはばたく 不死鳥の</p> <p>誇り 高らかに 使命に燃えて</p> <p>めざせ！ われら 緑土の平和</p> <p>3</p>	<p>ここに輝く 消防 福井</p> <p>誠 尽くして 人情あり</p> <p>生命 尊ぶ 活動の</p> <p>備え 弛まず 鎮めよ 火炎</p> <p>鍛え！ われら 魂と身体</p> <p>2</p>	<p>誓い新たに 士気満ちて</p> <p>ここに団結 消防 福井</p> <p>胸に 刻みし 防災の</p> <p>守れ 郷土 仲間よ集え</p> <p>進め！ われら 福井の志士よ</p> <p>1</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------



# 総務編







# 消 防 庁 舎 の 現 況

署 所 別	所 在 地	建築年月日	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建築面積(m <sup>2</sup> )	延面積(m <sup>2</sup> )	備 考
	構 造					
消防局	福井市和田東2丁目2207番地 鉄筋コンクリート4階建	H 3. 7. 1	5,468.17	1,487.09	4,351.27	
中消防署	福井市松本4丁目9-36 鉄筋コンクリート3階建	S40. 8.27	1,004.89	682.06	1,840.66	
訓練塔・車庫	福井市松本4丁目10-1 鉄筋コンクリート2階建	S53.12.27	480.00	400.00	599.45	2階屋上訓練塔
西分署	福井市堀ノ宮町1-12-1 鉄骨造2階建	H10. 9.21	1,029.56	284.95	454.19	
森田分遣所	福井市下森田藤巻町2 鉄骨瓦棒葺平屋建	S42. 7.30	149.81	149.81		
河合分遣所	福井市山室町21-1 鉄骨造2階建	H 4.12. 2	200.00	94.36	144.86	
中藤島分遣所	福井市高木北2丁目901-1 鉄骨造2階建	H 2.10.18	386.00	92.17	144.25	
西安居分遣所	福井市羽坂町34-31-1 鉄筋コンクリート2階建	S50.12.11	196.76	81.00	134.96	
南消防署	福井市花堂中1丁目14-25 鉄筋コンクリート2階建	S47. 3.15	1,538.04	544.31	1,218.33	
社分署	福井市若杉3丁目906 鉄骨造2階建	H17. 3.10	692.87	255.25	429.05	
麻生津分遣所	福井市今市町12字7-1 鉄骨造2階建	H15. 3.25	737.00	193.50	301.19	
清水分署	福井市小羽町27-1 鉄骨造2階建	H18. 1.25	915.16	311.52	477.18	
東消防署	福井市和田東2丁目2205番地 鉄筋コンクリート3階建	S56. 3.30	2,200.04	406.76	1,370.52	
訓練塔・車庫	福井市和田東2丁目1810番地 鉄筋コンクリート2階建	H 4. 3.30	1,046.01	467.01	947.91	2階屋上訓練塔
東藤島分遣所	福井市上中町31-7-3 鉄筋コンクリート2階建	S59.12. 1	316.44	89.60	143.00	
足羽分遣所	福井市東郷二ヶ町37字堂田31番3 鉄骨造2階建	H 7. 3.15	600.00	141.09	195.87	
美山分署	福井市美山町6字9-1 鉄骨造2階建	H15.12.12	458.54	259.69	387.36	
臨海消防署	福井市西畑町15-1-1 鉄筋コンクリート2階建	S61. 3.10	2,100.00	434.59	996.15	
車庫・倉庫	福井市西畑町15-1-1 鉄骨造平屋建	H 2. 3.30	300.00	200.00	200.00	
大安寺分遣所	福井市田ノ谷町13-104 木造瓦葺平屋建	S45. 9.17	52.00	67.47	67.47	
鶉分遣所	福井市砂子坂町5-58 鉄骨平屋建	S59.12. 9	120.00	120.00		
国見分遣所	福井市鮎川町108-6-1 鉄筋コンクリート平屋建	S42. 8.24	656.70	184.13	184.13	
殿下分遣所	福井市畠中町27-13-1 鉄筋コンクリート2階建	S56.11.15	317.42	87.20	138.40	
越廼分署	福井市蒲生町1-89-1 鉄骨造2階建	H18. 1.26	580.40	289.77	428.64	

# 平成22年度 消防局マネジメント方針

## 【基本方針】

市民一人ひとりが「安心」と「安全」を実感しながら生活できるよう、消防団や市民と協働しながら「災害に強い、安心・安全なまちづくり」を進めます。

## 【目標】

- ・ 火災から人命と財産を守るため、防火安全対策の推進に努めます
- ・ 地域の防災力を強化するため、消防団の充実・強化や自主防災組織の育成・指導に努めます
- ・ 助かる命を助けるため「救急知識」の普及に努めます
- ・ 災害現場での対応力を向上させるため、高度な知識や技術を持つ人材の育成や職員の資質向上を図ります
- ・ 消防体制と消防施設の充実を図ります



## 1. 一般会計予算と消防費予算

区 分	2 2 年度当初		2 1 年度当初	
	予 算 額	一世帯当たり負担額	予 算 額	一世帯当たり負担額
一般会計予算	99,368,000 千円	1,037,656 円	95,722,000 千円	1,006,509 円
うち消防費予算	3,571,485 千円	37,295 円	4,688,965 千円	49,304 円

## 2. 人口と予算の推移

年度別	人 口	総予算額	人口一人当りの負担額	うち消防費 予 算 額	人口一人当りの負担額
7 . 4	272,380 人	3,837,961 千円	14,090 円	3,388,877 千円	12,441 円
8 . 4	268,975	3,894,224	14,478	3,452,303	12,835
9 . 4	271,676	3,741,336	13,771	3,521,922	12,963
10 . 4	271,314	3,867,675	14,255	3,672,432	13,535
11 . 4	271,280	3,809,099	14,041	3,622,695	13,354
12 . 4	271,111	3,952,059	14,577	3,802,135	14,024
13 . 4	271,243	3,696,450	13,628	3,557,783	13,117
14 . 4	271,465	3,806,832	14,023	3,676,557	13,543
15 . 4	271,609	3,964,875	14,597	3,836,801	14,126
16 . 4	271,235	3,834,512	14,137	3,704,994	13,660
17 . 4	270,850	3,801,716	14,036	3,667,080	13,539
18 . 4	270,709	87,283,000	322,428	3,735,327	13,798
19 . 4	270,562	98,726,000	364,892	3,798,127	14,037
20 . 4	270,204	93,694,000	346,753	3,770,632	13,955
21 . 4	269,806	95,722,000	354,781	4,688,965	17,379
22 . 4	269,194	99,368,000	368,294	3,571,485	13,267

平成 18 年度以降の総予算額については、市町村合併に伴い組合が解散したことから、福井市一般会計予算額を記してあります。

3. 予算の歳入及び歳出内訳（平成 22 年度当初）

	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
歳 入	一 般 財 源	3,324,258	94.98
	使用料及び手数料	6,168	0.18
	国 庫 支 出 金	34,311	0.98
	県 支 出 金	84,000	2.40
	諸 収 入	21,288	0.60
	市 債	30,000	0.86
	合 計	3,500,025	100.00
歳 出	常 備 消 防 費	3,151,187	88.23
	非 常 備 消 防 費	91,463	2.56
	消 防 施 設 整 備 費	328,835	9.21
	合 計	3,571,485	100.00

4. 平成 22 年度（当初）予算の概要

（単位 千円）

節	目	常備消防費	非常備消防費	消防施設整備費	合 計
報 酬			57,823		57,823
給 与		1,529,634			1,529,634
職 員 手 当		1,033,157			1,033,157
共 済 費		474,917			474,917
報 償 費		376	427		803
旅 費		3,155	225		3,380
需 用 費		31,391	6,875	56,711	94,977
役 務 費		44,025		1,858	45,883
委 託 料		4,280		64,056	68,336
使用料及び賃借料		12,669		2,966	15,635
工 事 請 負 費		600		9,000	9,600
原 材 料 費		50			50
備 品 購 入 費		6,409		131,946	138,355
負担金補助及び交付金		10,524	26,113	58,792	95,429
補償、補填及び賠償金				200	200
公 課 費				3,306	3,306
合 計		3,151,187	91,463	328,835	3,571,485

(人事・教養)

1. 消防職員の現況

(平成22年4月1日現在)

所属別		合計	消防吏員								その他職員		
			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	その他職員	計
<b>実員合計</b>		<b>355</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>18</b>	<b>70</b>	<b>91</b>	<b>87</b>	<b>47</b>	<b>32</b>	<b>345</b>	<b>10</b>	<b>10</b>
消防局	消防局長	1	1								1		
	次長	2		1							1	1	1
	調整参事	1			1						1		
	消防総務課	21			2	3	1	2		10	18	3	3
	新採用	10								10	10		
	福井県防災航空隊派遣	2				1		1			2		
	予防課	6			2	2	1		1		6		
	救急救助課	8			2	2	3				7	1	1
	管制課	21			1	6	7	2			16	5	5
計	60	1	1	8	13	12	4	1	10	50	10	10	
消防署	本署	51		1	2	12	11	12	2	11	51		
	西分署	18				3	4	8	2	1	18		
	西安居分遣所	6				1	3	2			6		
	中藤島 "	6				2	1	3			6		
	河合 "	6				1	3	2			6		
	森田 "	6				2	3	1			6		
計	93		1	2	21	25	28	4	12	93	0	0	
南消防署	本署	36			3	8	8	10	4	3	36		
	社分署	6				1	3	2			6		
	清水分署	12				2	4	4	1	1	12		
	麻生津分遣所	6				1	2	2	1		6		
	計	60			3	12	17	18	6	4	60	0	0
東消防署	本署	50		1	2	12	8	15	4	8	50		
	美山分署	12				2	4	5	1		12		
	東藤島分遣所	6				1	4	1			6		
	足羽分遣所	6				1	4	1			6		
	計	74		1	2	16	20	22	5	8	74	0	0
臨海消防署	本署	35			3	8	5	16		3	35		
	越廼分署	9				1	4	1	3		9		
	大安寺分遣所	6					2	4			6		
	国見 "	6				1	2	2	1		6		
	殿下 "	6				1	3	2			6		
	鶉 "	6				1	1	4			6		
	計	68			3	12	17	29	4	3	68	0	0

\* 条例定数 356人

## 2 職員階級別年齢状況

(平成22年4月1日現在)

	合計	消 防 吏 員								その他職員	年齢別構成率
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
<b>平均年齢</b>	42.82	58.00	57.67	55.83	51.08	46.91	38.11	32.00	23.78	54.60	
<b>計</b>	355	1	3	18	74	91	101	20	37	10	100.0
18才 ~ 19才	2								2		0.6
20才 ~ 21才	6								6		1.7
22才 ~ 23才	5								5		1.4
24才 ~ 25才	17							1	16		4.8
26才 ~ 27才	10							4	6		2.8
28才 ~ 29才	9						4	3	2		2.6
30才 ~ 31才	10						8	2			2.8
32才 ~ 33才	14						12	2			3.9
34才 ~ 35才	33					3	26	4			9.3
36才 ~ 37才	20					8	10	2			5.6
38才 ~ 39才	20					8	10	1		1	5.6
40才 ~ 41才	14				1	7	6				3.9
42才 ~ 43才	15				2	4	8			1	4.2
44才 ~ 45才	24				6	13	4			1	6.8
46才 ~ 47才	12				8	4					3.4
48才 ~ 49才	24				14	6	4				6.8
50才 ~ 51才	15			1	5	7	2				4.2
52才 ~ 53才	29			2	15	10	1	1			8.2
54才 ~ 55才	25			5	9	10	1				7.3
56才以上	51	1	3	10	14	11	5			7	14.1

## 3 職員の勤続年数状況

(平成22年4月1日現在)

職名別 階級別 年齢別	総計	消 防 吏 員								その他職員	年齢別構成率
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
<b>計</b>	355	1	3	18	74	91	101	20	37	10	100.0
1年未満	17								10	7	4.8
1年以上 ~ 5年未満	30							4	23	3	8.5
5年以上 ~ 10年未満	26						14	8	4		7.3
10年以上 ~ 15年未満	32					2	27	3			9.0
15年以上 ~ 20年未満	48				1	13	31	3			13.5
20年以上 ~ 25年未満	26				1	16	8	1			7.3
25年以上 ~ 30年未満	48			1	18	20	9				13.5
30年以上	128	1	3	17	54	40	12	1			36.1

## 4. 福利厚生

職員の福利厚生については、福井県市町村職員共済組合の組合員としての各種保健衛生などの恩恵を受けているほか、福井市職員共済会において、会員の福利の増進を図る一方、体育・文化両面のクラブ活動及び慶弔互助事業などを行っている。又、特殊な勤務体制下で職員の健康保持を図るため、特定業務従事者健康診断等を実施している。

### 保健衛生事業

種 別	利 用 者 数	種 別	利 用 者 数
脳 ド ッ ク	32人	二 日 人 間 ド ッ ク	46人
B型肝炎抗原抗体検査	105人	一 日 人 間 ド ッ ク	31人
特定業務従事者健康診断	278人	定 期 健 康 診 断	274人

## 5. 平成21年度消防職員教養等実施状況

複雑化した消防業務を適正かつ能率的に処理し得る資質能力を養成するため、委託教養及び所属における執行務教養を重点にした、効率的な教養を実施してきた。

教育区分		職名	実施回数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
委託 研修	幹部教育		2		4	2	2			8	
	専科教育	特殊災害科	1		1	2	1				4
		予防査察科	1				3	1			4
		火災調査科	1					3	1		4
		救助科	1				2	2			4
		救急科	1				2	1	5		8
	特別教育	水難救助科	1			1	1				2
		操法指導員教育	1		2	1	2				5
		起震車操作員教育	1				1	3			4
		各種講座	5		6	11	10	10			37
小 計			15		13	17	24	20	6	80	
本部教養	消防大学校入校		2		1	1				2	
	救急救命研修所入所		4			2		2		4	
	小 計		6		1	3		2		6	
講習 会 等	小型移動式クレーン運転技能講習		2			1			1	2	
	ガス溶接技能資格者		1				1			1	
	第2種酸素欠乏危険作業主任者技術講習		4				2	2		4	
	足場組立等作業主任者技能講習		2		1			1		2	
	玉掛技能研修		1			1				1	
	衛生管理者試験準備講習		1					1		1	
	救急救命士研修		13		2	1	3	4	3	13	
	2級小型船舶操縦士		2				1	1		2	
	潜水土士		2					1	1	2	
	小 計		28		3	3	7	10	5	28	
合 計			49		17	23	31	32	11	114	



## 6. 公務災害等発生状況

区 分	合 計	発 生 原 因										治 療 未 満 1ヶ月	治 療 以 上 1ヶ月	
		火 災	救 急	救 助	風 水 害	査 察	調 査	勤 務	訓 練	作 業	通 勤			そ の 他
平成 11 年度	4			1					2	1				4
平成 12 年度	3								3				1	2
平成 13 年度	3	1							2					3
平成 14 年度	0													
平成 15 年度	3	2		1										3
平成 16 年度	3	2		1										3
平成 17 年度	4	2							2				2	2
平成 18 年度	2								1	1				2
平成 19 年度	5	1					1		1	2			2	3
平成 20 年度	8			2					4	1		1	5	3
平成 21 年度	1								1					1

## 7. 消 防 音 楽 隊

福井市消防音楽隊は、昭和 29 年火災予防広報を推進する目的で結成して以来、消防の各種行事をはじめ、各地区の体育祭、諸行事等に参加し、演奏活動を通じて広く住民と接し、消防に対する理解と認識を深め住民の防火思想の啓発普及に努めている。



(1) 階級別構成

(平成22年4月1日現在)

階 級	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
構成人員	3	5	11	4	10	33

( \* 日勤者 4名、 3部勤務者 29名 )

(2) 編成状況 ( \* 隊長 1名、副隊長 1名、楽長 2名、隊員 29名 )

マ ー チ ン グ 編 成		コ ン サ ー ト 編 成	
ドラムメジャー	1	指 揮 者	1
トランペット	5	トランペット	5
コルネット	2	コルネット	2
ホルン	4	ホルン	4
ユーホニウム	2	ユーホニウム	2
トロンボーン	4	トロンボーン	4
バス	4	バス	4
サククス	5	サククス	5
パーカッション	6	パーカッション	6

(3) 活動状況

(平成21年中)

活動内容	消防関係	県市関係	慰問関係	その他	計
活動数	10	12	0	12	34

## 8 . 消 防 団 の 組 織

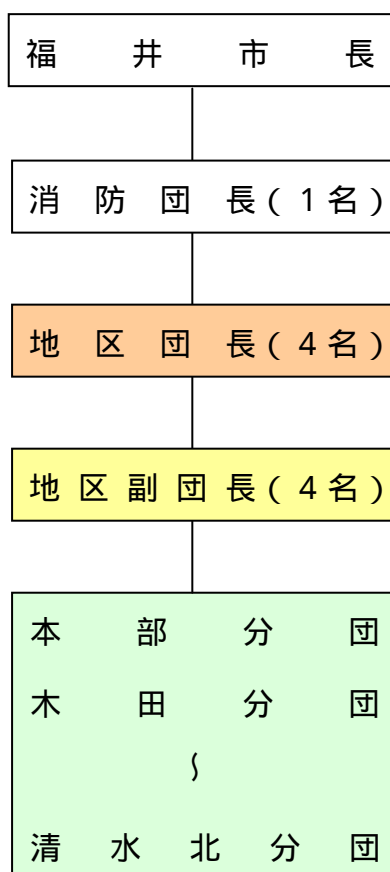
昭和46年11月1日、福井市、美山町、越廼村、清水町の一市二町一村で組合消防を設立以来、幾多の難問題を克服して消防団の大同団結を図り、昭和48年11月1日、福井地区消防団として全国初の消防団の統合を達成し、常備、非常備一体の理想的な自治消防を作りあげ、警防体制を確立するとともに、地域住民への防火思想の普及など多彩な消防活動を続けている。

平成18年2月1日には、組合を構成する一市二町一村が合併したことに伴い、新たに福井市消防団として組織を再編した。

平成19年4月には、団塊の世代の退職による消防団員の大量退職を回避するため、各々の定年を5歳ずつ延長し、副分団長以上の幹部を70歳、部長以下の団員を65歳とした。また、地域の消防防災力の向上と福井市国民保護計画との整合性や減少化の傾向にある消防団員の確保を目的として、消防団の中に「福井市消防団総合戦略検討委員会」を設置して種々検討を行った。その結果、市長や市議会議員、市民の理解を得て、平成21年4月から各分団の管轄区域や名称を小学校区と同じに変更し、53個分団、定数1,011名の新体制により、更なる市民の安心、安全の確保を目指し消防団活動を展開している。

### 福井市消防団組織図

平成22年4月1日



消防団員の階級別人員、平均年齢

(平成22年4月1日)

階級	団長	地区団長	地区副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定数	1	4	4	52	52	98	99	701	1,011
実員	1	4	4	52	52	93	93	663	962
平均年齢	69.0	63.2	57.5	59.3	55.6	54.1	50.3	41.5	45.5

消防団員現況一覧表

分団別人員

(平成22年4月1日)

分団	消防団長	地区団長	地区副団長	女性分団	木田	豊	足羽	東安居	湊	春山	順化	宝永	松本	日之出	旭	和田
定員	1	4	4	16	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
実員	1	4	4	15	17	22	17	13	20	20	23	19	13	13	16	15
分団	円山	啓蒙	西藤島	社北	社南	安居	中藤	大安寺	河合	麻生津	国見	岡保	東藤島	殿下	鶉	本郷
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
実員	12	20	20	14	20	25	17	20	24	24	23	20	23	21	20	18
分団	棗	鷹巣	森田	明新	酒生	一乗	上文殊	六条	文殊	東郷	日新	清明	社西	下宇坂	芦見	羽生
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	11	11	11
実員	20	19	22	14	18	20	20	20	20	19	12	17	20	11	11	11
分団	上味見	下味見	上宇坂	越廼	清水西	清水東	清水南	清水北								
定員	11	11	11	20	20	20	20	20								
実員	10	11	11	30	18	20	18	17								

## 年齢別消防団員数

(平成22年4月1日)

年齢別	18～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60才以上	計
人員	0	54	238	306	280	84	962

## 在職年数別消防団員数

(平成22年4月1日)

年齢別	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	計
人員	289	170	148	116	101	138	962

## 消防団員の職務報酬

(平成22年4月1日)

区分	報酬額	区分	報酬額
消防団長	73,000円	副分団長	35,000円
地区団長	70,000円	部長	24,000円
地区副団長	59,000円	班長	19,000円
分団長	46,000円	団員	17,000円

## 消防団員の勤務報酬

(平成22年4月1日)

区分	基礎	支給額	摘要
出場勤務報酬	1回	2,200円	1日を単位とする
機関勤務報酬	正機関員	月額	5,500円
	副機関員	月額	2,200円
技術勤務報酬	年額	2,200円	

(備考) 1. 出場勤務とは、水火災にかぎらず、訓練警戒等すべて含む。

2. 出場時間4時間以上となる時は、4時間毎に出場勤務追加料(700円)を支給する。

## 消防団の活動状況

(平成21年度)

区分	計	火災等	災害等	消防訓練	警戒警備	火災予防	教養	その他
延出場回数	841	23	65	620	6	70	13	44
延出場人員	11,625	246	1,044	7,887	1,091	624	195	538



## 消 防 団 員 の 教 養

分団単位による消防活動の効率化を図るため、定例的（毎月）に規律訓練及び消防操作を重点的に実施するとともに、中堅幹部については指揮能力の向上を図る教養訓練を実施した。（平成22年度中）

教 養 区 分	受講対象者数	受 講 者 数	受 講 率	受 講 場 所
中級幹部教養	40人	38人	95.0%	県消防学校
初級幹部教養	65人	45人	69.2%	県消防学校
各地区巡回教養	962人	722人	75.1%	各地区4ヶ所

活動訓練（福井市防災訓練）



ポンプ車操法訓練



水防活動（福井豪雨 中央1丁目）



# 予 防 編



(福井地震 昭和23年6月28日)



福井地震により倒壊寸前の被害を受けた大和デパート



福井地震後、一面焼け野原となった福井市内



地震により住宅が倒壊した森田町の様子



(第1表)

# 防火対象物の状況

(平成22年3月31日現在)

区分 別表第一	総 数	政令対象物																危険物施設等																	
		小 計	1種				2種				3種				4種				小 計	1種				2種				3種				4種			
			中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署		中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署				
合計	11,904	8,883	277	165	196	31	352	318	334	65	1,175	612	611	85	1,888	1,298	1,312	164	3,021	3	2	1	74	213	192	147	198	0	0	0	0	793	698	559	141
1 イ劇場等	30	7	2	3	2														23					6									16	1	
□集会場等	122	106	12	5	16	1					15	23	7	7	9	6	3	2	16					1	1		1					1	8	4	
2 イキャバレー等	0																																		
□遊技場等	39	31	5	4	7						5	4	1		4	1			8					4	1							2	1		
ハ性風俗関連施設	2	1									1								1													1			
ニカラオケボックス等店舗	13	13									4	5	4																						
3 イ料理店等	50	46	3		1						11	13	9		7	2			4												2	2			
□飲食店	453	350	10	1	2						119	24	36	4	55	45	50	4	103												38	21	43	1	
4 店舗百貨店等	608	510	52	47	36	1					93	61	60	3	60	56	40	1	98				4	6	3	1					28	33	20	3	
5 イ旅館ホテル等	206	111	19	4	18	14					12	7	11	16	3	1	1	5	95				9	4	8	4					21	10	15	24	
□共同住宅等	3,016	2,427									385	146	185	5	825	506	371	4	589												270	171	143	5	
6 イ病院等	298	188	31	21	17	4					32	18	19	3	18	16	8	1	110			1	7	10	8	6					35	27	9	7	
□避難困難施設	89	39	5	12	8	6					3	4	1						50				8	7	6	5					8	11		5	
ハ老人デイサービス等	213	154	6	7	9	1					35	35	24	5	10	14	7	1	59				5	3	2	1					14	22	10	2	
ニ特殊学校・幼稚園	32	22	6	7	1						5		2	1					10				2		1					6		1			
7 学校等	202	106					33	26	24	13	6		1		2		1		96				12	1	15	2					13	22	19	12	
8 図書館等	25	17					4	4	2	1		2	1	1		2			8				2		1					2	3				
9 イサウナ等	10	5	1	1	1						1	1							5				1	1						1	1	1			
□公衆浴場等	44	20					1	1	1	1	1	1	1		5	5	3		24				2	4	2	1					8	4	3		
10 車輛停車場	0																																		
11 神社寺院等	224	212					13	9	5	1	1			41	53	49	40	12												5	3	4			
12 イ工場等	2,085	1,269					102	117	106	39	61	94	74	13	197	211	195	60	816	3	1		48	77	69	21	172				137	151	86	51	
□スタジオ等	0																																		
13 イ車庫等	52	47					11	1	9		8	1	2		6	2	6	1	5				1	1						1		2			
□特殊格納庫等	0																																		
14 倉庫	891	761					46	73	76	1	47	53	81	8	117	83	155	21	130		1		8	15	8					14	49	33	2		
15 前項以外	1,325	988				1	125	64	86	6	12	10	1	2	259	160	246	16	337			26	43	39	43	4				44	68	53	17		
16 イ特定用途の存する複合	1,322	983	125	53	78	3					290	98	74	16	95	59	88	4	339				28	18	28	1				117	49	87	11		
□イ以外の複合用途	545	462					17	23	24	2	27	10	14	1	175	76	89	4	83				3	3						27	25	24	1		
17 文化財	8	8							1	1	1	2	3																						
18 アーケード	0																																		
単独施設	710																		710	30	34	37	17	73	90	135	8				48	130	83	25	

【政令査察対象物区分】

- ・第1種査察対象物 ... 特定防火対象物で延面積1000㎡以上のもの。石災法第2条第6号の特定事業所。
- ・第2種査察対象物 ... 非特定防火対象物（共同住宅を除く）で延面積1000㎡以上で、かつ、自動火災報知設備の設置義務を有するもの。
- ・第3種査察対象物 ... 第1種及び第2種査察対象物以外の防火対象物で自動火災報知設備の設置義務を有するもの。
- ・第4種査察対象物 ... 政令別表第1に掲げる防火対象物（第1種、第2種、及び第3種査察対象物を除く）のうち、政令第10条の規定に基づき消火器の設置義務を有するもの。

【危険物施設等】

- ・第1種査察対象物 ... 予防規程の制定義務を有する危険物製造所等。
- ・第2種査察対象物 ... 第1種査察対象物以外の危険物製造所等。
- ・第3種査察対象物 ... 自動火災報知設備又は固定式消火設備の設置義務を有する指定可燃物貯蔵取扱所等。
- ・第4種査察対象物 ... 第1種、第2種、及び第3種査察対象物以外の危険物施設等。

(第2表)

# 防火対象物の査察状況

(平成22年3月31日現在)

区分 別表第一	総 数	政令対象物																危険物施設等																	
		小 計	1種				2種				3種				4種				小 計	1種				2種				3種				4種			
			中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署		中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	中 署	南 署	東 署	臨 海 署				
合計	3,605	2,710	245	144	183	48	141	93	159	54	347	271	188	74	269	309	142	43	895	0	1	0	45	146	104	75	91	0	0	0	0	135	133	119	46
1	イ劇場等	14	7	2	2	3													7						6									1	
	□集会場等	65	58	10	4	9	3				7	15	2	3	2	1	2		7				3			2						1	1		
2	イキャバレー等	0																																	
	□遊技場等	60	52	5	3	10				6	10	1		15	2				8					4	1					1	2				
	ハ性風俗関連施設	0																																	
	ニカラオケボックス等店舗	27	26							6	13	7							1															1	
3	イ料理店等	8	7							1	1	2		1	1	1			1														1		
	□飲食店	253	215	15		5				101	12	20	2	30	14	12	4		38												23	5	9	1	
4	店舗百貨店等	285	251	38	35	34	2			28	27	14	3	5	41	20	4		34				3	1	3	2				2	12	9	2		
5	イ旅館ホテル等	128	73	9	2	13	14			1	2	5	18			5	4		55				9	1	3	7				3		9	23		
	□共同住宅等	316	270							44	19	30	1	88	66	19	3		46											32	2	10	2		
6	イ病院等	175	122	31	18	21	10			6	7	11	5	5	5	2	1		53				7	6	7	12				11	5	3	2		
	□避難困難施設	113	77	14	15	9	12			9	14	3	1						36				8	2	6	9					3	3	5		
	ハ老人デイサービス等	239	191	9	14	12	3			18	40	38	9	8	37	2	1		48				5	6	5	3				5	16	6	2		
	ニ特殊学校・幼稚園	30	21	6	9						2	1	3						9				1							1	5	2			
7	学 校 等	127	94					38	30	19	4	2		1					33				11	1	8	1				1	4	5	2		
8	図 書 館 等	28	17			1		8	2	1			1	2	1				11				4		1					6					
9	イサウナ等	3	1			1													2					1									1		
	□公衆浴場等	15	4							3					1				11				2	4						4	1				
10	車 輛 停 車 場	0																																	
11	神 社 寺 院 等	47	45					5	8	1	1				2	8	17	3	2															2	
12	イ工場等	540	335					36	23	47	39	11	30	16	8	40	53	17	205			19	38	23	14	46				9	27	26	3		
	□スタジオ等	0																																	
13	イ車 庫 等	13	12					2	1	4		1		1		1	1	1	1															1	
	□特殊格納庫等	0																																	
14	倉 庫	166	137			1		5	7	27		12	30	3	6	17	29		29		1			10	4					3	7	4			
15	前 項 以 外	354	208			1		44	17	51	7	4	4	2	1	23	31	18	146			26	34	23	11	7				12	14	16	3		
16	イ特定用途の存する複合	522	423	106	42	63	4					83	32	25	13	16	12	25	99				20	14	12	2				18	24	9			
	□イ以外の複合用途	62	49					3	5	7	2	4	4		17	6	1		13				1	2						4	3	2	1		
17	文 化 財	15	15									2	1																						
18	ア ー ケ ー ド	0																																	
単独施設		409																	409	35	46	47	14	56	105	84	4				3	4	3	8	

(第3表)

# 高層建築物等の実態

(平成22年3月31日現在)

階別 用途別	総 数	地 上 階 数																																																	
		4 階					5 階					6 階					7 階					8 階					9 階					10 階					11 階					12 階					13 階以上				
		小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署					
合計	1,500	773	442	150	171	10	351	227	54	66	4	169	105	23	39	2	74	45	7	21	1	64	37	9	18	0	25	16	3	6	0	20	6	5	9	0	7	5	1	1	0	4	2	0	2	0	13	10	0	3	0
1	イ	1										1	1																																						
	ロ	3	2	2			1			1																																									
2	イ	0																																																	
	ロ	3	3	2	1																																														
	ハ	0																																																	
3	イ	8	5	3	1	1	3	3																																											
	ロ	82	37	31	4	2	33	32	1			11	11									1	1																												
4	イ	41	28	19	1	8	11	11														2	2																												
5	イ	38	17	7	4	3	3	1		1	1	2	1		1	1	1				8	6		2	3			3	1	1				2	2							1	1								
	ロ	466	222	111	47	63	1	77	39	19	19	64	38	11	15		42	20	6	16		30	11	7	12	8	4	2	2	13	3	4	6	3	1	1	1	2	1	1	5	4	1								
6	イ	62	39	16	12	9	2	11	7	3	1	5	4		1	4	2		1	1	1			1	1															1	1										
	ロ	7	2			1	1	2	2			3	2	1																																					
	ハ	10	4	3		1	5		1	4		1		1																																					
ニ	0																																																		
7	イ	31	18	8	4	5	1	7	6		1	3	2		1																							2	2												
8	イ	1	1		1																																														
9	イ	2	1		1							1	1																																						
	ロ	0																																																	
10	イ	0																																																	
11	イ	5	5	2	3																																														
12	イ	34	25	6	10	8	1	8	4	4		1		1																																					
	ロ	0																																																	
13	イ	3	3	2		1																																													
	ロ	0																																																	
14	イ	19	14	6	3	5		5	3	2																																									
15	イ	222	92	54	10	27	1	61	37	10	14	32	18	6	8	13	11	1	1		11	10		1	8	8		1			1	2	2			1		1	1	1											
16	イ	352	183	139	26	18		101	73	8	19	1	37	24	1	12	10	9		1	10	6	2	2	4	3		1	3	1	1	1				1	1		3	2	1										
	ロ	110	72	33	20	19		23	9	6	8		8	3	2	3	4	2		2					1	1		2	1		1																				
17	イ	0																																																	
18	イ	0																																																	

(第4表)

# 地階を有する建築物実態

(平成22年3月31日現在)

階別 用途別	総 数	地 下 階 数														
		地下1階					地下2階					地下3階				
		小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署	小 計	中 署	南 署	東 署	臨 海 署
合 計	302	277	196	33	34	14	22	17	0	4	1	3	3	0	0	0
1	イ	1	1		1											
	ロ	4	4	3		1										
2	イ	0														
	ロ	1	1			1										
	ハ	0														
	ニ	1	1	1												
3	イ	4	4	3	1											
	ロ	24	24	23			1									
4	7	7	6		1											
5	イ	11	10	5		1	4	1				1				
	ロ	12	10	8		2		2	2							
6	イ	15	14	6	3	5		1			1					
	ロ	4	4	1		2	1									
	ハ	2	2	1			1									
	ニ	0														
7	4	4	4													
8	8	8	3	3	1	1										
9	イ	0														
	ロ	1	1				1									
10	0															
11	5	5	2	2	1											
12	イ	4	4		2	1	1									
	ロ	0														
13	イ	4	2	1		1		2	2							
	ロ	0														
14	0															
15	80	66	44	10	9	3	12	11		1		2	2			
16	イ	100	95	79	8	7	1	4	2		2	1	1			
	ロ	10	10	6	3	1										
17	0															
18	0															

(第5表)

# 建築物同意事務処理状況

(平成21年度中)

処理件数	同意										
	同意件数	消防長同意					署長同意				
		小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
503	473	5	1	2	2	468	188	138	123	19	

処理件数に仮使用は含まず。

同意									
指導無し					指導有り				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
251	111	65	69	6	222	78	75	56	13

不同意(返却)					不同意の理由														
					消防法					建築基準法					その他				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
0					0					0					0				

計画通知					許可申請				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
30	7	13	9	1	20	6	8	6	

仮使用				
小計	中署	南署	東署	臨海署
9	8		1	

建築基準法第6条第1～3号					建築基準法第6条第4号					建築通知				
小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署	小計	中署	南署	東署	臨海署
233	88	80	51	14	261	108	73	74	6	900	400	322	156	22

(第6表)

### 防火対象物別消防用設備等着工・設置届出状況

(平成21年度中)

区分 用途別	消火器	屋内消火栓	スプリンクラー	水噴霧消火設備	泡消火設備	消火活性剤	消火口	八口	粉未消火設備	屋外消火栓	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	ガス漏警報設備	放送設備	漏電火災警報器	火災通報装置	避難設備	誘導灯	消防用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント	無線通信補助設備	令第二十九条の係	合計																	
	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置																
合計	100	28	20	31	49	0	0	2	2	3	1	1	1	2	1	2	0	0	172	152	0	0	30	0	2	9	35	28	102	1	1	0	3	1	0	1	0	279	501				
1 イ劇場等																																						0	0				
□集会場等	7	2	3										6	6		5			2	1	6																	10	28				
2 イキャバレー等																																							0	0			
□遊技場等																																							0	0			
ハ性風俗関連施設																																							0	0			
二カラオケボックス等店舗																																							0	0			
3 イ料理店等	1																																						0	2			
□飲食店	12	1			1										7	14																						8	44				
4 店舗百貨店等	20		1	5	7			1	1						21	14					1																		29	69			
5 イ旅館ホテル等															2	3					1	1	1															3	5				
□共同住宅等	9	2	3	1	2			1	1	1					18	12			1	1	13	9	3											3	1			36	45				
6 イ病院等	4	1	3	7	10										4	15					3	3	2	11	1													16	59				
□避難困難施設	7	1	1	6	8										4	13					3	1	6															13	41				
ハ老人デイサービス等	4		1	5	4										9	12					1		5															14	28				
二特殊学校・幼稚園	1	1													3	2					2	1	2															6	6				
7 学校等	2	7	1												14	4					4	4	4															25	16				
8 図書館等		1													3	1																							4	3			
9 イサウナ等																																							0	0			
□公衆浴場等															2																								2	0			
10 車輛停車場																																							0	0			
11 神社寺院等																5	1																						5	1			
12 イ工場等	3	5								1					24	4																							34	9			
□スタジオ等																																							0	0			
13 イ車庫等	1														1	1																							1	2			
□特殊格納庫等																																							0	0			
14 倉庫		1													10																								12	0			
15 前項以外	10	4	3	1				1		1					15	10					4	2	8																26	33			
16 イ特定用途の存する複合	18	1	2	6	17										21	33					2	2	5	17														30	99				
□イ以外の複合用途	1	1	2												2	1					1		1															4	5				
17 文化財															1	6																							1	6			
18 アーケード																																								0	0		
署別								2	2	3	1																														130	203	
中消防署	38	17	10	14	22										79	60					10				2	15	10	44												74	150		
南消防署	32	4	6	6	9										48	51					7				1	6	14	10	27											60	148		
東消防署	30	7	4	11	18										33	41					13				1	1	6	8	31												15	0	
臨海消防署																																											

(第7表)

## 消防用設備等設置状況

(平成22年3月31日現在)

用途別	区分	消 火 設 備								警 報 設 備							避 難 設 備					消火活動上必要な施設						令二十九条の四関係		
		屋内消火栓	設置プリンクラー	水噴霧消火設備	泡消火設備	消火活性ガ	消火口ゲン化	粉末消火設備	屋外消火栓	動力消防ポンプ	自動火災報知設備	ガス漏警報設備	漏電火災警報器	火災通報装置	非常ベル	自動式サイレン	放送設備	救助袋	緩降機	避難橋	その他	誘導灯	消用水	排煙設備	連結散水設備	連結送水管	非常コンセント		無線通信補助設備	
合計		919	171	2	40	39	84	157	74	80	4,612	22	134	179	567	7	453	246	438	11	1,524	4,501	114	31	14	279	56	7	21	
1	イ劇場等	5	1						2	1	7		1			6		1		1	7	3				1	1			
	ロ集会場等	13	1								91	1	2		8	49	4	5		7	101						1		2	
2	イキャバレー等	2																												
	ロ遊技場等	7	4		2		1	7			26		4	2		19		1		6	29	1				3				
	ハ性風俗関連施設										1										1	1								
3	イ料理店等	3									35		1	1				5		14	43					1				
	ロ飲食店	4	1				2	1			197		5	94		2	3	27	4	99	353					4				
4	店舗百貨店等	53	20		3		1	12	4	1	343		4	1	89	1	56	2	20		19	491	5	6		4	2		1	
5	イ旅館ホテル等	33	3		1	2	2	14			105	1	4	26	6		22	3	12	1	46	107	4	2		16	4			
	ロ共同住宅等	93	4		2	1	1	11			855	2	6	2	93	3	4	1	29		795	375	1	2		104	10			
6	イ病院等	20	24		2	1	3	8			146	3	3	36	13		28	39	31		19	185	8	1		13	4		1	
	ロ避難困難施設	3	29	1				1	1	1	39		3	29	1		23	7			13	37	4			1				
	ハ老人デイサービス等	8	14					1		1	127		5	46	7	1	11	4	4		37	145	2	1		1				
二	特殊学校・幼稚園	4	1								22			2			2		1		12	22								
7	学校等	91	2					2	1	1	104	4	35		1		63	80	11		16	105	19	4	1	5	2			
8	図書館等	8	2			3	4	1			17		3				11	3	2		1	16	3	1	2	1	1			
9	イサウナ等	2						1			5						3		1		1	5							1	
	ロ公衆浴場等	1						1			9		6	2		1					2	10								
10	車輛停車場																													
11	神社寺院等	9			2			3	4		52		2	51	1	4	5	5		10	57	2							4	
12	イ工場等	186	1		1	6	3	32	37	54	612		21	6		4	6	12		18	523	26		2	5				7	
	ロスタジオ等																													
13	イ車庫等	1			5	4	6	18			30					2					15			3	1	5	2	2		
	ロ特殊格納庫等																													
14	倉庫	108	1		1		1	2	11	12	381		8			2		9		15	245	3							1	
15	前項以外	125	9		8	13	42	8	10	5	474	3	6	1	94		40	42	111		89	508	11	1	6	50	12	2		
16	イ特定用途の存する複合	110	54	1	13	7	14	31	1	3	720	8	11	35	68		94	43	122	4	205	906	21	10	1	59	16	3	3	
	ロイ以外の複合用途	29				2	4	3	1	1	195		4	1	31	1	2	4	29	2	94	200	1		1	6	1		1	
17	文化財	1							2		6											2								
18	アーケード																													
署別	中消防署	370	61	2	20	28	63	52	25	22	1,990	10	50	61	240	5	176	114	248	9	791	1,883	34	15	11	162	37	5	6	
	南消防署	243	41		6	4	5	45	20	30	1,176	4	49	47	160	1	134	62	78	1	312	1,236	31	1	3	34	7	1	7	
	東消防署	246	60		14	5	15	56	14	24	1,261	6	20	52	147	1	119	54	105		385	1,200	27	9		79	12	1	6	
	臨海消防署	60	9			2	1	4	15	4	185	2	15	19	20		24	16	7	1	36	182	22	6		4			2	

(第8表)

## 消防用設備等の点検報告状況

(平成21年度中)

	点検報告の必要な防火対象物					点検報告された防火対象物					
	計	1,000㎡未満		1,000㎡以上		計	1,000㎡未満		1,000㎡以上		
			特定一 階段等		特定一 階段等			特定一 階段等		特定一 階段等	
合計	8,883	6,765	120	2,118	28	2,878	1,549	40	1,329	11	
小計	2,566	1,898	120	668	28	1,309	735	40	574	11	
1	イ	7		7		6			6		
	ロ	106	72	1	34	74	47		27		
2	イ										
	ロ	31	15		16	28	13		15		
	ハ	1	1	1		1	1	1			
	ニ	13	13	1		9	9				
3	イ	46	42	10	4	13	11	1	2		
	ロ	350	337	42	13	1	151	141	16	10	
4		510	374	25	136	5	243	126	3	117	3
5	イ	111	56	7	55	9	88	30	3	58	5
6	イ	188	115	5	73	2	141	73	4	68	1
	ロ	39	8	1	31		65	19	1	46	
	ハ	154	131		23	1	90	74		16	1
	ニ	22	8		14		20	7		13	
9	イ	5	2	1	3		3	1		2	
16	イ	983	724	26	259	10	377	183	11	194	1
16の2											
16の3											

小計		6,317	4,867		1,450	0	1,569	814		755	0
5	ロ	2,427	2,075		352		505	391		114	
7		106	10		96		86	6		80	
8		17	6		11		14	4		10	
9	ロ	20	12		8		14	9		5	
10											
11		212	182		30		52	42		10	
12	イ	1,269	896		373		301	95		206	
	ロ										
13	イ	47	25		22		25	3		22	
14		761	561		200		124	58		66	
15		988	697		291		378	179		199	
16	ロ	462	398		64		67	26		41	
17		8	5		3		3	1		2	
18											





(第10表)

# 消防法・火災予防条例に基づく届出状況

(平成21年度中)

届出種別		区 分	合 計	局 署 別					
				局	中 署	南 署	東 署	臨海署	
合 計			3,967	1	1,603	1,167	1,035	161	
法	液化石油ガス届出		47		16	7	24		
	圧縮アセチレンガス届出		18			15	2	1	
火災予防条例関係	裸火等禁止行為解除申請		101		80	15	6		
	防火対象物使用開始届		269		109	72	72	16	
	火を使用する設備、電気設備の設置届	熱風炉		0					
		炉		5			2	1	2
		厨房設備		1				1	
		温風暖房機		4			3	1	
		ボイラー		21		7	8	4	2
		給湯湯沸設備		6		2	4		
		乾燥、サウナ設備		4		1			3
		ヒートポンプ冷暖房機		0					
		火花を生ずる設備		0					
		放電加工機		0					
		変電設備		46		16	15	12	3
		発電設備		15		4	2	6	3
		蓄電池設備		21		12	3	5	1
		ネオン管灯設備		1		1			
	水素ガス気球		20		3	13	4		
	少量危険物貯蔵取扱届		43		10	14	17	2	
	指定可燃物貯蔵取扱届		10		6	2		2	
	火災とまぎらわしい行為の届い	火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある行為届		147		101	7	27	12
煙火打上げ仕掛け届			65		22	29	12	2	
催物開催届			120		12	103	4	1	
水道又は用排水路断減水届			192		25	157	8	2	
道路工事届			2,802		1,171	696	827	108	
露店開催届			8		5		2	1	
消防設備業届		1	1						
タンク検査申請		0							

火災とまぎらわしい煙等を発するおそれのある届出には、焚火届出も含む。

(第11表)

# 広聴活動

(平成21年度中)

(1)投書・電話等による陳情

区分		所属別					
		合計	消防局	中署	南署	東署	臨海署
合計		35	3	1	31	0	0
内 訳	防火	5		1	4		
	危険物	2			2		
	消防施設	25	1		24		
	その他	3	2		1		

(2)施設見学

対象			所属別					
			合計	消防局	中署	南署	東署	臨海署
合計	団体数	74	0	9	22	37	6	
	人数	2,515	0	187	393	1,908	27	
内 訳	保育園	団体数	15		5	1	9	
		人数	818		104	43	671	
	小学生	団体数	42		3	12	25	2
		人数	1,425		39	212	1,160	14
	一般人	団体数	17		1	9	3	4
		人数	272		44	138	77	13

(第12表)

## 防火管理者を定めなければならない防火対象物数及び防火管理者、消防計画、避難訓練届出状況

(平成21年度中)

署別区分 用途別		合 計					中消防署					南消防署					東消防署					臨海消防署				
		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D		A	B	C	D	
					1回	2回以上				1回	2回以上				1回	2回以上				1回	2回以上				1回	2回以上
<b>合 計</b>		2,853	2,752	2,788	818	392	1,227	1,190	1,213	289	108	694	676	689	304	134	787	741	741	161	72	145	145	145	64	78
1	イ 劇場等	8	8	8	2	3	3	3	3	2		3	3	3		3	2	2	2							
	ロ 集会場等	88	87	88	42	35	28	28	28	23	11	25	24	25	15	10	26	26	26	3	6	9	9	9	1	8
2	イ キャバレー等																									
	ロ 遊技場等	28	28	28	13	13	12	12	12	7	3	8	8	8		8	8	8	8	6	2					
	ハ 性風俗関連施設 ニ カラオケボックス等店舗	1	1	1	1		1	1	1	1																
3	イ 料理店等	35	34	35	6		15	14	15			11	11	11	4		9	9	9	2						
	ロ 飲食店	286	269	275	66	46	127	117	122	17	37	66	65	66	24	5	85	79	79	21		8	8	8	4	4
4	店舗百貨店等	356	330	345	102	60	145	137	145	37	13	106	98	105	55	23	100	90	90	10	20	5	5	5		4
5	イ 旅館ホテル等	81	81	81	24	40	25	25	25	13	7	9	9	9	7		19	19	19	2	6	28	28	28	2	27
	ロ 共同住宅等	279	273	271	35		138	138	136	20		63	63	63	15		77	71	71			1	1	1		
6	イ 病院等	98	98	98	42	29	41	41	41	20	4	29	29	29	17	11	24	24	24	5	10	4	4	4		4
	ロ 福祉施設等	32	32	32	24	26	8	8	8	9	3	10	10	10		10	9	9	9	15	8	5	5	5		5
	ハ 老人・デイサービス等 ニ 特殊学校・幼稚園	121	120	121	35	40	43	42	43	5	2	43	43	43	16	27	28	28	28	14	4	7	7	7		7
7	学 校 等	99	99	98	80	7	39	39	38	31	3	20	20	20	16	4	27	27	27	20		13	13	13	13	
8	図 書 館 等	17	17	17	10		4	4	4	3		8	8	8	5		3	3	3			2	2	2	2	
9	イ サウナ等	6	6	6	1	1	3	3	3			2	2	2	1	1	1	1	1							
	ロ 公衆浴場等	15	15	15	1		5	5	5			4	4	4			5	5	5			1	1	1	1	
10	車 輛 停 車 場																									
11	神 社 寺 院 等	121	120	120	26		38	38	38	2		38	38	38	4		23	22	22			22	22	22	20	
12	イ 工 場 等	93	93	93	52	6	29	29	29	15	3	27	27	27	22		26	26	26	7		11	11	11	8	3
	ロ スタジオ等																									
13	イ 車 庫 等	4	1	2	3		2		1	3							2	1	1							
	ロ 特殊格納庫等																									
14	倉 庫	22	22	22	13		1	1	1			8	8	8	4		13	13	13	9						
15	前 項 以 外	307	295	301	74	3	136	132	136	24	3	60	58	60	24		104	98	98	19		7	7	7	7	
16	イ 特定用途の存する複合	666	636	643	137	70	349	338	344	45	16	123	119	120	67	22	175	160	160	22	16	19	19	19	3	16
	ロ イ以外の複合用途	52	51	51	15		19	19	19	4		18	17	17	5		13	13	13	4		2	2	2	2	
17	文 化 財	4	4	4	2		1	1	1			1	1	1	1		1	1	1			1	1	1	1	
18	ア ー ケ ー ド																									

区分欄のA...防火管理者を定めなければならない防火対象物数

B...防火管理者選任数

C...消防計画届出数

D...避難訓練回数

(第13表)

自衛消防組織設置防火対象物数及び防災管理者、消防計画、自衛消防組織設置、共同防災管理協議事項、避難訓練届出状況

(平成21年度中)

用途別	署別区分	合 計						中消防署						南消防署						東消防署						臨海消防署					
		A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
合 計		22	26	13	11	1	5	13	17	11	7	1	5	3	3	1	1	0	0	5	5	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0
1	イ 劇場等																														
	ロ 集会場等																														
2	イ キャバレー等																														
	ロ 遊技場等																														
	ハ 性風俗関連施設																														
3	イ 料理店等																														
	ロ 飲食店																														
4	店舗百貨店等	1	1	1	1		3	1	1	1	1		3																		
5	イ 旅館ホテル等																														
6	イ 病院等	3	3	1	1															2	2	1	1			1	1				
	ロ 福祉施設等																														
	ハ 老人・デイサービス等																														
7	イ 学校等	3	3	1	1			3	3	1	1																				
8	図書館等																														
9	イ サウナ等																														
	ロ 公衆浴場等																														
10	車輛停車場																														
11	神社寺院等																														
12	イ 工場等	2	2	2	2		1	2	2	2	2		1																		
	ロ スタジオ等																														
13	イ 車庫等																														
15	前項以外	5	5	2	2			5	5	2	2																				
16	イ 特定用途の存する複合	8	12	6	4	1	1	2	6	5	1	1	1	3	3	1	1			3	3		2								
	ロ イ以外の複合用途																														
17	文化財																														

区分欄のA...政令第4条の2の4に規定する自衛消防組織の設置を要する防火対象物数 B...防災管理者選任届出数 C...防災管理に係る消防計画届出数 D...自衛消防組織設置届出数 E...共同防災管理協議事項届出数 F...令第48条第2項の避難訓練届出数

(第14表)

## 住 民 指 導 実 施 状 況

(平成21年度中)

対象別 指導区分	総 数		自治(区)会		自主防災組織		自 主 防 火 組 織						その他の団体		事 業 所								
	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員	女性防火クラブ		少年消防クラブ		幼年消防クラブ		回 数	参加人員	特定防火対象物		非特定防火対象物		学 校 等		幼 稚 園 等		
							回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員			回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数	参加人員	回 数
訓 練	消 防 訓 練	1,230	78,135	86	4,427	66	2,282	11	40	2	20			158	6,688	569	17,781	184	7,802	88	32,211	66	6,884
	救 急 救 護	371	15,167	39	1,302	22	2,136	8	271					188	7,199	50	1,355	31	1,370	28	1,248	5	286
	震 災 訓 練	114	52,149	16	5,735	32	25,453			1	4			1	169	7	1,090	4	601	47	18,547	6	550
	小 計	1,715	145,451	141	11,464	120	29,871	19	311	3	24	0	0	347	14,056	626	20,226	219	9,773	163	52,006	77	7,720
教 育	研 修 会 等	153	5,059	89	3,314	8	172	5	56	1	10			30	1,265	17	98	1	52	1	12	1	80
	防 火 教 室 等	319	31,052	114	11,730	5	154	2	33	3	46	2	54	33	1,808	86	3,147	24	1,446	32	10,449	18	2,185
	ビデオ・映画会	22	1,558	1	16					2	31	2	54			2	37	2	90	4	652	9	678
	小 計	494	37,669	204	15,060	13	326	7	89	6	87	4	108	63	3,073	105	3,282	27	1,588	37	11,113	28	2,943
そ の 他	防 火 相 談	50	2,141	14	898									7	1,172	10	16	16	37	2	16	1	2
	署 内 見 学	104	3,672			1	57			1	10			41	1,401	1	24	1	15	47	1,366	12	799
	小 計	154	5,813	14	898	1	57	0	0	1	10	0	0	48	2,573	11	40	17	52	49	1,382	13	801
合 計	2,363	188,933	359	27,422	134	30,254	26	400	10	121	4	108	458	19,702	742	23,548	263	11,413	249	64,501	118	11,464	

注 その他の団体とは、婦人会・老人会・子供会等をいう。

(第15表)

## 危険物施設の現況

(平成22年3月31日現在)

製造所等の区分		現有施設数	署 別			
			中 署	南 署	東 署	臨海署
総 計		1,257	319	319	320	299
製 造 所		17	2			15
小 計		904	219	232	231	222
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	116	21	42	22	31
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	166	20	16	12	118
	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	20				20
	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	5				5
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	32	15	9	5	3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	352	119	96	109	28
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1				1
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	192	43	68	80	1
	屋 外 貯 蔵 所	20	1	1	3	15
小 計		336	98	87	89	62
取 扱 所	営 業 用 給 油 取 扱 所	113	30	34	34	15
	自 家 用 給 油 取 扱 所	51	14	19	17	1
	第 1 種 販 売 取 扱 所	11	9	1	1	
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1			1	
	移 送 取 扱 所	1				1
	一 般 取 扱 所 ( 令 第 19 条 第 1 項 )	58	10	8	8	32
	一 般 取 扱 所 ( 第 1 項 以 外 )	101	35	25	28	13

(第16表)

## 危険物倍数別・類別の状況

(平成22年3月31日現在)

製造所等の別 (倍数・類別)		製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計		
完成 検査 済証 交付 施設	倍 数 別	5 倍 以下	2	60	20	22	214	1	123	5	445	3	9		76	88	533
		5 倍を超え 10 倍以下	1	19	25	9	73		4	6	136	11	2		46	59	195
		10 倍を超え 50 倍以下	4	22	80	1	60		11	7	181	40	1		23	64	245
		50 倍を超え 100 倍以下	2	3	27		2		54	2	88	27			8	35	123
		100 倍を超え 150 倍以下	1	4	8						12	19			2	21	33
		150 倍を超え 200 倍以下		4	2		1				7	22			3	25	32
		200 倍を超え 1,000 倍以下	7	3	7		2				12	42				42	54
		1,000 倍を 超えるもの		1	22						23			1	1	2	25
		合 計	17	116	191	32	352	1	192	20	904	164	12	1	159	336	1,257
完成 検査 済証 交付 施設	類 別	第 1 類		3						3						3	
		第 2 類		5						5						5	
		第 3 類		2						2				2	2	4	
		第 4 類	12	97	189	32	352	1	192	19	882	164	12	1	154	331	1,213
		第 5 類		4						4						4	
		第 6 類			2					2						2	
		混 在	5	5						1	6				3	3	9
		合 計	17	116	191	32	352	1	192	20	904	164	12	1	159	336	1,257



(第17表)

## 危険物施設事務処理の状況

(平成21年度中)

製造所等の別 (申請・届出種別)	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
設置許可申請		3	4					7	4				4	11	
設置完成検査申請		3	4					7	4				4	11	
変更許可申請	15	1	6		6		10	23	19			20	39	77	
変更完成検査申請	15	1	6		6		10	23	20			20	40	78	
仮使用承認申請	14	1	5		1			7	19			12	31	52	
完成検査前検査申請			5	1				6				25	25	31	
再交付申請		2	1	6	23		1	33	7			3	10	43	
保安監督者選解任届	3	8	33		1			2	44	34		5	39	86	
休止・再使用届					2		3	5	2				2	7	
種類・数量変更届	1	7	2				1	10				8	8	19	
廃止届		3	2	3	21		11	40	9			7	16	56	
住所氏名名称変更届	5	17	39	6	59		20	1	142	39		23	62	209	
譲渡引渡届				1	4		4	9	1			1	2	11	
取扱者届		4	77	2	47		9	6	145	62		3	22	87	232
危険作業届	2		1					1	10			1	11	14	
軽微な変更届	6	1	17	1	2		1	22	38			20	58	86	
取下げ願														0	
合計	61	51	202	20	172	0	70	9	524	268	0	3	167	438	1,023

(第18表)

## 火薬類、液化石油ガス関係事務処理状況

(1)液化石油ガス関係

(平成21年度中)

区分	件数	合計	中署	南署	東署	臨海署
設備工事届出 <sup>1</sup>		13	4	7	2	
工事場所立入検査(新規設備)		35	4	7	24	
供給設備立入検査(既存設備)		3,801	44	1,508	1,334	915

(2)火薬類関係

(平成21年度中)

許可等区分	件数
空包消費許可 <sup>2</sup>	1
空包譲受許可	1
空包譲渡許可	0
煙火消費許可	5
煙火消費に係る立入検査	3

1 500kg以上3,000kg未満の液化石油ガス供給設備の設置工事届出件数。

2 建設用びょう打ち銃用空包を同一の消費地において、一日に200個を超えて消費する場合もしくは、建設等の用に供する目的以外で同空包を消費する場合に必要。



昭和61年6月から、テクノポート福井（福井臨海工業地帯）の一角に国の原油を備蓄するため30基（福井地籍20基・坂井地籍10基）の特定屋外貯蔵タンクが設置されており、その区域は石油コンビナート等災害防止法に基づき、特別防災区域に指定されている。

- ・特別防災区域名『福井臨海地区』
- ・特定屋外貯蔵タンク1基あたりの容量『113,829.7キロリットル』

**参考**：タンク1基あたりをタンクローリー（20キロリットル用）に換算すると、約5,700台分に相当する。

# 警 防 編



# 1. 火災防ぎょ活動状況

(平成21年中)

月・署別	区分	火災 件数	出 場 別 件 数				出 場 車 両							出 場 人 員		
			第 1 出 場	第 2 出 場	第 3 出 場	限 定 出 場	ポ ン プ 車	水 そ う 車	梯 子 車	救 助 工 作 車	救 急 車	そ の 他	合 計	職 員	団 員	合 計
1 月		6	6			19	6		5	5	8	43	128	138	266	
2 月		8	4		4	14	6		4	4	9	37	105	54	159	
3 月		9	4	2	3	21	10		6	6	10	53	154	109	263	
4 月		11	6	1	4	37	4		4	5	12	62	143	136	279	
5 月		4	2		2	7	1		1	2	2	13	33	16	49	
6 月		9	6	1	2	19	12	2	6	6	13	58	156	132	288	
7 月		7	5	1	1	23	6	2	6	6	4	47	126	125	251	
8 月		5	3	1	1	17	7		4	4	4	36	95	75	170	
9 月		4	3		1	13	3			3	5	24	52	47	99	
10 月		4	3		1	9	5		2	3		19	64	25	89	
11 月		5	3	1	1	15	5	1	2	3	5	31	81	84	165	
12 月		5	3		2	9	6		2	3	6	26	77	14	91	
合 計		77	48	7	0	22	203	71	5	42	50	78	449	1,214	955	2,169
署 別	中 署	38	26	3		9	91	28	1	22	24	27	193	551	252	803
	南 署	16	12	2		2	52	29	2	12	16	24	135	354	395	749
	東 署	14	5	2		7	29	13	2	6	6	14	70	240	168	408
	臨海署	9	5			4	31	1		2	4	13	51	69	140	209

## 2. 火災以外の活動状況

(平成21年中)

月・署別	区分	怪煙調査	自火報調査	焚火調査	ガス・異臭調査	誤報	虚報	油漏れ処理	その他の	合計
1月		1	12	1	3	2		4	3	26
2月			6			2		6	1	15
3月			6	6	2	1	1	8	3	27
4月		1	3	16	2	1		8	1	32
5月			2	3	2	1		8	1	17
6月			4	9	3	2		3	6	27
7月			7	2	2			5	8	24
8月		1	13	5	2			8	8	37
9月			4	20	1	1		4	1	31
10月		1	13	4		2	1	5	6	32
11月			5	8		2		1	1	17
12月		1	17	2	5	1		6	4	36
合計		5	92	76	22	15	2	66	43	321
署別	中署	1	53	23	6	5	1	30	14	133
	南署	2	19	24	9	6		18	15	93
	東署	1	18	20	7	4	1	13	12	76
	臨海署	1	2	9				5	2	19

### 3 . 消防水利の現状

平成21年度中に建設した消防水利は次のとおりであり、年々計画的に整備を図っている。

消火栓 125 基（開発行為を除く）

防火水そう（40 m<sup>3</sup>以上） 8 基（開発行為を除く）

署 別 水 利 状 況 (平成22年3月31日現在)

区分 署別	消 火 栓				防 火 水 ぞ う					そ の 他			
	公 設		私 設	合 計	公 設		私 設		合 計	プ ル	河 川	受 水 槽	合 計
	150 ミリ 以上	150 ミリ 未 満			40 m <sup>3</sup> 以上	40 m <sup>3</sup> 未 満	40 m <sup>3</sup> 以上	40 m <sup>3</sup> 未 満					
中 署	980	1,991	33	3,004	161	19	43	2	225	28	37	27	92
南 署	1,305	2,035	31	3,371	316	4	63	23	406	24	21	9	54
東 署	712	1,446	21	2,179	205	2	51	11	269	24	41	21	86
臨海署	308	485	111	904	128	7	24	14	173	11	33	12	56
合 計	3,305	5,957	196	9,458	810	32	181	50	1,073	87	132	69	288





## コミュニティ防災資機材



阪神・淡路大震災のように交通や通信が途絶し、火災や救助要請が同時に集中した場合には、常備消防のみでは対応しきれないため、地域に密着した消防団が防災のリーダーとして地域住民と協力して、初期消火活動や人命救出活動を行うことができるよう配備した資機材がコミュニティ防災資機材であります。

### 【コミュニティ防災資機材】

- |   |                |        |            |                |                 |
|---|----------------|--------|------------|----------------|-----------------|
| 1 | 小型ポンプ (B - 3級) | 5      | 油圧ジャッキ     |                |                 |
| 2 | 災害救助道具セット      | 6      | エンジンカッター   |                |                 |
|   | 掛矢             | 金てこ    | ジャッキ (10t) | 7              | 可搬式ウインチ (チルホール) |
|   | ハンマー           | 鉄線切り   | 8          | ハンドマイク (サイレン付) |                 |
|   | のこぎり           | ヘッドライト | 9          | 救急箱 (20人用)     |                 |
| 3 | 発電機・投光機        | 10     | 毛布         |                |                 |
| 4 | チェーンソー         | 11     | 防水シート      |                |                 |

# 情報管制編



## 消防情報管制システム

消防通信は、災害通報の受信、消防部隊の出場指令、現場活動の支援情報収集及び伝達など、警防活動の成否を左右するものであり、消防業務遂行上、極めて重要な役割を果たしている。

当システムは、平成22年4月1日に最新の通信機能を備えた新システムへ更新し、迅速・的確な警防活動が可能となり、災害に強い安心と信頼のまちづくりに貢献している。

### (1) 指令運用・支援情報

装置名	数量	装置名	数量	装置名	数量
指令台	2台	無線受令機	20式	119 F A X	1台
指揮台	1台	地図等検索装置	1式	画像伝送システム	1式
録音装置	1台	気象観測装置	1式	大型映像装置	3台
指令制御装置	1式	車両動態位置管理装置	1式	医療情報管理装置	1台
非常用指令装置	1式	車載端末装置	66台	災害弱者等メール通報受付装置	1式
直流電源装置	1式	支援情報サーバ	1式	経路探査サーバ	1式
無線統制台	1台	ファイルサーバ	1式	災害弱者メール通報受付装置	1台
自動出動指定装置	2台	支援情報端末装置	57台		
統合型位置情報通知装置	1式	音声合成装置	1式		
指令伝送送信装置	1式	災害状況等自動案内装置	1台		
指令伝送出力装置	21式	災害連絡装置	1式		

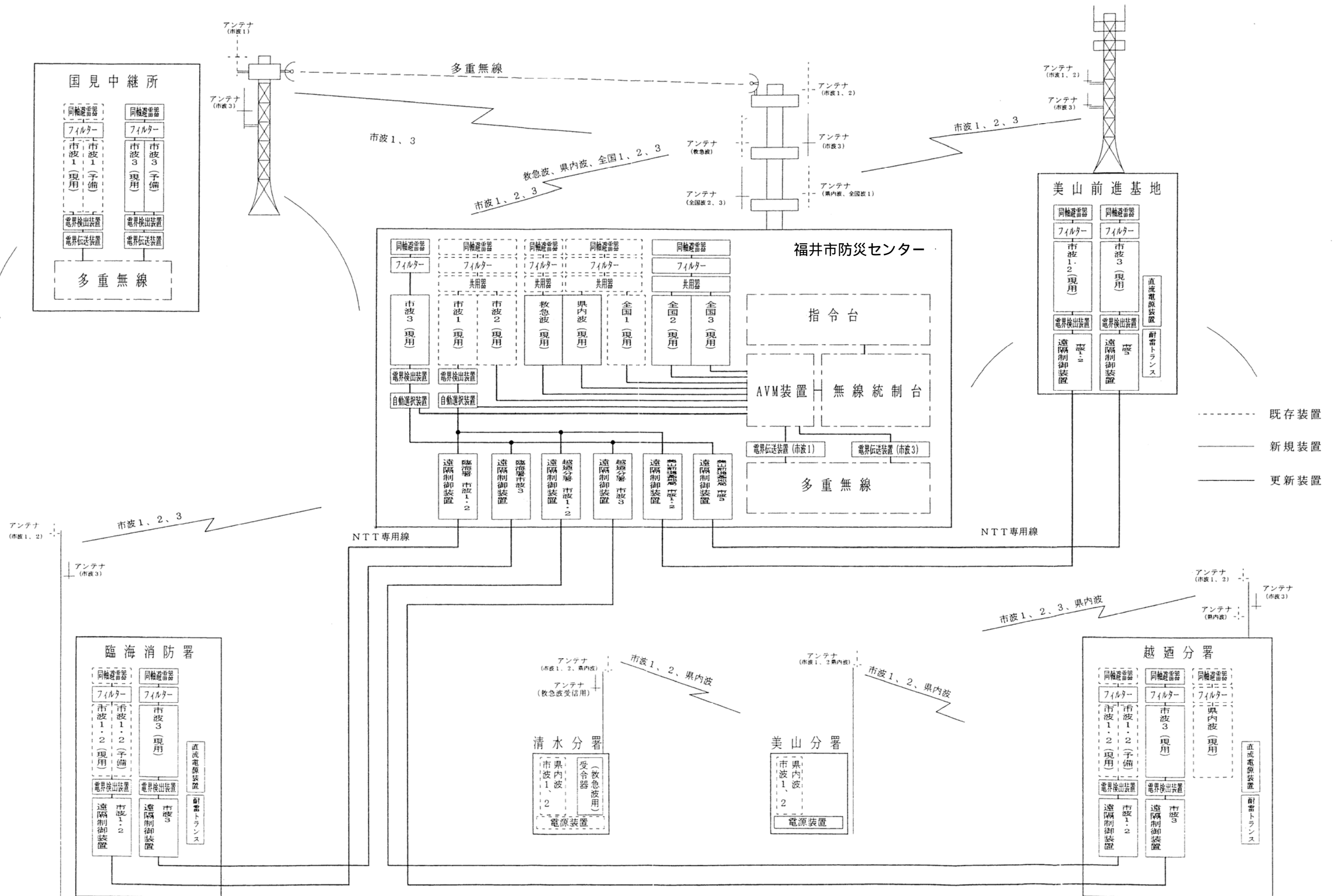
### (2) 有線通信

回線種別	消防局	中 署			南 署			東 署			臨 海 署			計	
		本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所		
INS119番回線	14													14	
携帯 INS119番 回線	4													4	
携帯 INS119番 転送回線	4													4	
加入電話(事務用)	14	1	1	4	1	2	1	1	1	2	1	1	4	34	
F A X 専用	2	1			1			1			1			6	
" (指令用)	10													10	
専用回線	音声指令		1	1	4	1	2	1		1	2	1	1	4	19
	データ指令		1	1	4	1	2	1		1	2	1	1	4	19
	消防電話		1	1	4	1	2	1		1	2	1	1	4	19
	無線遠隔	2										2	2		6
	関係機関	7													7
テレホン サービス	50													50	
内線	指令用							2						2	
	支援用							1						1	
	事務用電話	50	38	9	20	28	18	7	33	8	10	25	8	20	274

### (3) 無線通信

機種別	消防局		中 署			南 署			東 署			臨 海 署			計	
	局	中継所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所	本署	分署	分遣所		
基地局	本部局 25W	1													1	
	前進局 10W									1		1	1		3	
	中継局 10W		1												1	
	分署局 10W							1			1				2	
固定局 0.01W	1	1													2	
移動局	車載型 10W	8		11	2	4	8	4	1	8	3	2	9	3	4	67
	携帯型 5W	5		6		2	5	1	1	6	1	1	4		4	36
	携帯型 1W	12		3	1	2	3	1		3		1	5	1		32
県防災無線	2														2	
パソコン端末装置	6		12	2	4	9	3	1	8	2	2	11	2	4	66	
無線受令機	2		2	1	4	2	2	1	1	1	2	2	1	4	25	

(4) 無線通信ネットワーク概要図





## 1.平成21年の災害等通報受信概要

---

平成21年中における災害等の通報受信件数は13,770件で、その内訳は、火災通報が157件、救急通報が7,673件、救助通報が96件、その他油漏れ、自火報の作動、焚き火等の災害通報が390件、その他の通報(通報訓練・問い合わせ・間違い等)が3,932件、回線テストが1,522件で、一日平均約38件の通報を受信しています。

前年と比較すると、火災通報は40件の減少、救急通報は164件の増加、救助通報は25件の減少、その他災害通報は2件の増加、その他の通報は24件の増加、回線テストは、IP電話の一部で回線障害を機械監視するようになったため、579件減少し、通報受信件数では454件減少しています。

覚知別通報受信件数(回線テストを除く)は、IP電話を含む有線電話からの119番通報が7,721件(63.0%)で、前年より73件減少していますが、携帯電話からの119番通報は、3,835件(31.3%)で、前年より262件増加しています。また、その他の加入電話、警察電話などからの通報は、692件(5.7%)で前年より64件減少しています。



## 2. 通報受信状況

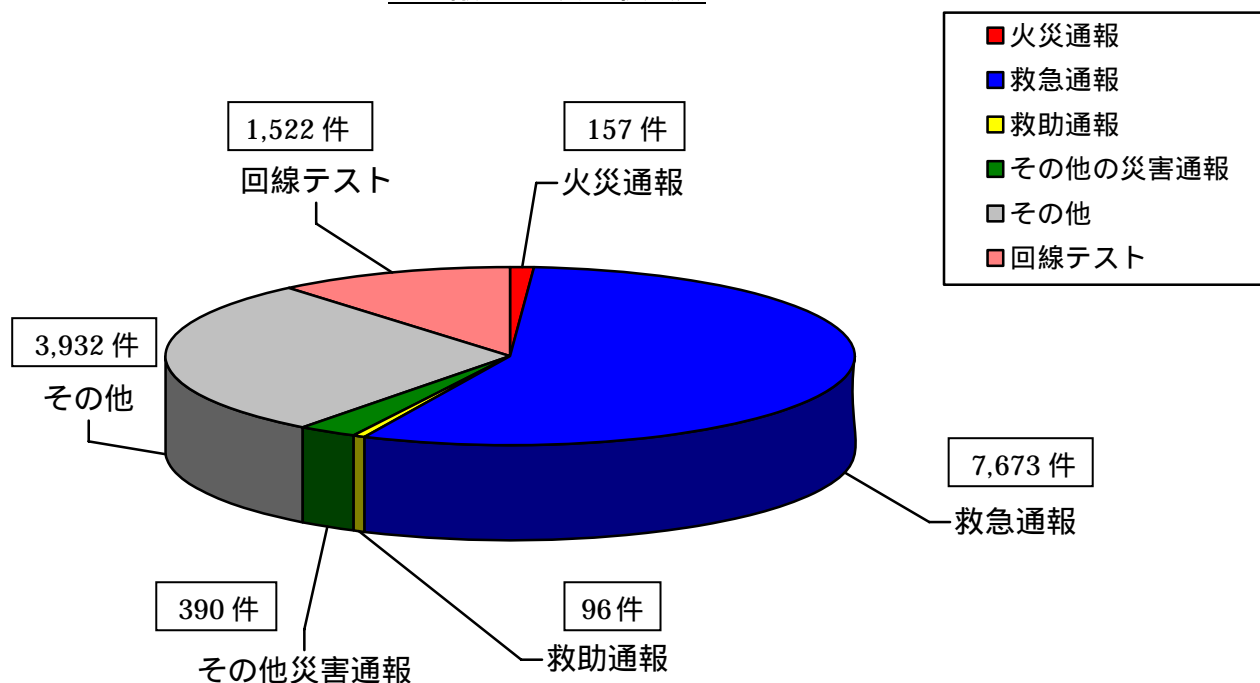
### (1) 年別通報受信状況

通報区分	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
火災通報	170	132	123	197	157
救急通報	7,814	7,391	8,058	7,509	7,673
救助通報	120	92	94	121	96
その他災害通報	334	381	318	388	390
その他の通報	4,706	4,755	5,571	3,908	3,932
回線テスト	3,914	2,390	1,827	2,101	1,522
合計	17,058	15,141	15,991	14,224	13,770

「その他の災害通報」とは、火災、救急、救助通報以外の災害（自火報、怪煙、漏油等の調査）通報をいう。

「その他の通報」とは、問い合わせ・病院紹介・無言・いたずら・間違い・他消防本部への転送等をいう。

### 通報区分状況



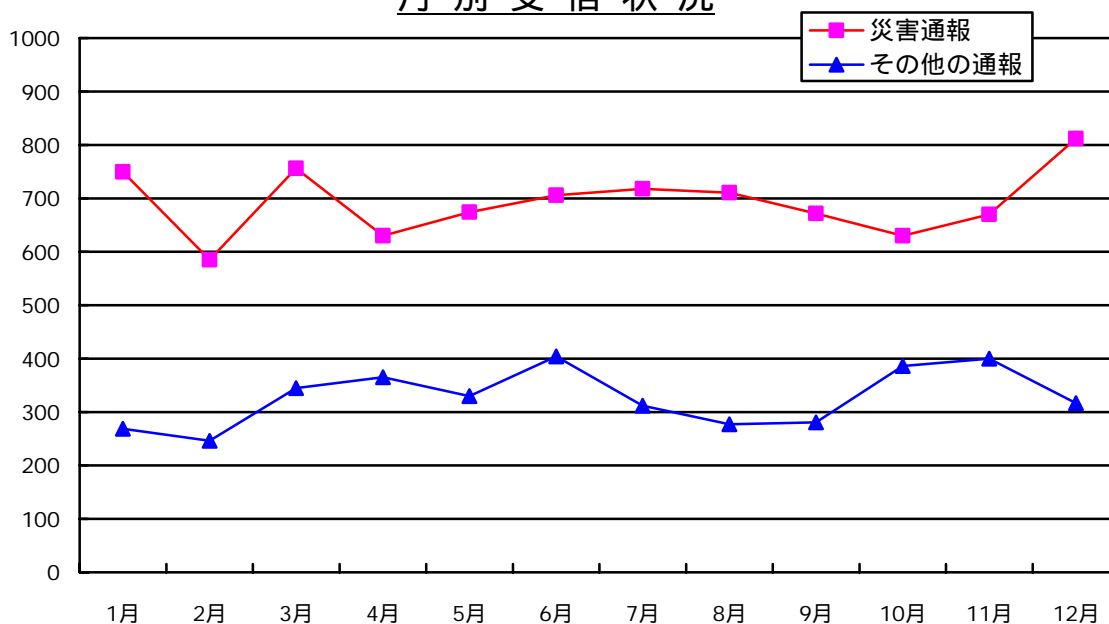
## (2) 月別(四半期)受信状況

受付種別		月				総計	1日平均	比率(%)
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月			
災害通報	火災通報 (197)	44	47	30	36	157	0.43	1.14
	救急通報(7,509)	1,961	1,846	1,916	1,950	7,673	21.02	55.72
	救助通報 (121)	20	22	28	26	96	0.26	0.70
	その他災害通報	66	96	128	100	390	1.07	2.83
災害通報小計		2,091	2,011	2,102	2,112	8,316	22.78	60.39
その他の通報	訓練	179	325	190	343	1,037	2.84	7.53
	まちがい	270	293	237	277	1,077	2.95	7.83
	いたずら	43	46	42	94	225	0.62	1.64
	応答無し	33	31	22	23	109	0.30	0.79
	病院紹介	62	122	95	108	387	1.06	2.81
	問い合わせ	253	262	267	247	1,029	2.82	7.47
	転送	20	20	17	11	68	0.19	0.49
その他の通報小計		860	1,099	870	1,103	3,932	10.78	28.56
回線テスト		450	368	331	373	1,522	4.17	11.05
総計		3,401	3,478	3,303	3,588	13,770	37.73	100.00

( ) 内は、平成20年中の火災・救急・救助受信件数。

「その他災害通報」とは、火災、救急、救助通報以外の災害(自火報、怪煙、漏油等の調査)通報をいう。

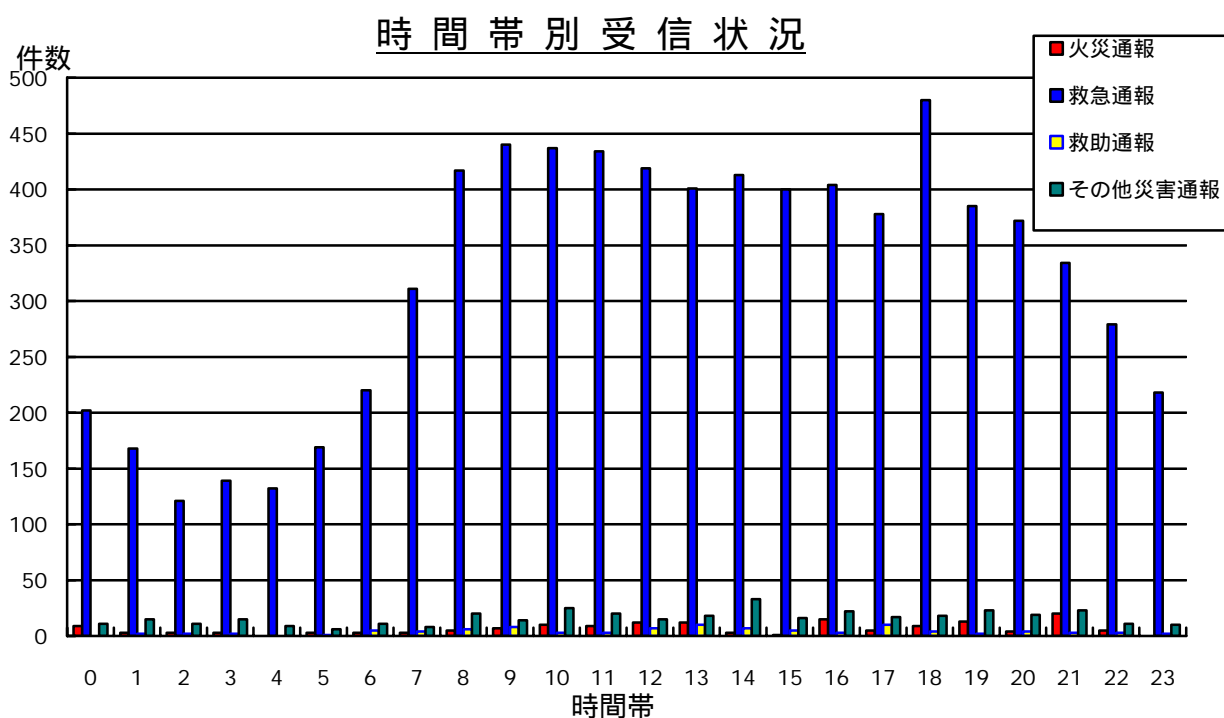
### 月別受信状況





### (3) 時間帯別受信状況

受付種別		時間帯								総計
		0~3	3~6	6~9	9~12	12~15	15~18	18~21	21~24	
災害通報	火災通報	15	6	11	26	27	21	26	25	157
	救急通報	491	440	948	1,311	1,233	1,182	1,237	831	7,673
	救助通報	4	3	15	14	24	18	10	8	96
	その他災害通報	37	30	39	59	66	55	60	44	390
災害通報小計		547	479	1,013	1,410	1,350	1,276	1,333	908	8,316
その他の通報	訓練	1	5	58	434	349	153	27	10	1,037
	まちがい	34	21	121	214	196	244	156	91	1,077
	いたづら	9	7	21	30	36	40	50	32	225
	応答無し	3		13	22	15	27	18	11	109
	病院紹介	23	26	46	43	46	54	81	68	387
	問い合わせ	91	45	113	138	166	152	189	135	1,029
	転送	2	2	12	5	19	18	7	3	68
その他の通報小計		163	106	384	886	827	688	528	350	3,932
回線テスト		1		6	163	1,234	112	6		1,522
総計		711	585	1,403	2,459	3,411	2,076	1,867	1,258	13,770



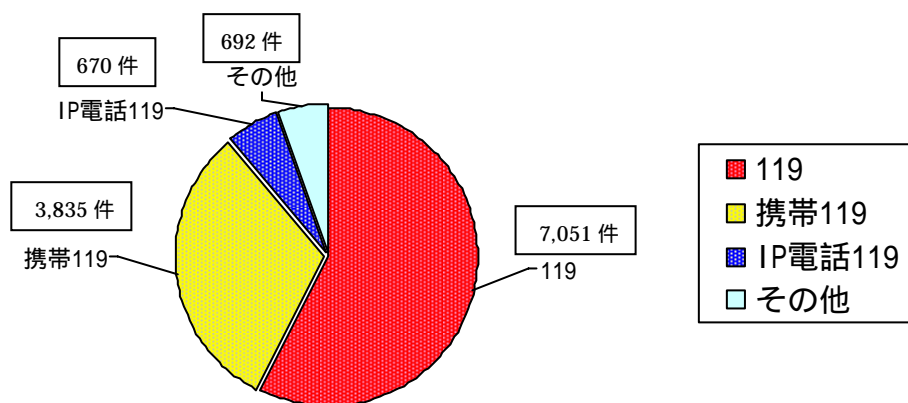
#### (4) 覚知別通報受信状況

覚知種別 受付種別	119	携帯 119	IP電 話 119	加入 電話	警察 電話	駆け 付け	自己 覚知	FAX メール	その他	総計
火災通報	66	66	8	7	6		4			157
救急通報	4,599	2,239	417	133	208	57	16		4	7,673
救助通報	23	46	3	4	14		6			96
その他災害	107	119	34	60	26	2	41		1	390
訓練	860	43	104	6					24	1,037
まちがい	612	408	42	12	1			2		1,077
いたずら	138	83	4							225
応答無し	58	44	4	1				2		109
病院紹介	102	233	11	38	2			1		387
問い合わせ	481	496	39	5	7			1		1,029
転送	5	58	4	1						68
回線テスト	370	35	1,116	1						1,522
総計	7,421	3,870	1,786	268	264	59	67	6	29	13,770
比率(%)	57.57	31.31	5.47	2.18	2.16	0.48	0.55	0.05	0.23	100.00

比率は総計から回線テストの件数を除く。

覚知種別の「その他」とは高速電話、事後聞知、事前要請、テスト指令等をいう。

#### 覚知別通報受信状況（回線テストを除く）



#### (5) 電話転送状況

転送種別	嶺北	永平寺	鯖江丹生	勝山	大野	南越	その他	合計
転送受信	24	3	13			1		41
転送発信	37	3	21		3	4		68

転送受信とは、他の消防本部から当消防局へ転送されたものをいう。

### 3 . 災害テレホンサービス(25-9999)利用状況

災害テレホンサービスは、24時間実施しているトーキー案内で、消防車が出動している災害について発生場所を案内するほか、土曜日夜間、日曜・休日の日中における当番医案内や火災予防一口メモなど市民生活に最も身近な情報提供サービスである。

災害テレホンサービス利用状況

	着信回数合計(本)	着信完了回数(本)	着信話中回数(本)
年間合計	162,055	146,158	15,897
一日平均	444	400	44

年間最多着信日(上位5位)

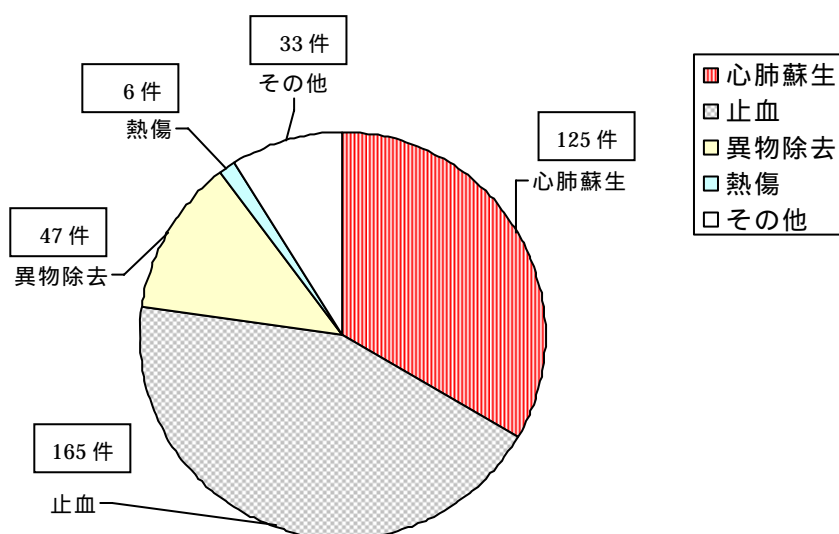
月日	着信回数合計	着信完了回数	着信話中回数	主な案内内容
6月 3日	5,581	2,053	3,528	成和1丁目 中高層建物火災他
3月 5日	3,918	3,060	858	加茂河原3丁目 一般建物火災他
10月16日	3,006	1,270	1,736	志比口2丁目 中高層建物火災他
4月10日	2,844	1,617	1,227	東河原町 一般建物火災他
8月27日	2,768	2,103	665	光陽1丁目 一般建物火災他

## 4. 口頭指導(プロトコール)実施状況

種別 月	心肺蘇生法	気道異物除去	止血	熱傷	その他	合計
1月	12	5	15	1	1	34
2月	9	4	10			23
3月	17	2	15	1		35
4月	10	1	9	1	1	22
5月	9	3	11	2		25
6月	13	6	16		7	42
7月	7	3	18		12	40
8月	6	3	18		5	32
9月	13	4	16	1	4	38
10月	4	5	8		1	18
11月	7	3	13		2	25
12月	18	8	16			42
合計	125	47	165	6	33	376

その他とは熱中症、切断手指の処置等である。

### 口頭指導実施状況



# 火災統計



## 平成21年中における火災概要

### 1. 火災の概況

平成21年中の火災概況は、発生件数77件で、4.74日に1件の割合で発生したことになる。

これらの火災による建物の焼損面積は、床面積で1,143㎡、表面積で118㎡となっており、1日当たり床面積では3.13㎡、表面積では、0.32㎡が焼損したことになる。

損害額については、1億727万円となっており、1日当たり損害額では29万4千円の貴重な財産が焼失したことになる。

また、死傷者については死者が1人、負傷者が6人となっている。

### 2. 火災件数

火災件数は前年と比較して15件の減少で、火災種別ごとにみると、建物火災が52件(67.5%)で12件の減少、林野火災が4件(5.2%)で1件の増加、車両火災が12件(15.6%)で2件の増加、その他の火災が9件(11.7%)で6件の減少となっている。

また、船舶火災については、平成6年以降発生していない。

### 3. 死傷者等

死者は1人で、前年と比較して3人の減少となっている。

負傷者は6人で、前年と比較して6人の減少となっている。

### 4. 焼損面積

建物火災による焼損面積については、床面積が1,143㎡で、前年に比べ2,355㎡の減少となっている。

表面積については、118㎡で、前年に比べ7㎡の減少となっている。

### 5. 損害額

損害額については、1億727万円で、前年に比べて1億2千88万6千円の減少となっている。

### 6. 出火原因

主な出火原因については、「放火」が第1位で13件、第2位が「こんろ」と「電気関係」の12件、第4位が「たばこ」の6件、第5位が「ストーブ」と「たき火」の5件の順となっている。

1. 火災発生状況(前年との比較)

年 別 区 分		平成21年	平成20年	前 年 と の 比 較	
				増	減
火 災 件 数		77件	92 件		15件
	建 物	52件	64 件		12件
	林 野	4件	3 件	1件	
	車 両	12件	10 件	2件	
	船 舶	0件	0 件		
	そ の 他	9件	15 件		6件
焼損面積	建物	床	1,143 m <sup>2</sup>	3,498 m <sup>2</sup>	2,355 m <sup>2</sup>
		表	118 m <sup>2</sup>	125 m <sup>2</sup>	7 m <sup>2</sup>
	林 野	56 a	6 a	50 a	
損 害 額		107,270 千円	228,156 千円		120,886 千円
死 傷 者	死 者	1人	4 人		3人
	傷 者 (30日死者)	6人 (0 人)	12 人 (0 人)		6人
り 災 世 帯		37世帯	55 世帯		18世帯
	全 損	9 世帯	15 世帯		6世帯
	半 損	0 世帯	3 世帯		3世帯
	小 損	28 世帯	37 世帯		9世帯
り 災 人 員		105 人	163 人		58人
焼 損 棟 数		65棟	81 棟		16棟
	全 焼	10棟	16 棟		6棟
	半 焼	2棟	5 棟		3棟
	部 分 焼	17棟	25 棟		8棟
	ぼ や	36棟	35 棟	1棟	

30日死者とは、火災により負傷した者が、負傷後48時間を経過して30日以内に死亡した者をいう。

## 2. 過去3年間の火災比較

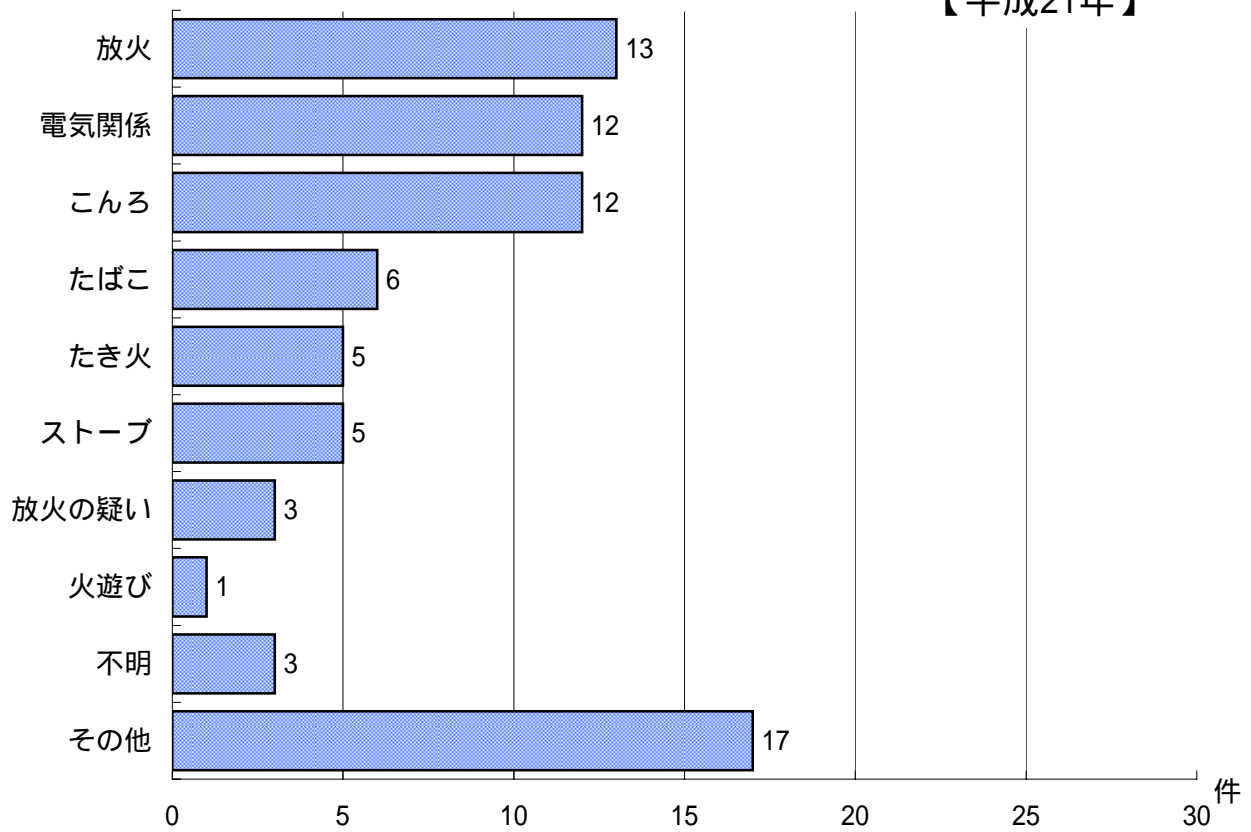
区 分		年 別		平成21年	平成20年	平成19年
火災件数				77 件	92 件	83 件
	建 物			52 件	64 件	54 件
	林 野			4 件	3 件	1 件
	車 両			12 件	10 件	14 件
	船 舶			0 件	0 件	0 件
	そ の 他			9 件	15 件	14 件
焼損面積	建物	床		1,143 m <sup>2</sup>	3,498 m <sup>2</sup>	2,178 m <sup>2</sup>
		表		118 m <sup>2</sup>	125 m <sup>2</sup>	193 m <sup>2</sup>
	林 野		56 a	6 a	2 a	
損害額				107,270千円	228,156 千円	220,137 千円
1日平均	建物(床)			3.13 m <sup>2</sup>	9.58 m <sup>2</sup>	5.97 m <sup>2</sup>
焼損面積	林 野			0.15 a	0.02 a	0.01 a
1日平均 損害額				294 千円	626 千円	604 千円
1件平均	建物(床)			21.98 m <sup>2</sup>	54.66 m <sup>2</sup>	40.33 m <sup>2</sup>
焼損面積	林 野			14 a	0 a	2 a
1件平均 損害額				1,394 千円	2,480 千円	2,653 千円
住民1人当り損害額				397 円	839 円	810 円
火災発生間隔				4.74 日	3.97 日	4.40 日
人口1万人当り 出火件数(出火率)				2.85 件	3.40 件	3.06 件



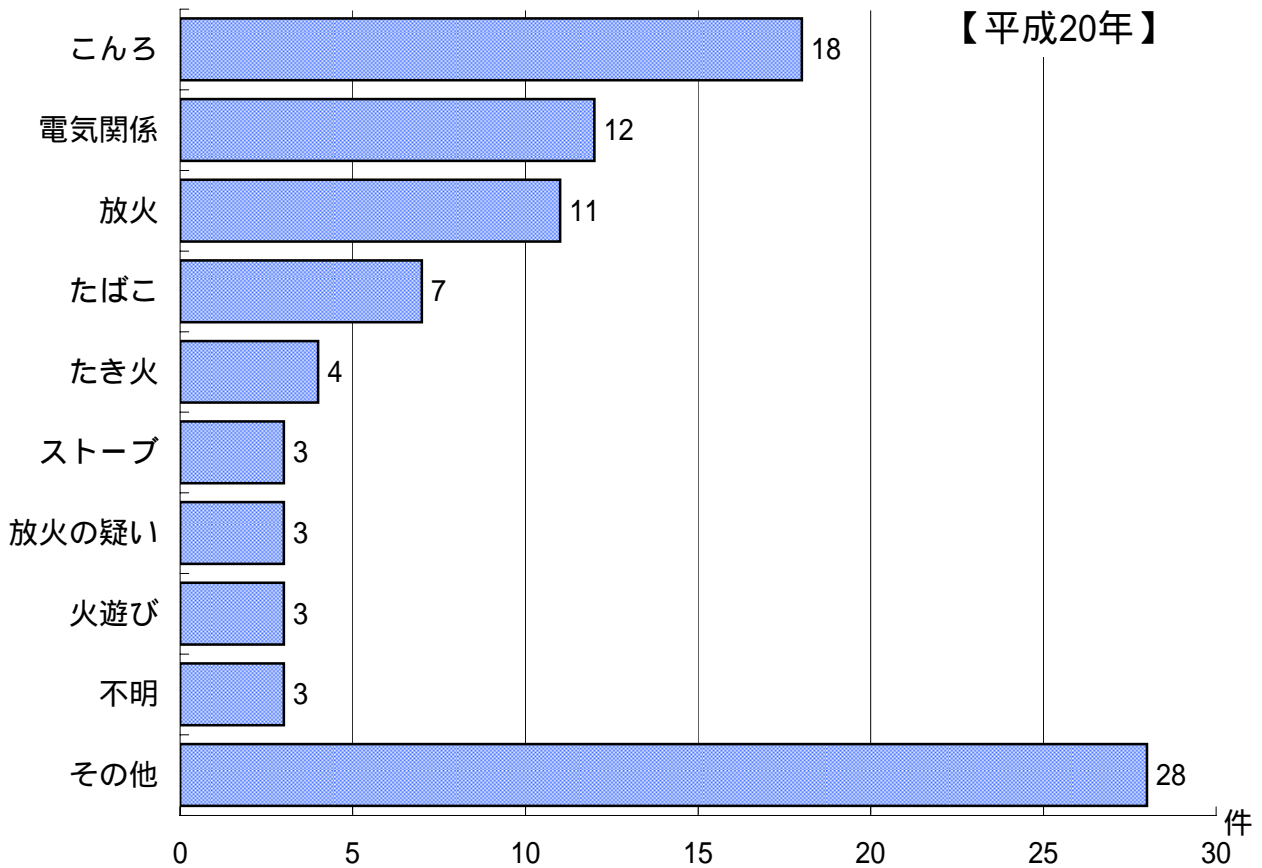
### 3. 火災原因別件数（昨年との比較）

原因別

【平成21年】



【平成20年】



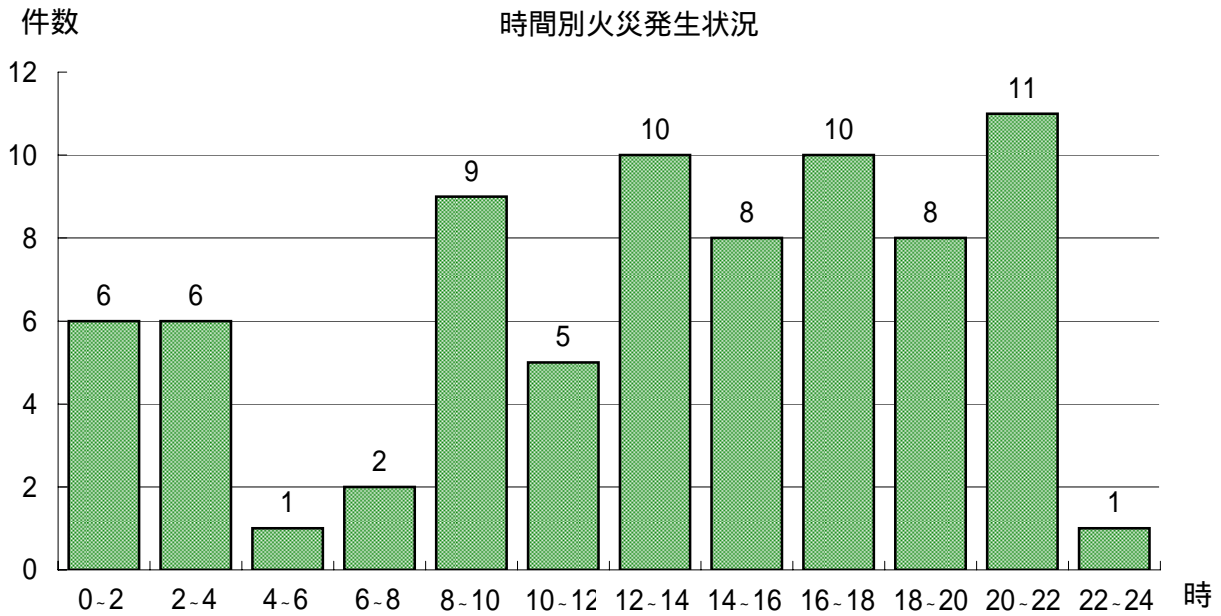
#### 4. 初期消火状況（建物火災）

初期消火の有無	件数	消防隊放水の有無	建物火災1件当りの焼損床面積
有	37件	有 14件	21.68㎡
		無 23件	
無	15件	有 4件	22.73㎡
		無 11件	

#### 5. 主な火災原因の背景

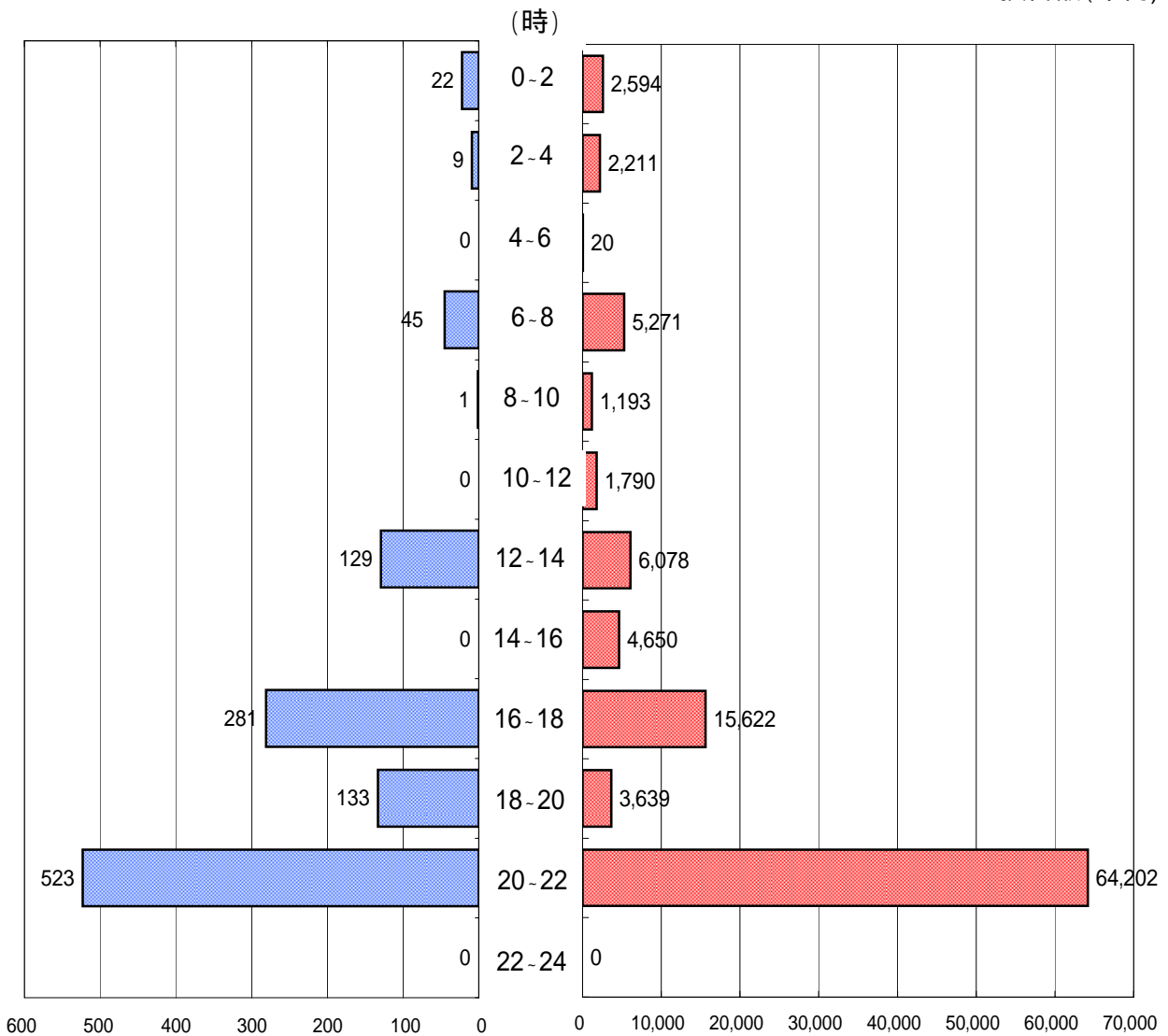
火災原因	背景	件数
放火 (13件)	・自殺、自暴的、ノイローゼ	3件
	・いたずら心	3件
	・その他	7件
こんろ (12件)	・てんぷら油の発火	7件
	・消し忘れ、空炊き	3件
	・その他	2件
電気関係 (12件)	・機器の不良、不具合	4件
	・絶縁劣化、トラッキング	3件
	・配線の短絡、半断線	3件
	・その他	2件
たばこ (6件)	・吸殻の不始末	3件
	・投げ捨て	3件
ストーブ (5件)	・可燃物に接触	3件
	・燃焼中に灯油を漏えい（給油中）	1件
	・その他	1件
たき火 (5件)	・燃焼拡大	4件
	・飛び火	1件

## 6 . 時間帯別火災発生状況



焼損床面積 (m<sup>2</sup>)

損害額 (千円)



7. 特異な火災・・・・・・・・・・ ・建物火災のうち焼損床面積が200㎡以上の火災  
 ・ 〃 損害額が500万円以上の火災

No.	月・日	場 所	用途	原 因	焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)
1	3/21	浅水二日町	住宅	ライターで紙類に火をつけ、 室内に投げ捨てたもの	45	5,266
2	4/10	東河原町	住宅	センサーライトのコード線が 短絡し出火したもの	212	13,898
3	7/4	江守の里2丁目	住宅	何者かが何らかの火源を用い て放火したもの	106	6,797
4	8/11	大宮6丁目	店舗	天井取付けのエアコン配線部 分から何らかの原因で出火し たもの	表2	26,425
5	11/28	文京1丁目	長屋	こんろに起因した低温着火又 は天ぷら油の発火により出火 したもの	408	29,748

8. 死者を生じた火災

No.	月・日	場 所	火災種別	性別 年齢	死者を生じた状況
				男 59	
1	10/1	計石町	車両		放火の疑い

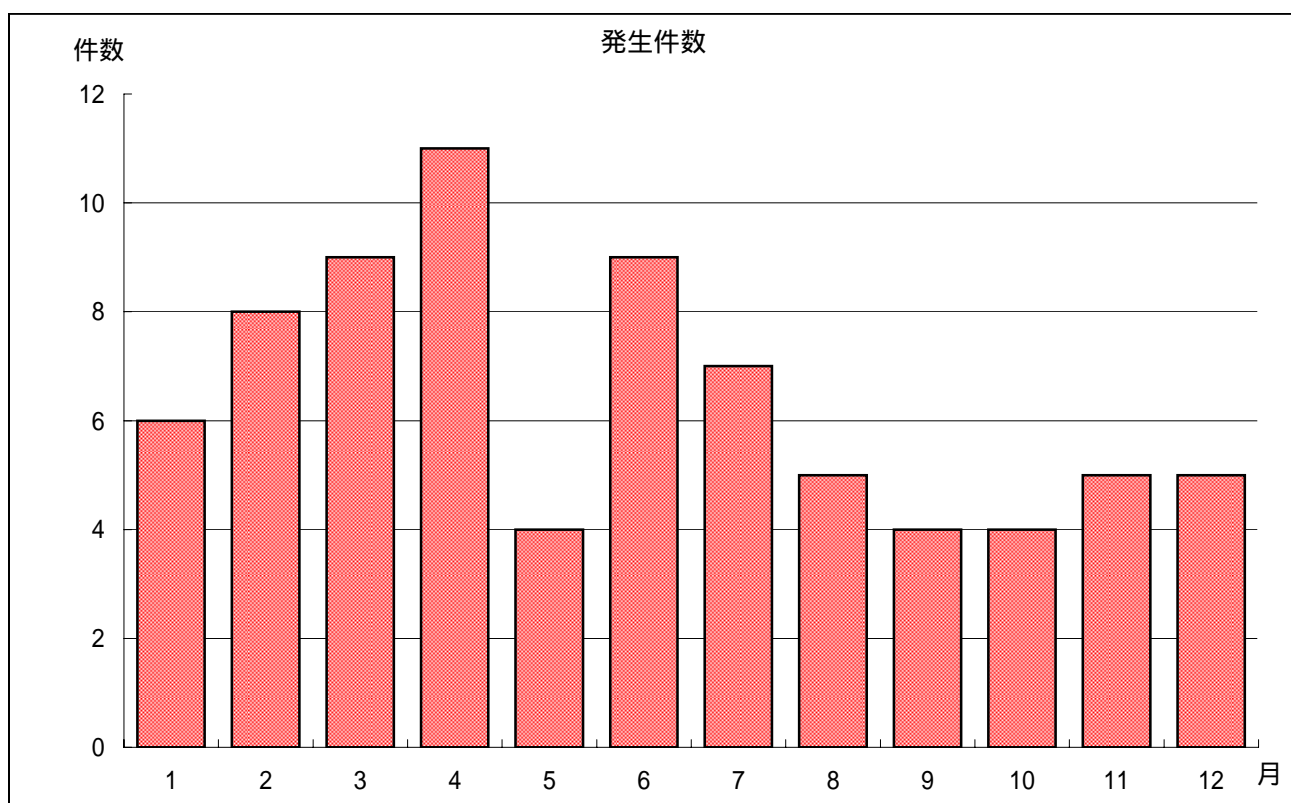
## 9. 月別火災発生状況

【月別火災発生状況集計表】

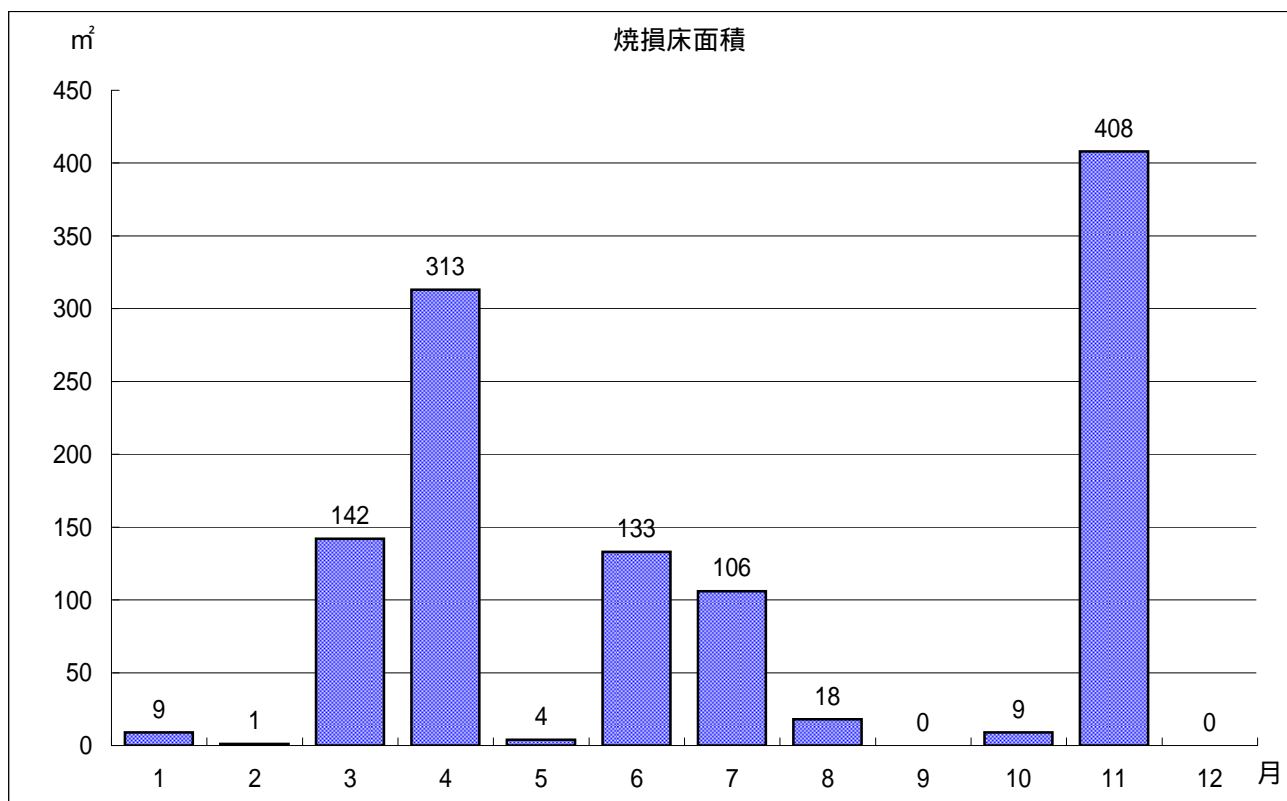
項目 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
発生件数 (件)	6	8	9	11	4	9
焼損床面積 (㎡)	9	1	142	313	4	133
損害額 (千円)	215	1,893	8,513	16,750	1,469	3,825

項目 \ 月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発生件数 (件)	7	5	4	4	5	5
焼損床面積 (㎡)	106	18	0	9	408	0
損害額 (千円)	7,710	30,122	4,810	1,047	30,281	635

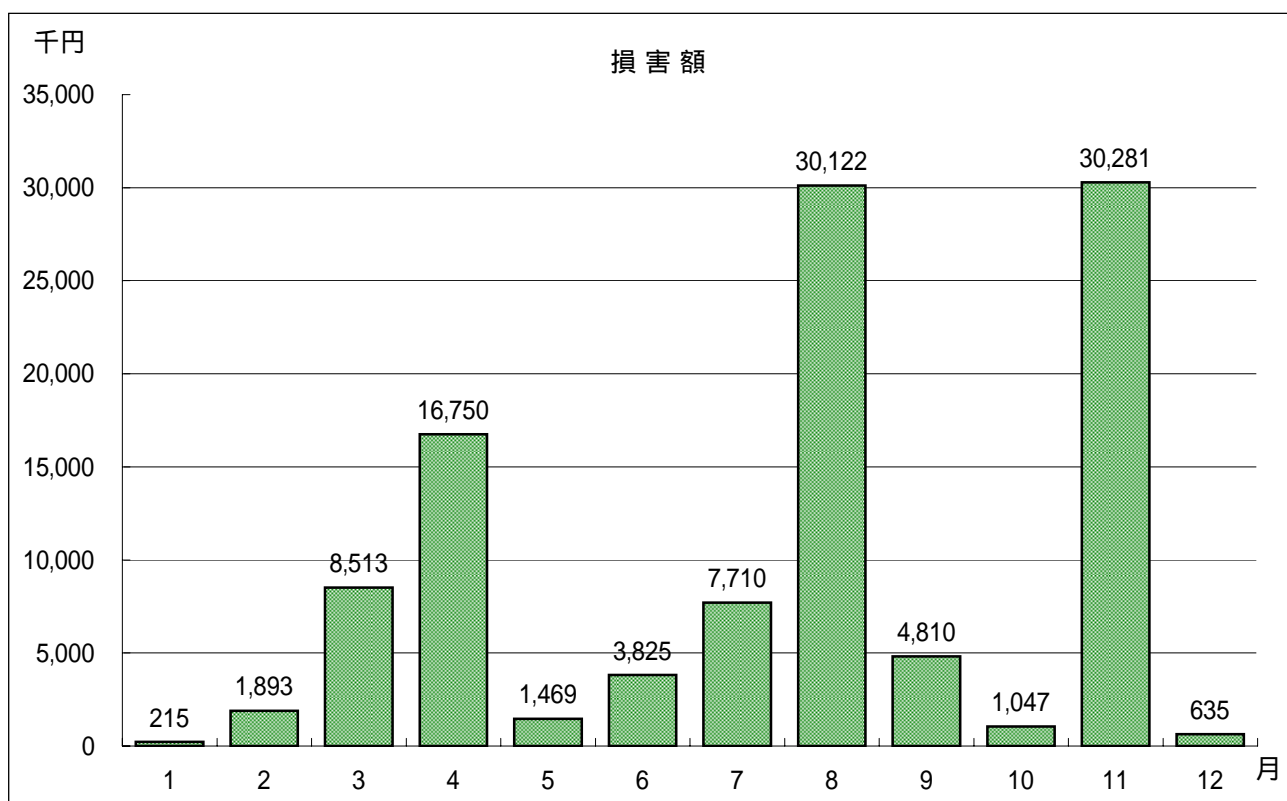
(1) 発生件数(件)



(2) 焼損床面積 (㎡)

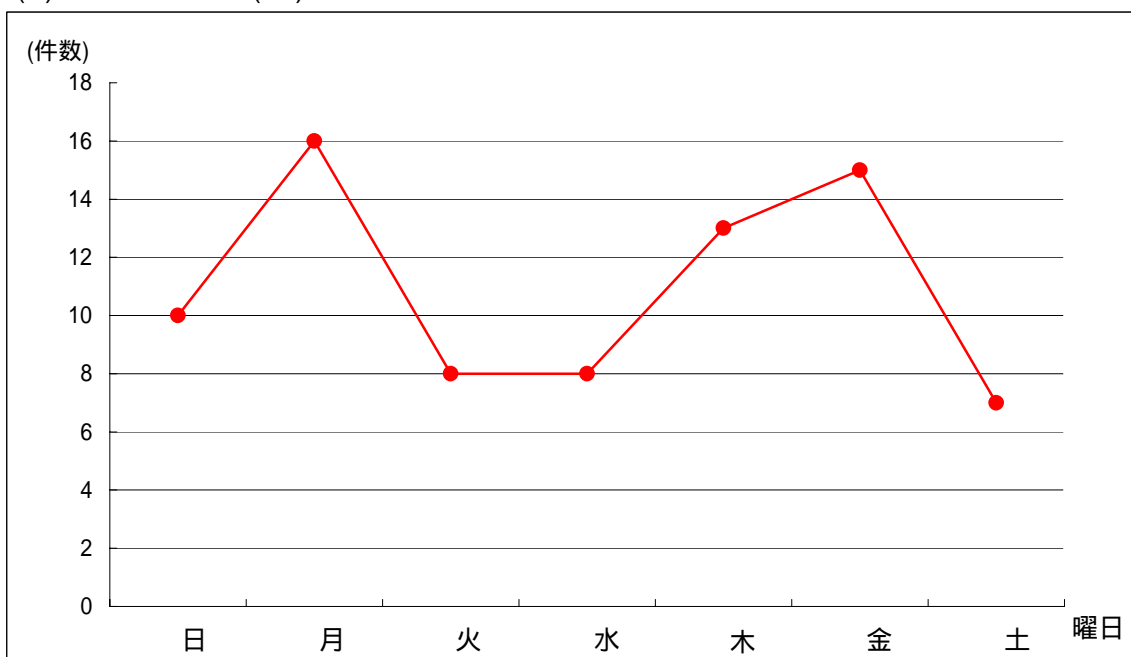


(3) 損害額 (千円)



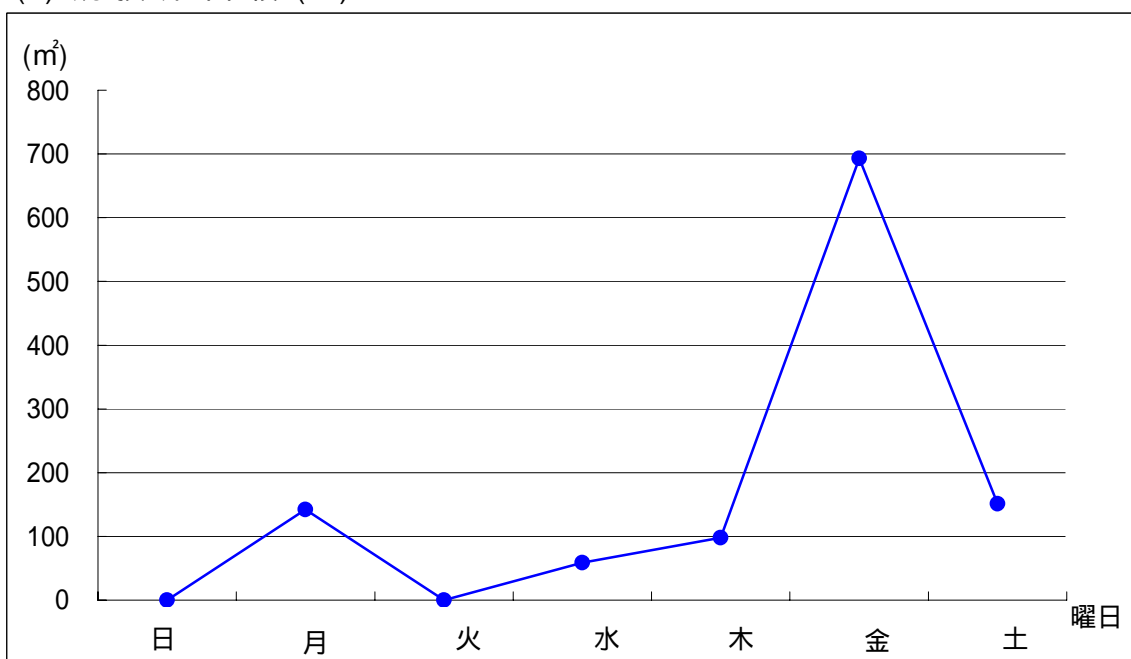
## 10. 曜日別火災発生状況

(1) 発生件数 (件)



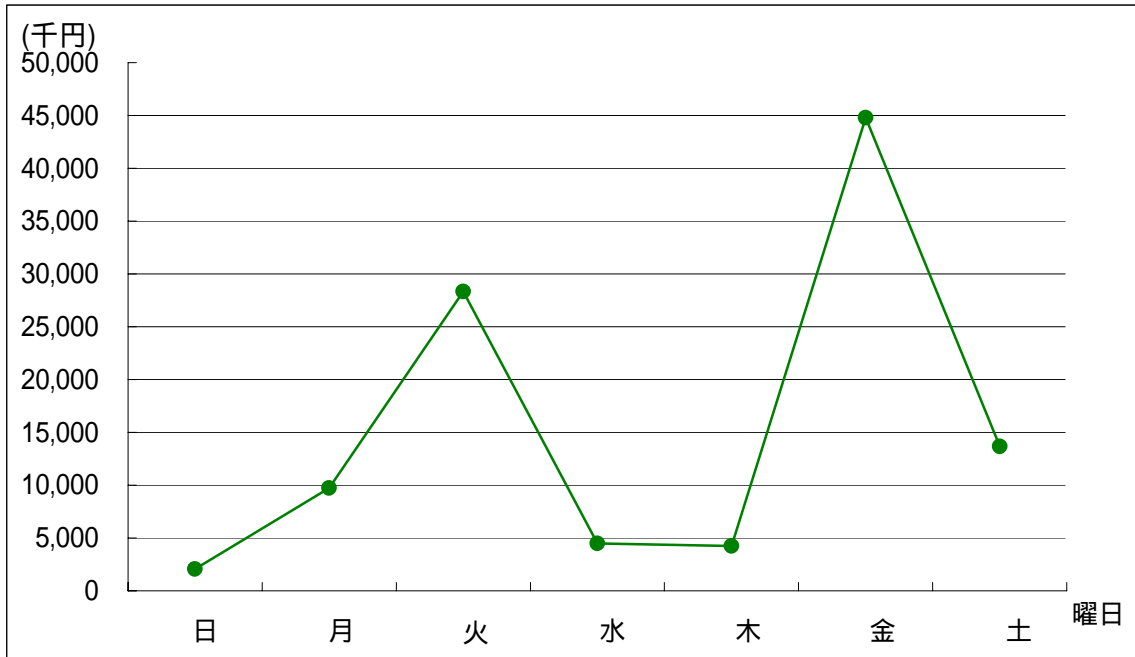
項目 \ 月別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
発生件数 (件)	10	16	8	8	13	15	7

(2) 焼損床面積 (m<sup>2</sup>)



項目 \ 月別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
焼損床面積 (m <sup>2</sup> )	0	142	0	59	98	693	151

(3) 損害額 (千円)



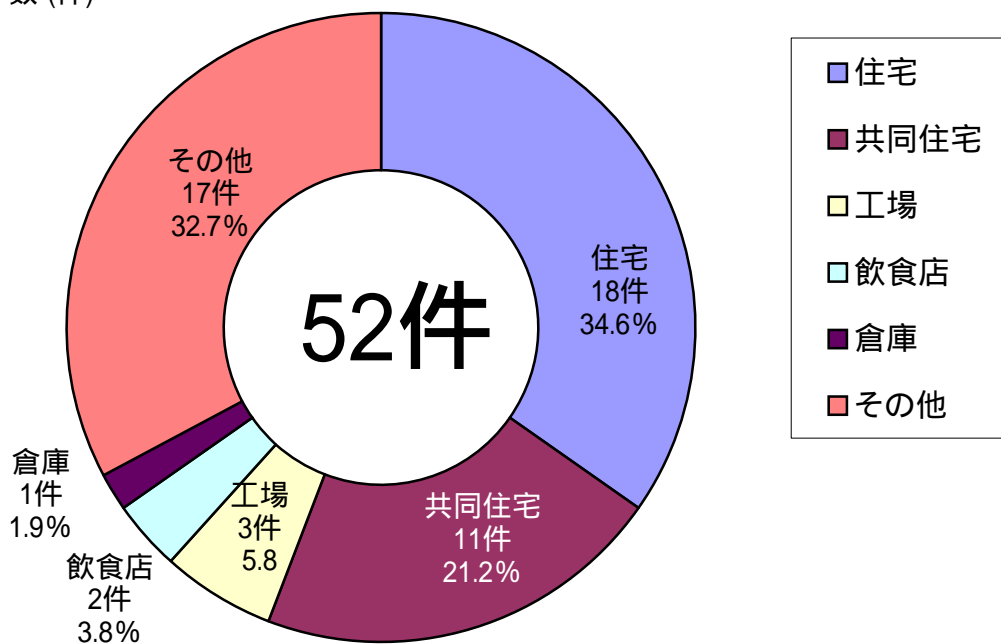
項目 \ 月別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
損害額 (千円)	2,046	9,713	28,334	4,499	4,228	44,791	13,659



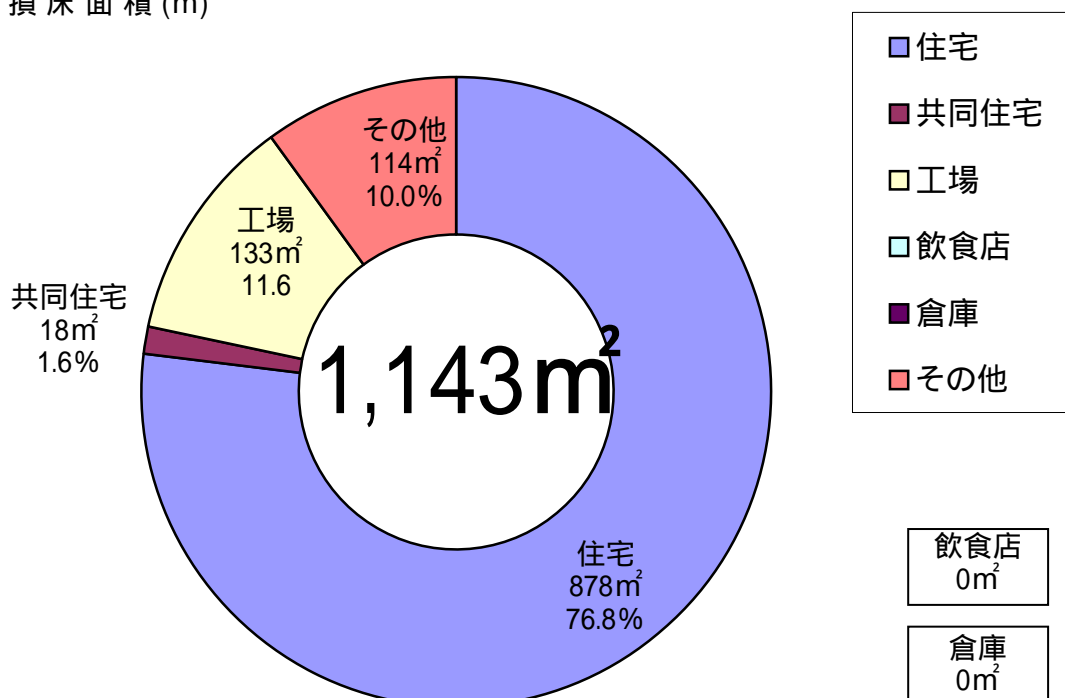
11. 用途別火災発生状況（建物火災）

	住宅	共同住宅	工場	飲食店	倉庫	その他	計
発生件数 (件)	18	11	3	2	1	17	52
焼損床面積 (m <sup>2</sup> )	878	18	133	0	0	114	1,143
損害額 (千円)	58,997	2,300	5,081	39	70	32,235	98,722

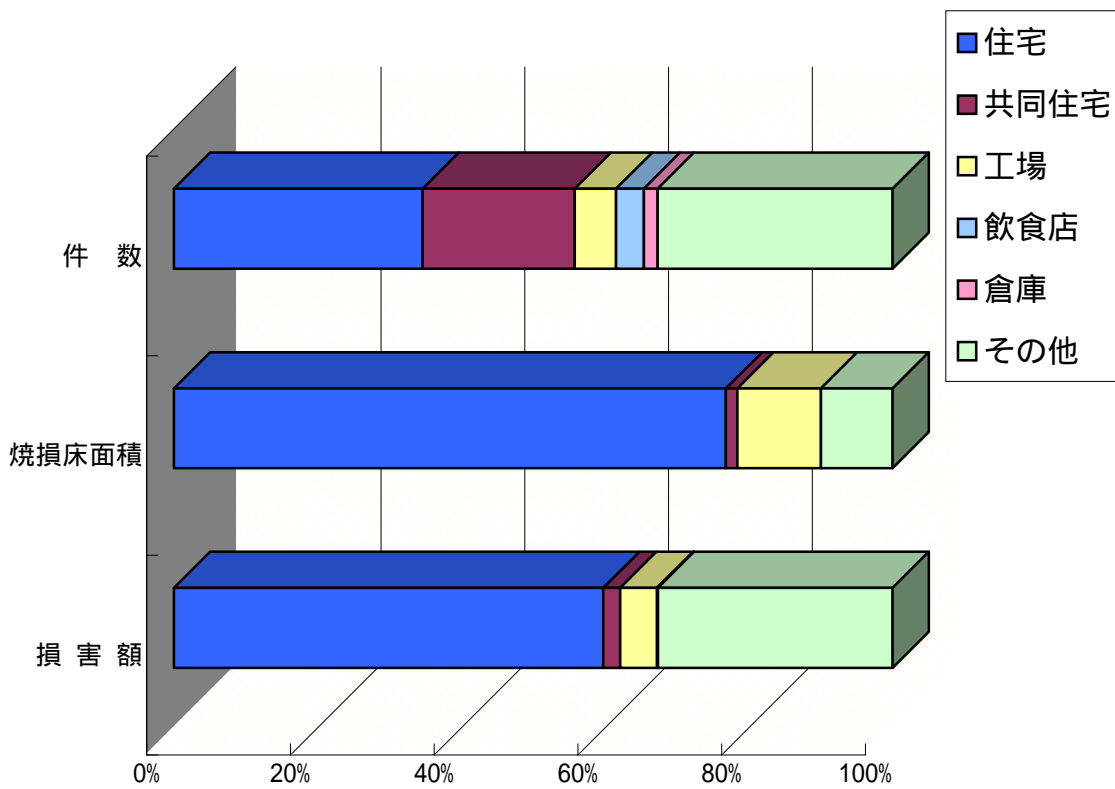
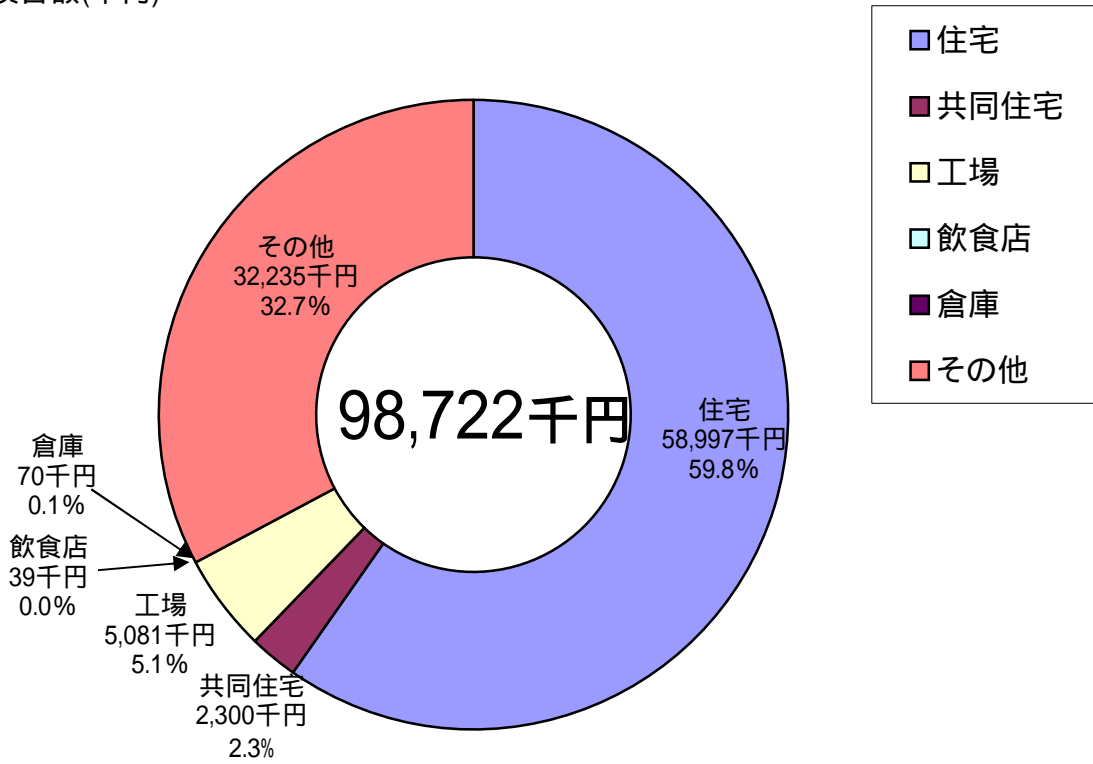
発生件数(件)



焼損床面積(m<sup>2</sup>)

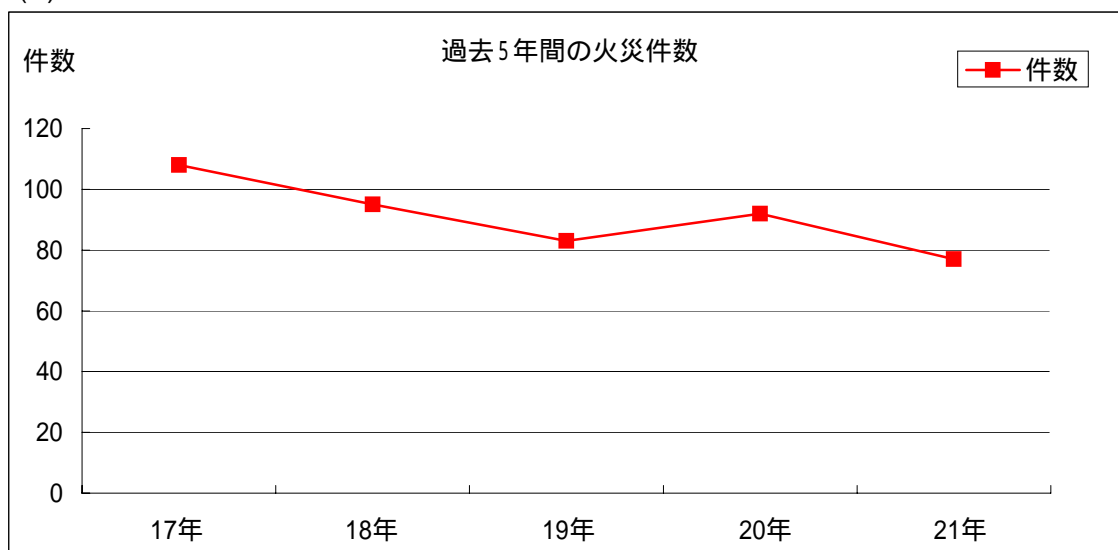


損害額(千円)



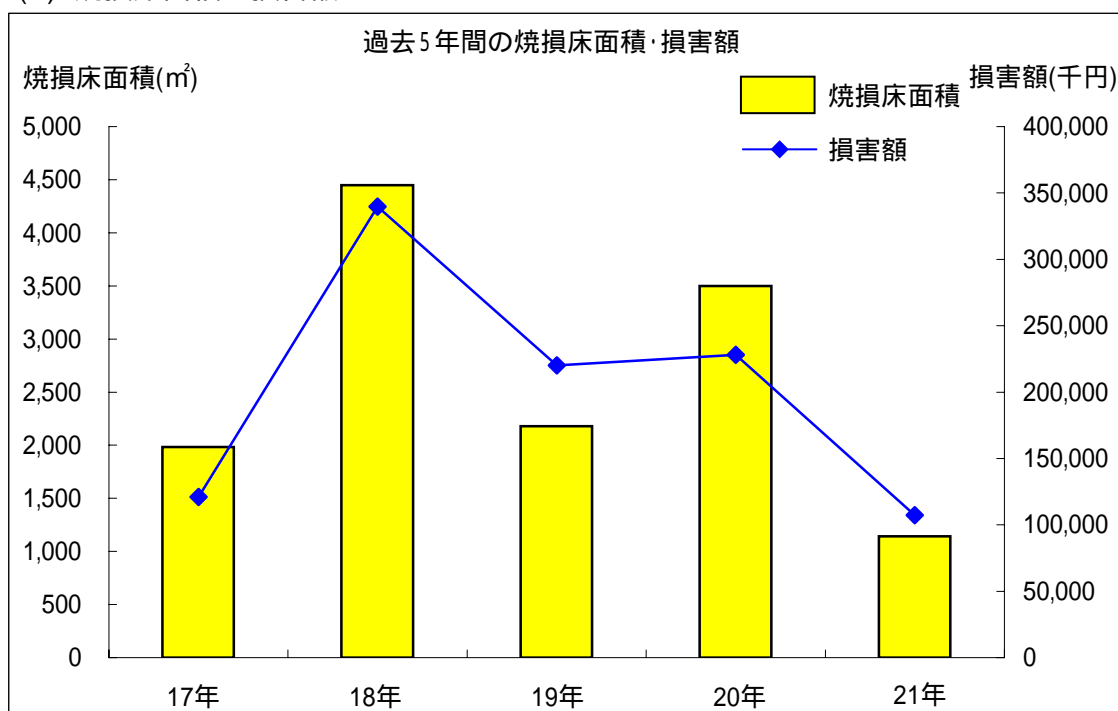
## 12. 火災の推移（過去5年間の実数による比較）

### (1) 発生件数



	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
発生件数(件)	108	95	83	92	77

### (2) 焼損床面積・損害額

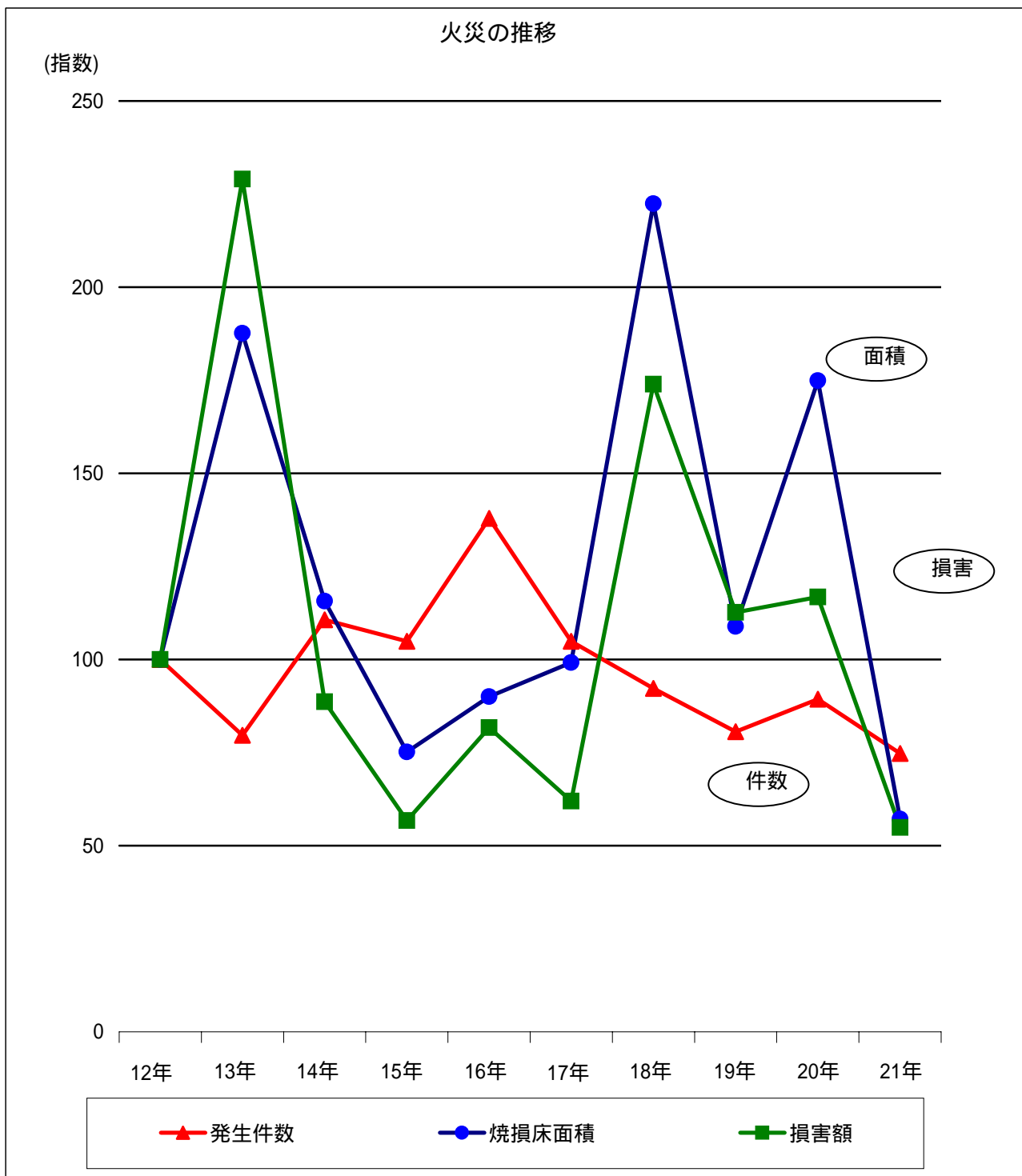


	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	1,984	4,449	2,178	3,498	1,143
損害額(千円)	121,018	339,812	220,137	228,156	107,270

13. 火災の推移（過去10年間の指数による比較）

\*平成12年を「指数100」とした場合の推移比較

項目 \ 年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
発生件数	100	79.6	110.7	104.9	137.9	104.9	92.2	80.6	89.3	74.8
焼損床面積	100	187.6	115.7	75.2	90.1	99.2	222.5	108.9	174.9	57.2
損害額	100	229.0	88.7	56.7	81.7	61.9	173.9	112.7	116.8	54.9



# 救急統計



# 1 救急隊別救急業務状況

(平成21年中)

出場場所別 救急隊別 事故種別		出場場所		救 急 隊								計
		福井市	その他	中	南	東	臨海	西	美山	越廼	清水	
火災	出場件数	73	2	21	14	12	4	22		1	1	75
	搬送人員	7		3				4				7
自然	出場件数	1		1								1
	搬送人員	1		1								1
水難	出場件数	12	1	3		1	3	2		3	1	13
	搬送人員	5		1		1	2	1				5
交通	出場件数	1,003	1	330	206	166	24	208	16	7	47	1,004
	搬送人員	1,169	1	359	228	200	32	258	21	10	62	1,170
労災	出場件数	63		16	12	13	8	7	3		4	63
	搬送人員	60		15	12	12	8	6	3		4	60
運動	出場件数	58		12	7	4	1	25	1	1	7	58
	搬送人員	58		12	7	4	1	25	1	1	7	58
一般	出場件数	991		309	156	152	47	204	31	24	68	991
	搬送人員	945		294	147	142	46	197	29	24	66	945
加害	出場件数	43		19	9	5	2	6		1	1	43
	搬送人員	40		20	7	5	1	5		1	1	40
自損	出場件数	110		39	17	16	4	27	1	1	5	110
	搬送人員	81		32	13	10	1	19	1	1	4	81
急病	出場件数	4,445		1,531	788	709	148	863	73	79	254	4,445
	搬送人員	4,166		1,422	758	665	141	796	67	75	242	4,166
その他	出場件数	745		268	156	119	7	163	2	9	21	745
	搬送人員	669		233	143	105	5	153	2	8	20	669
計	出場件数	7,544	4	2,549	1,365	1,197	248	1,527	127	126	409	7,548
	搬送人員	7,201	1	2,392	1,315	1,144	237	1,464	124	120	406	7,202

\* その他（他の市町村への出場）

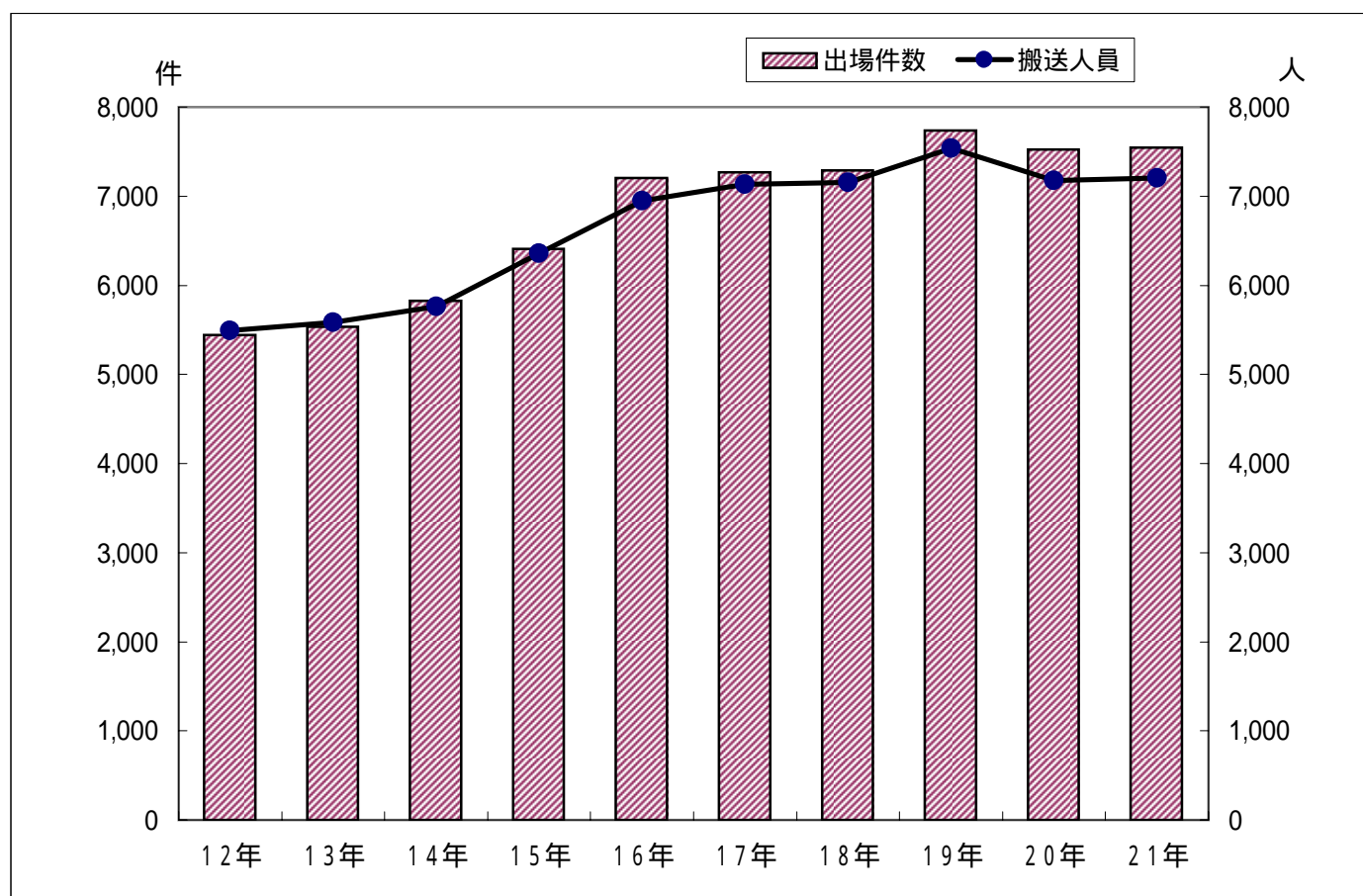
坂井市 2件 1人 鯖江市 1件 0人 永平寺町 1件 0人 合計 4件 1人

## 2 救急概要(前年との比較)

区 分		年 別	平成21年	平成20年	前年との比較 ( 印は減少)	
出 場 件 数			7,548	7,521	27	
救 急 事 故 種 別 件 数	火 災		75	87	12	
	自 然 災 害		1		1	
	水 難		13	11	2	
	交 通		1,004	1,001	3	
	労 働 災 害		63	95	32	
	運 動 競 技		58	80	22	
	一 般 負 傷		991	961	30	
	加 害		43	37	6	
	自 損 事 故		110	142	32	
	急 病		4,445	4,419	26	
	そ の 他	転 院 搬 送		668	601	67
		医 師 搬 送			3	3
		資 器 材 等 輸 送		10	6	4
そ の 他			67	78	11	
搬 送 人 員			7,202	7,177	25	
1 日 最 多 出 場 件 数			39	40	1	
1 日 平 均 出 場 件 数			20.7	20.6	0.1	
1 ヶ 月 平 均 出 場 件 数			629.0	626.8	2.3	

### 3 救急件数及び搬送人員の推移

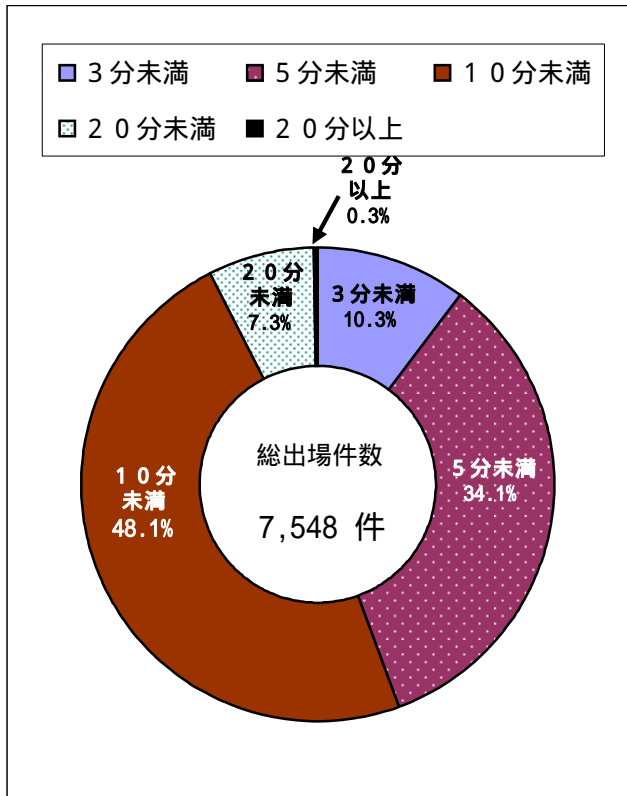
年別	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
出場件数	5,443	5,535	5,828	6,411	7,204	7,268	7,291	7,735	7,521	7,548
前年比	531	92	293	583	793	64	23	444	214	27
搬送人員	5,490	5,581	5,761	6,361	6,949	7,135	7,152	7,535	7,177	7,202
前年比	573	91	180	600	588	186	17	383	358	25





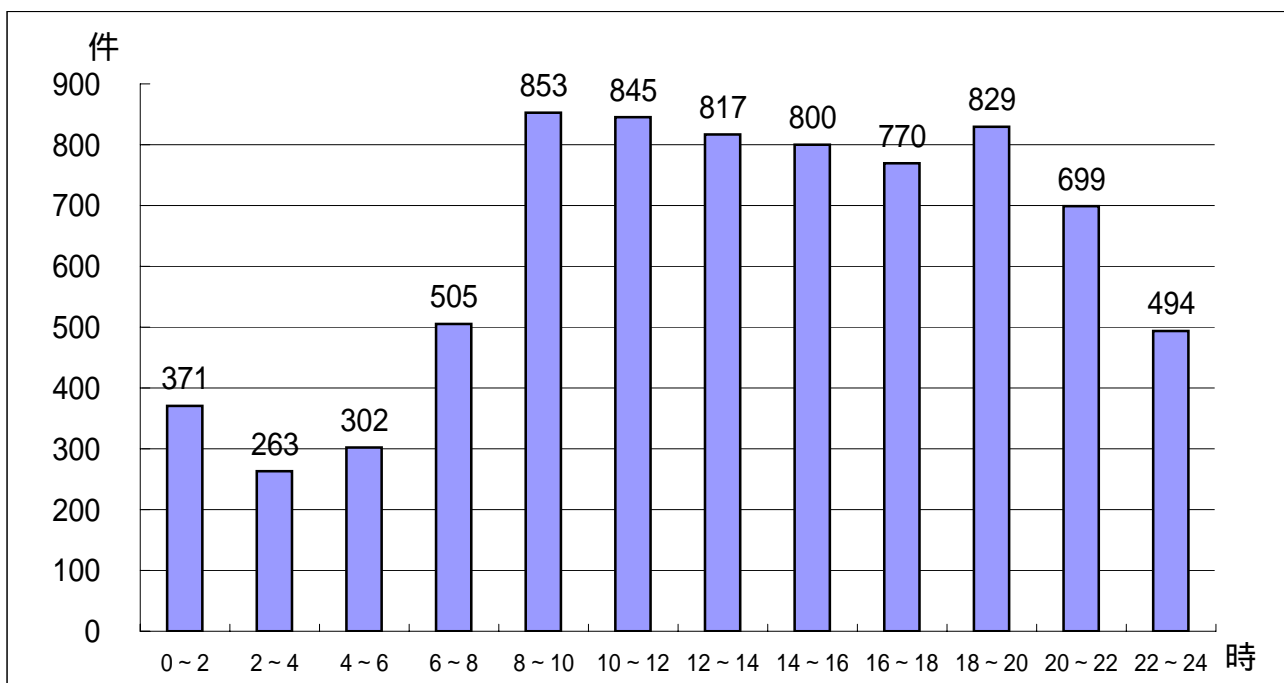
#### 4 現場到着所要時間別出場件数

(平成21年中)



種別 時間	急病	交通	一般	その他	合計
3分未満	400	104	93	181	778
5分未満	1,487	321	344	419	2,571
10分未満	2,214	489	467	459	3,629
20分未満	338	83	86	43	550
20分以上	6	7	1	6	20
<b>計</b>	<b>4,445</b>	<b>1,004</b>	<b>991</b>	<b>1,108</b>	<b>7,548</b>

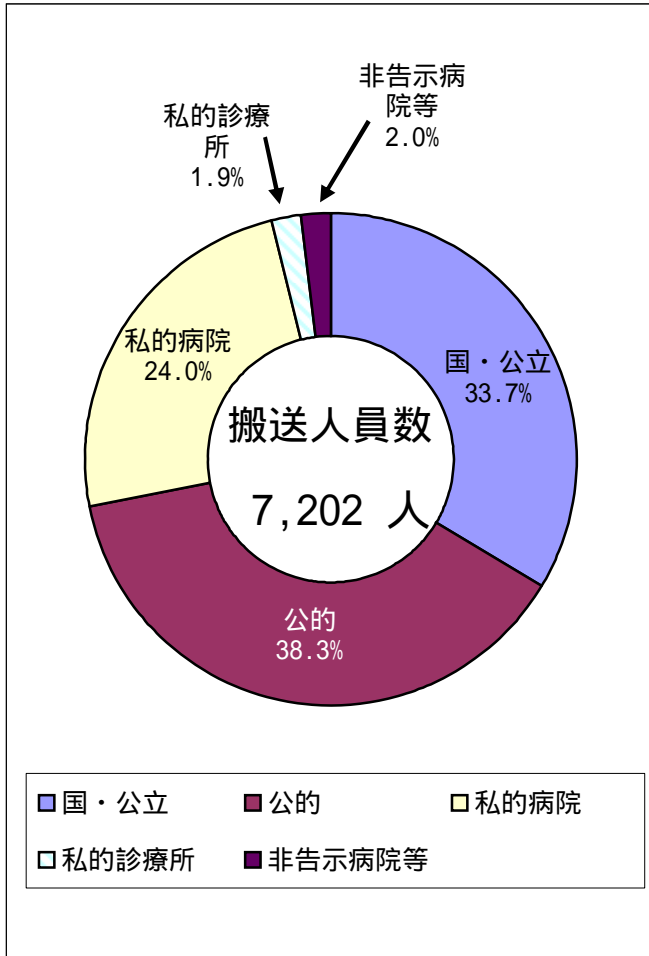
#### 5 時間別出場件数



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
件数	371	263	302	505	853	845	817	800	770	829	699	494	7,548

## 6 医療機関別搬送人員

(平成21年中)



医療機関別

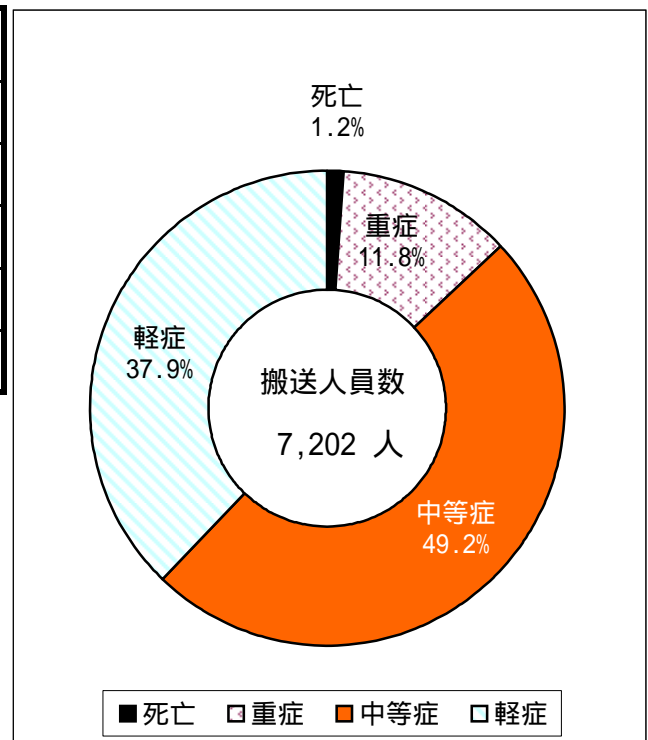
種別 医療機関	急病	交通	一般	その他	合計
国・公立	1,384	360	266	419	2,429
公的	1,599	468	393	301	2,761
私的病院	1,039	290	217	185	1,731
私的診療所	33	48	47	7	135
非告示病院等	111	4	22	9	146
計	4,166	1,170	945	921	7,202

(非告示病院等)

種別 医療機関	急病	交通	一般	その他	合計
国・公立					0
公的					0
私的病院	76	4	12	8	100
私的診療所	35		10	1	46
その他の場所					0
計	111	4	22	9	146

## 7 傷病程度別搬送人員

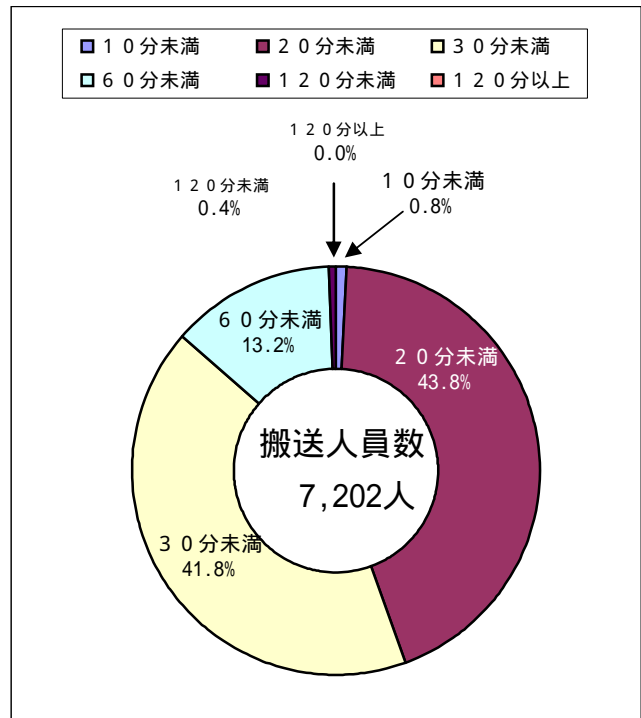
種別 傷病程度	急病	交通	一般	その他	合計
死亡	52	3	9	21	85
重症	479	50	74	244	847
中等症	2,158	394	475	514	3,541
軽症	1,477	723	387	142	2,729
計	4,166	1,170	945	921	7,202



## 8 収容所要時間別搬送人員

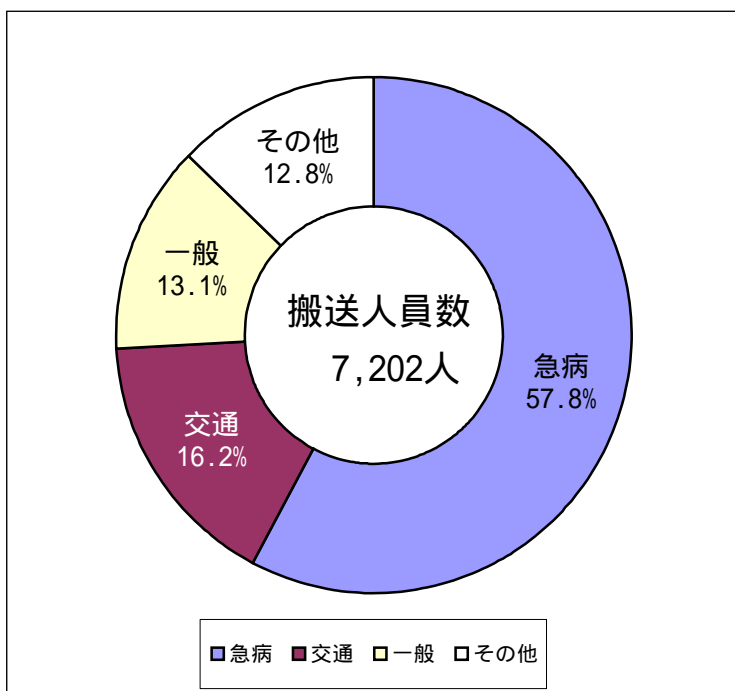
(平成21年中)

種別 時間	急病	交通	一般	その他	合計
10分未満	26	7	7	16	56
20分未満	1,775	488	364	526	3,153
30分未満	1,798	500	417	295	3,010
60分未満	557	173	148	74	952
120分未満	10	2	9	9	30
120分以上				1	1
計	4,166	1,170	945	921	7,202



## 9 事故別搬送人員

種別 人員	急病	交通	一般	その他	合計
搬送人員	4,166	1,170	945	921	7,202



(その他の内訳)

種別	搬送人員	割合
火災	7	0.1%
自然	1	0.0%
水難	5	0.1%
労災	60	0.8%
運動	58	0.8%
加害	40	0.6%
自損	81	1.1%
その他	669	9.3%
計	921	12.8%

# 10 救急隊員が行った応急処置の状況

(平成21年中)

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
	対 象 人 員	4,154	1,153	929	910
止血	19	41	69	21	150 件
固定	57	891	323	87	1,358 件
人工呼吸	19	5	5	7	36 件
心マッサージ	3		3	2	8 件
心肺蘇生	137	5	23	32	197 件
酸素吸入	1,882	126	145	434	2,587 件
気道確保	201	11	31	40	283 件
* ラリంగాル等気道確保	92	3	13	11	119 件
* 気管挿管		1	1		2 件
保温	2,881	451	497	598	4,427 件
被覆	23	177	211	45	456 件
在宅療法継続					0 件
ショックパンツによる血圧保持					0 件
除細動	15			1	16 件
* 静脈路確保(輸液)	37	2	5	6	50 件
その他の応急処置	2,234	326	362	350	3,272 件
血圧測定	3,737	1,051	810	763	6,361 件
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	742	326	129	137	1,334 件
血中酸素飽和度の測定	3,943	1,102	864	845	6,754 件
心電図	1,732	72	112	268	2,184 件
計	17,662	4,586	3,589	3,636	29,473 件

注 \*は救急救命士が実施した救急救命処置

# 11 管外医療機関搬送状況

(市町別)

市町別	鯖江市	大野市	永平寺町	坂井市	その他	合計
件数・人員						
件数	11		226	29	18	284
人員	11		232	31	18	292

(事故種別)

種別	急病	交通	一般	転院	その他	合計
件数・人員						
件数	158	33	35	50	8	284
人員	159	40	35	50	8	292

## 1.2 転送人員状況

(平成21年中)

医療機関 種別	回数		合計
	0回	1回	
急病	4,155	11	4,166
交通	1,167	3	1,170
一般負傷	944	1	945
その他	919	2	921
計	7,185	17	7,202

(転送理由)

転送理由	人員
ベッド満床	
専門外	2
医師不在	
手術中	1
処置困難	10
理由不明	
その他	4
計	17

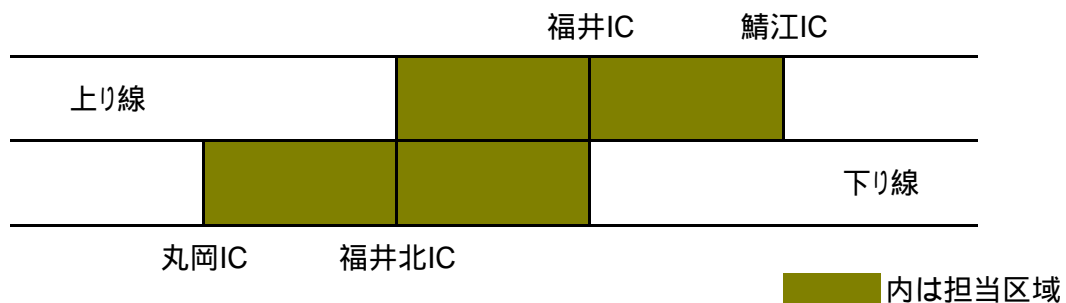
(転送者収容医療機関別)

医療機関 種別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
急病	7	2	2		11
交通	2	1			3
一般負傷		1			1
その他	2				2
計	11	4	2	0	17

(転送者収容所要時間別)

時間	人員
10分未満	
20分未満	
30分未満	3
60分未満	12
60分以上	2
計	17

## 1.3 北陸自動車道救急出場状況



年別 件数及び人員	21年	20年	前年比
	出場件数	9	11
搬送人員	15	11	4

種別 件数及び人員	交通	急病	一般	火災	合計
	出場件数	8			1
搬送人員	15				15

## 1 4 発生場所別搬送人員

(平成21年中)

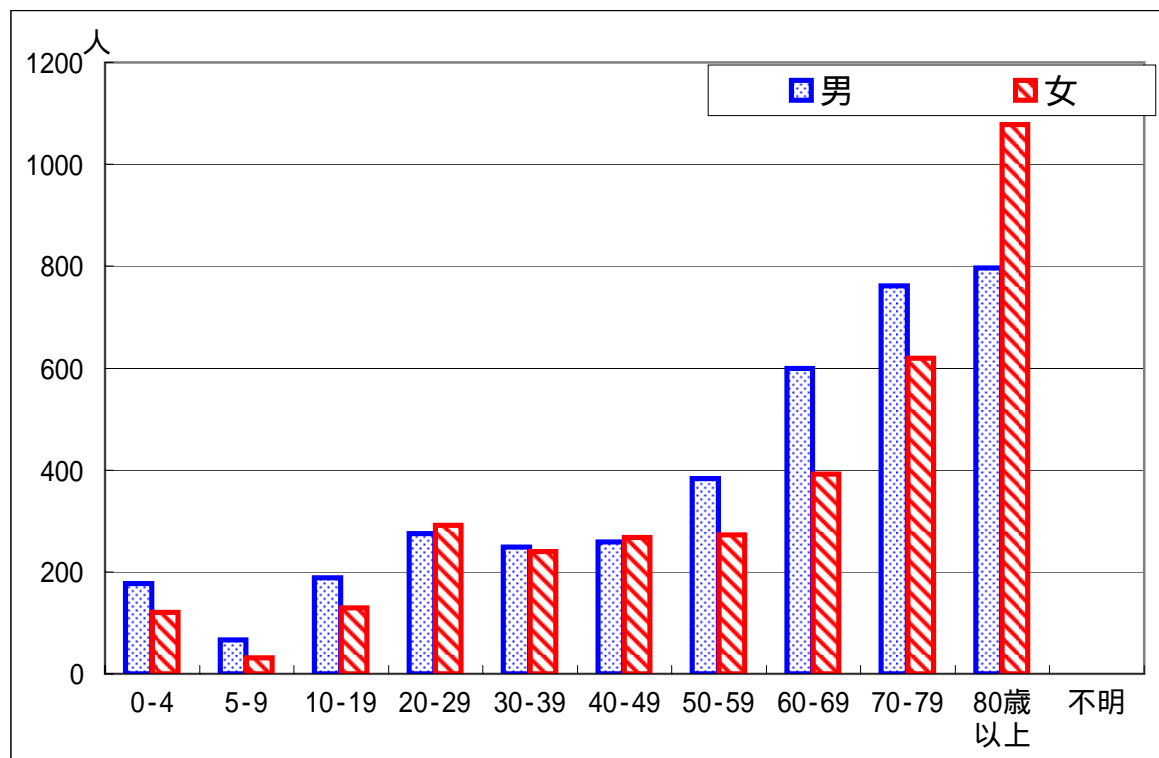
種別	場所	発生場所					合計
		住宅	公衆の 出入場所	仕事場	道路	その他	
急病		2,970	821	101	178	96	4,166
交通		7	28		1,111	24	1,170
一般負傷		534	193	13	99	106	945
その他		87	751	47	19	17	921
合計		3,598	1,793	161	1,407	243	7,202

## 1 5 医師の現場出場状況

単位:件

種別	急病	交通	一般負傷	その他	計
平成21年					0
平成20年		1			1

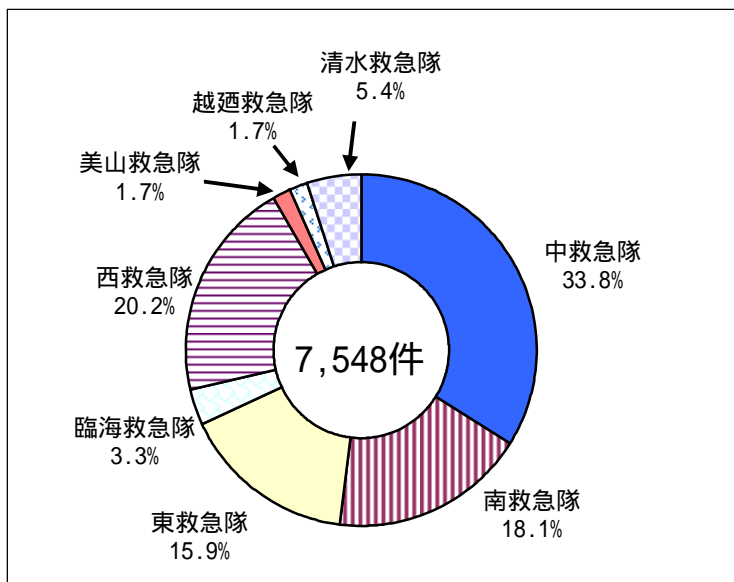
## 1 6 年齢・性別搬送人員



年齢 性別	0-4	5-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳 以上	不明	合計
男	177	66	189	275	249	259	383	600	761	797		3,756
女	121	32	130	292	240	268	273	392	620	1,078		3,446
計	298	98	319	567	489	527	656	992	1,381	1,875	0	7,202

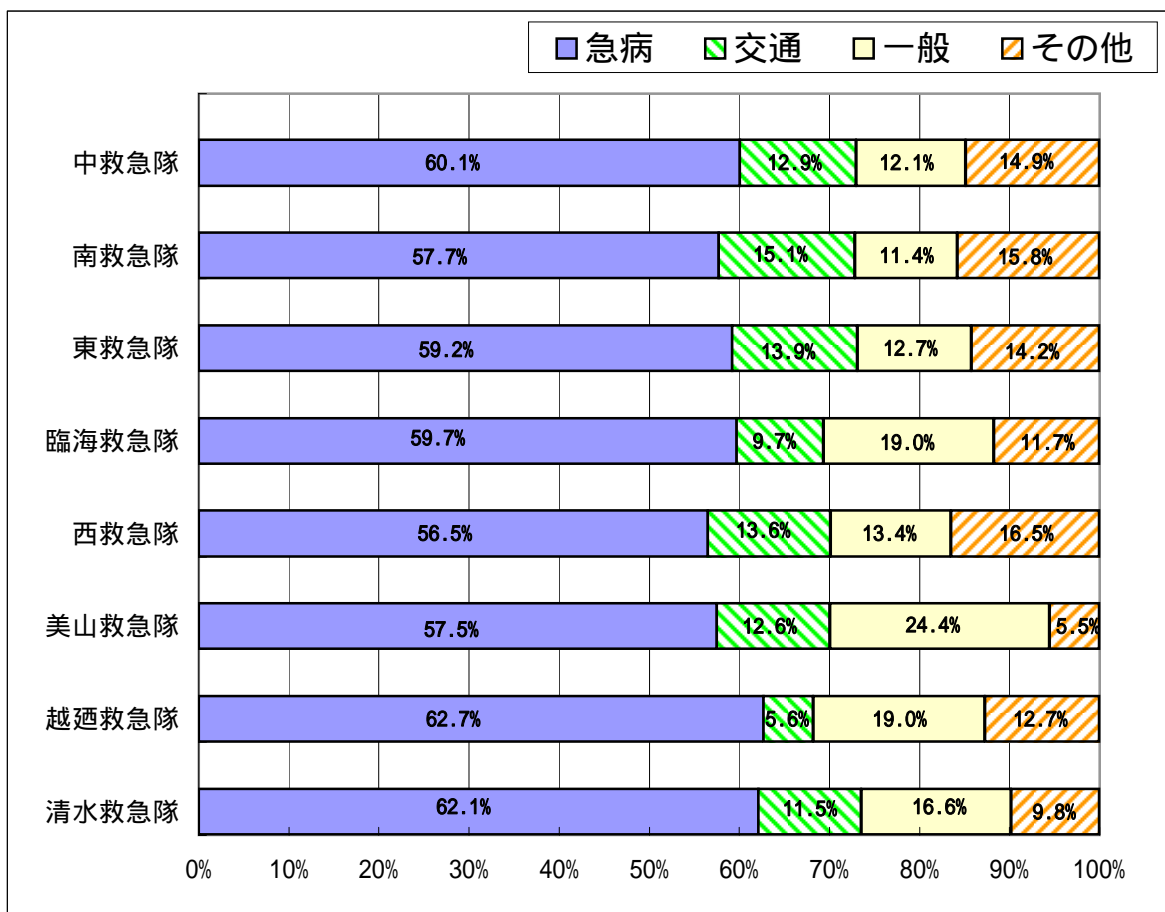
# 1 7 救急隊別出場件数

(平成21年中)



(1日平均出場件数)

救急隊別	平均出場件数
中	7.0 件
南	3.7 件
東	3.3 件
臨海	0.7 件
西	4.2 件
美山	0.3 件
越廼	0.3 件
清水	1.1 件
<b>計</b>	<b>20.7 件</b>



種別	隊別	救 急 隊 別							合 計	
		中	南	東	臨海	西	美山	越廼		清水
急病		1,531	788	709	148	863	73	79	254	4,445
交通		330	206	166	24	208	16	7	47	1,004
一般		309	156	152	47	204	31	24	68	991
その他		379	215	170	29	252	7	16	40	1,108
<b>計</b>		<b>2,549</b>	<b>1,365</b>	<b>1,197</b>	<b>248</b>	<b>1,527</b>	<b>127</b>	<b>126</b>	<b>409</b>	<b>7,548</b>

# 救 助 統 計





# 1 救助活動状況

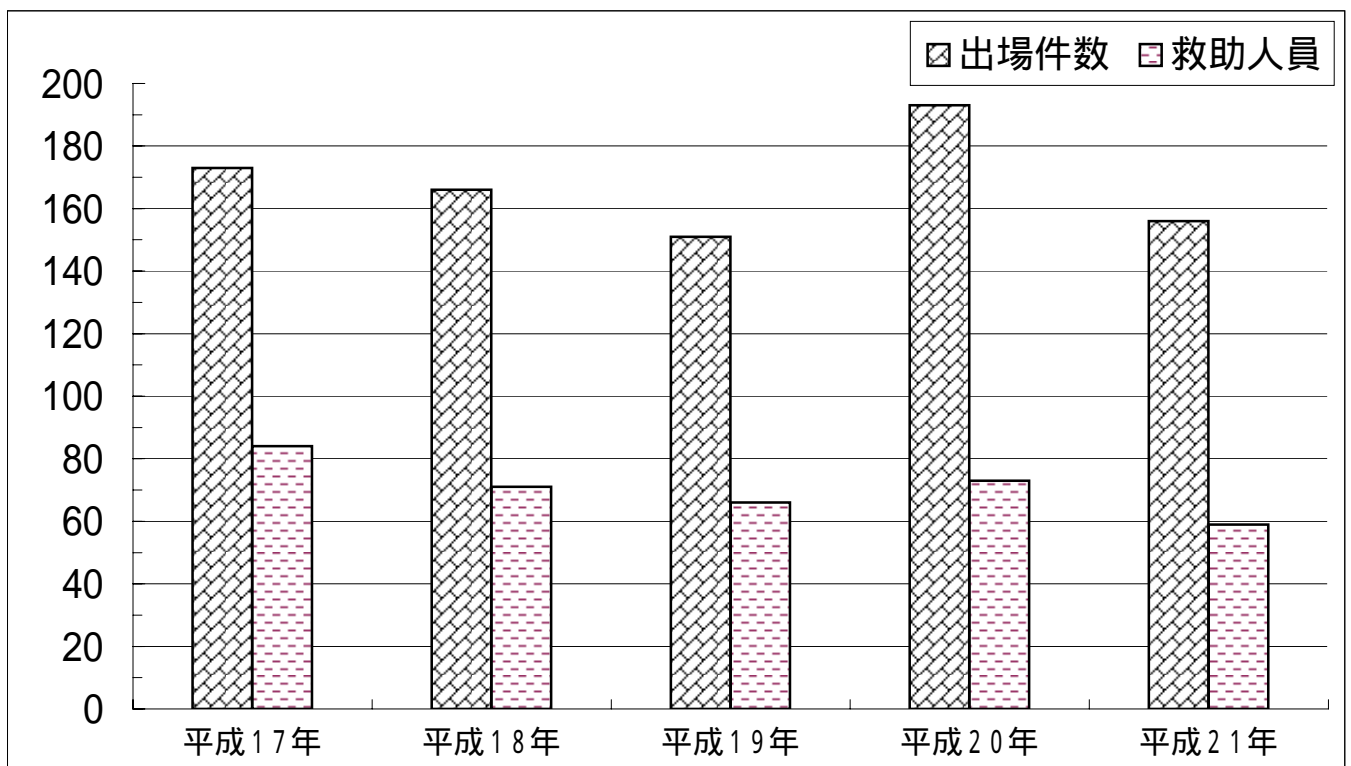
区分		出場件数									活動状況				
		火災	交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計	出場人員	活動件数	活動人員	救助人員
月・署別															
1月		5	6			1	1		7	20	529	4	33	2	
2月		4	3	3					3	13	305	4	43	4	
3月		6	3						5	14	405	3	36	1	
4月		4	7	3					1	15	291	10	79	8	
5月		1	3			1			2	7	127	3	21	3	
6月		4	2	2		1	1		2	12	306	3	26	2	
7月		5	5	2		2			4	18	439	7	77	6	
8月		4	2	1		2			2	11	242	5	46	8	
9月			7						1	8	142	4	27	8	
10月		2	3	3		1			4	13	272	6	39	5	
11月		2	3			4			5	14	354	6	51	4	
12月		2	5	1		2			1	11	199	5	58	8	
合計		39	49	15	0	0	14	2	0	37	156	3,611	60	536	59
出場 署別	中署	21	11	3			7			13	55	1,244	18	164	21
	南署	11	12	3			3			13	42	1,224	15	150	10
	東署	5	23	3			3	1		10	45	820	20	171	22
	臨海署	2	3	5			1	1		1	13	311	7	51	6
	管外			1							1	12			
	計	39	49	15	0	0	14	2	0	37	156	3,611	60	536	59
出場場所	福井市	39	49	14			14	2		37	155	3,599	60	536	59
	その他			1							1	12			
	計	39	49	15	0	0	14	2	0	37	156	3,611	60	536	59

## 2 救助出場件数及び救助人員状況（前年との比較）

種別 年別出場件数 及び救助人数		事 故 種 別									合 計
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 ・ 自然 災害	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 故 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
平成21年	出場件数	39	49	15			14	2		37	156
	救助人員	1	33	9			13			3	59
平成20年	出場件数	63	63	16		2	11	5		33	193
	救助人員		46	9		1	5	2		10	73
前年との 比 較	出場件数	24	14	1	0	2	3	3	0	4	37
	救助人員	1	13	0	0	1	8	2	0	7	14

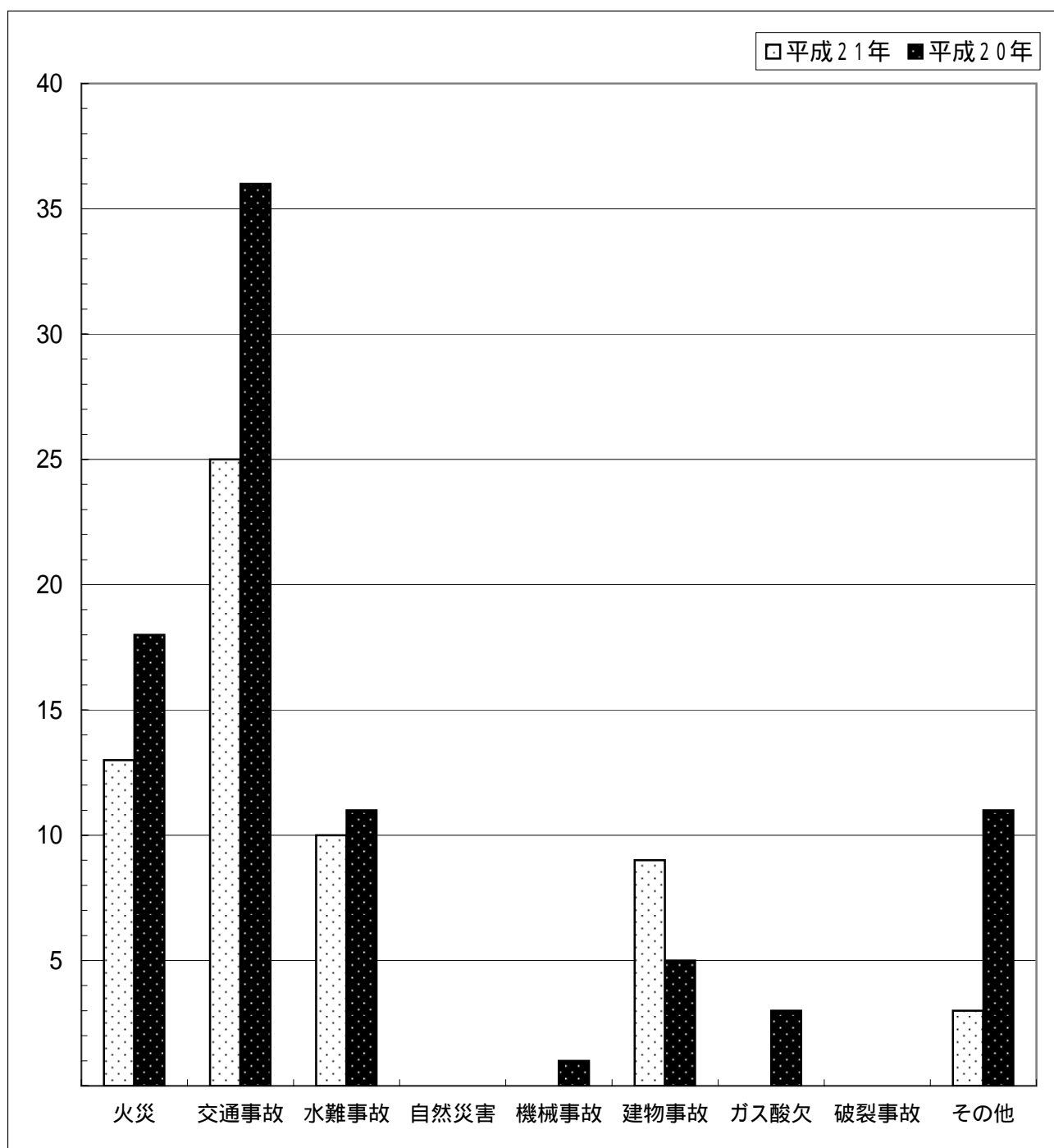
## 3 過去5年間の救助出場件数及び救助人員の推移

年別 件数及び人員	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
出場件数	173	166	151	193	156
救助人員	84	71	66	73	59



#### 4 事故種別活動件数（前年との比較）

種別 \ 年別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	破裂事故	その他	合計
平成21年	13	25	10			9			3	60
平成20年	18	36	11		1	5	3		11	85



# 福井市防火委員会



火災のない街をめざして

# 福井市防火委員会

## 1. 防火委員会とは

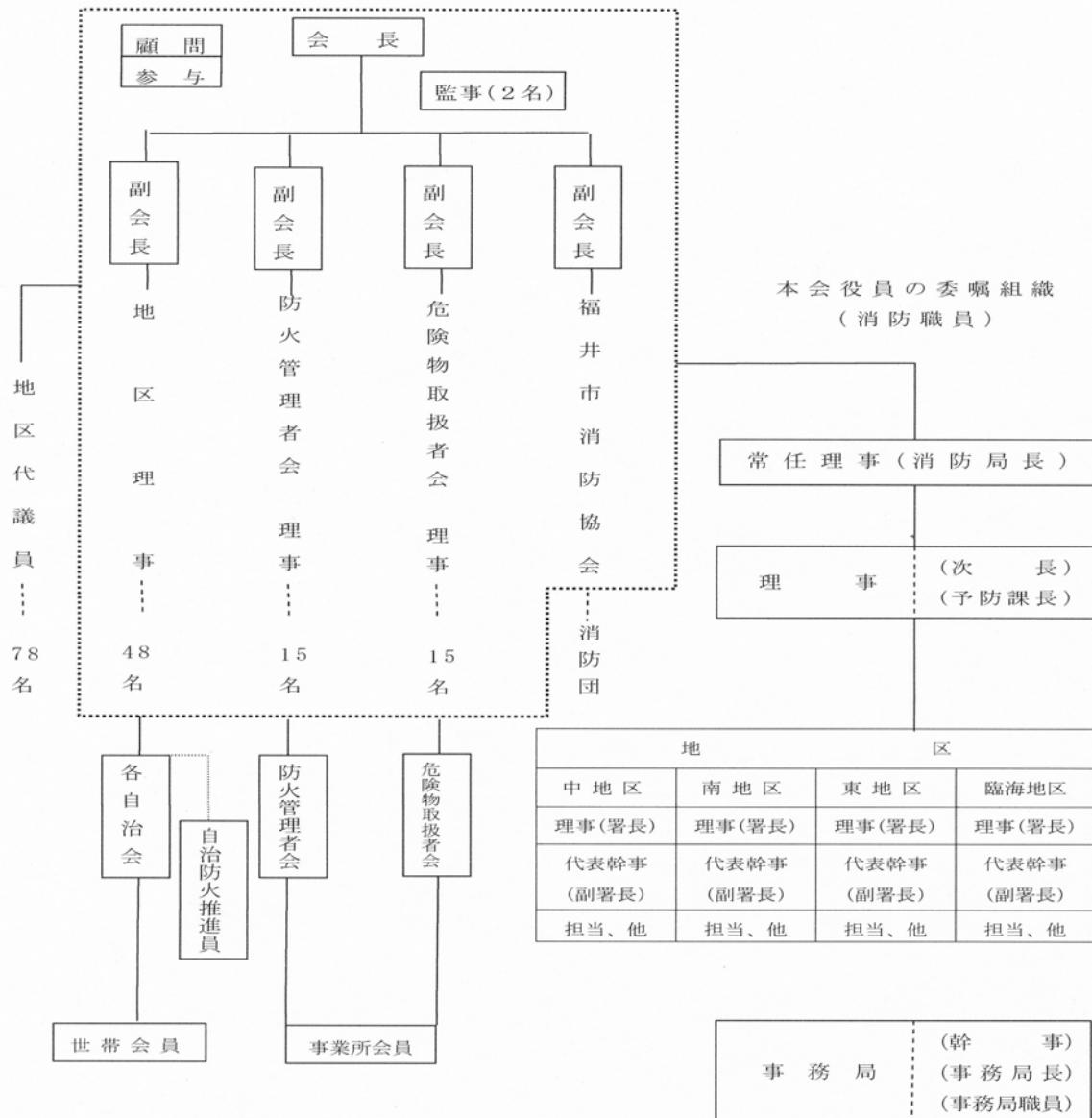
昭和26年に設立され、自治会の皆さんと事業所の方々に会員になっていただき、自主防火思想の普及と防火意識の高揚を推進して「災害に強い安心安全なまちづくり」を目指している防火団体です。

## 2. 事業資金は

自治会及び事業所の皆様からお振込みいただく「会費」と「補助金」などで事業を運営しております。

## 3. 組織は

福井市防火委員会組織図



## 4. 会 員 は

本会は次の会員より組織されている。

### (1) 世帯会員

管内の世帯を会員としており自治会ごとに参加している。

### (2) 防火管理者会会員

消防法第8条又は第8条の2に規定する「防火管理者」等を定めなければならない「防火対象物」を会員としている。

### (3) 危険物取扱者会会員

消防法第13条に規定する「危険物取扱者」でなければ取り扱うことができない「危険物施設」を会員としている。

### (4) 特別会員

本会の趣旨に賛同する個人又は団体を会員としている。

## 5. 主 な 事 業

防火広報事業

自主防火思想の普及啓発

初期消火技術の習得育成

応急救護の普及啓発

防火・防災管理の充実強化

危険物保安体制の指導

自衛消防隊の組織づくりとその育成

幼年・少年・女性防火クラブの育成

住宅用火災警報器の普及促進

地震時における出火防止と初期体制づくり

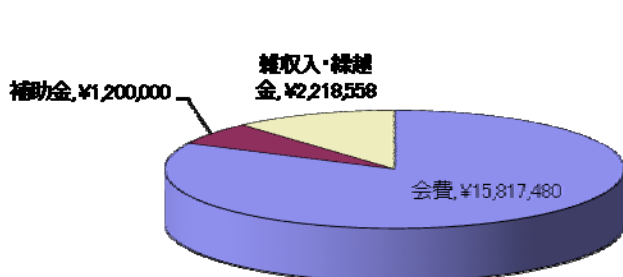
消火用資器材購入時の補助

表彰事業

## 6. 平成21年度一般会計決算

収入合計 19,236,038 円、支出合計 18,351,893 円、差引残額 884,145 円は平成22年度に繰越となります。

### 収 入



### 支 出

